

島・後志・石狩・天鹽・北見・根室・釧路・十勝・日高・膽振・千島の十一ヶ國から成り、これを石狩・渡島・檜山・後志・空知・上川・留萌・宗谷・網走・膽振・浦河・釧路國・河西・根の十四支廳に分つ。

地形

半島部・中央低地・胴體部・列島部の四地形區に分たれ、半島部は割合に屈曲に富み、中央低地は沖積平野で、胴體部は蝦夷山脈によつて南北に縦貫され、その中央部で千島火山帯と交り最も高峻な地形を作る。千島は凸面を太平洋面に向ける一の島弧で、主として火山島から成る。

一山脈



地形圖

蝦夷山脈 北は宗谷岬から南は襟裳岬に至り胴體部を南北に走り、本島の主軸をなすものである。中央部に於て千島火山帯と交叉し、多くの火山を噴起す。この火山帯との交叉より南部を日高山脈と稱し、北部を北見山脈と稱する。日高山脈にはパイロ岳(二〇一七)・神威岳(一六〇一)等の主峰があり、北見山脈の主峰は天鹽岳(一五五八)・ピヤシリ岳等である。

天鹽山脈 北見山脈の西にこれと並走せる丘陵性の山脈で、この兩山脈の間に天鹽川の縦谷がある。

北見山脈 天鹽山脈の南に石狩川の上流を挟んで

南北に走り、日高山脈に並走する。夕張岳(一六六八)の外見るべき高峰がない。

火山帯

本地方には千島火山帯と那須火山帯との兩火山帯があつて、多くの火山を噴起し種々な火山地形を作つて居る。殊に活火山の多いことで知られ、その數十五座に及び、本邦活火山の四分の一を占める。

千島火山帯 北方カムチャツカから千島彎に沿うて、北海道本島を東北より西南に横断し、那須火山帯に連続する大火山帯である。オプタテシケ(二〇五二)・旭岳(又タクアムシユベ、二二一九〇)・石狩岳(二〇三五)・雄阿寒岳(一五〇九)・雌阿寒岳(一六一七)・良牛岳(一五七八)・チャチャ岳等この火山帯に屬する主峰である。

那須火山帯 奥羽地方から北走する那須火山帯は、北海道本島半島部に來り種々の火山を起す。恵山(六二〇)・駒ヶ岳(一一四〇)・有珠岳(七二五)・登

別岳(一二三二)・樽前岳(一〇二四)・マツカリ岳(二八九三)・札幌岳(一二九四)等はその主なるのである。

有珠山 内浦灣の北岸に起る二重式火山で、中央火口丘に大有珠・小有珠の二丘がある。有史以來度々活動して居るが、就中明治四十三年の活動は最も有名である。近時は殆んど休止して居る。

樽前山 膽振國にある三重式火山で、第一外輪山はほぼ楕圓形で長徑一千二百米、短徑九百米に及ぶ。有史以來度々活動し、明治四十二年四月の活動によつて三重式となるに至つた。その際生じた中央火口丘は長徑四百米、短徑二百六十米、高さ火口原より百七十二米に及ぶ圓頂丘である。

三河川 平野

蝦夷山脈から發する諸川には比較的大河多く、平野も亦これ等諸川の流域・海岸地方に見る。

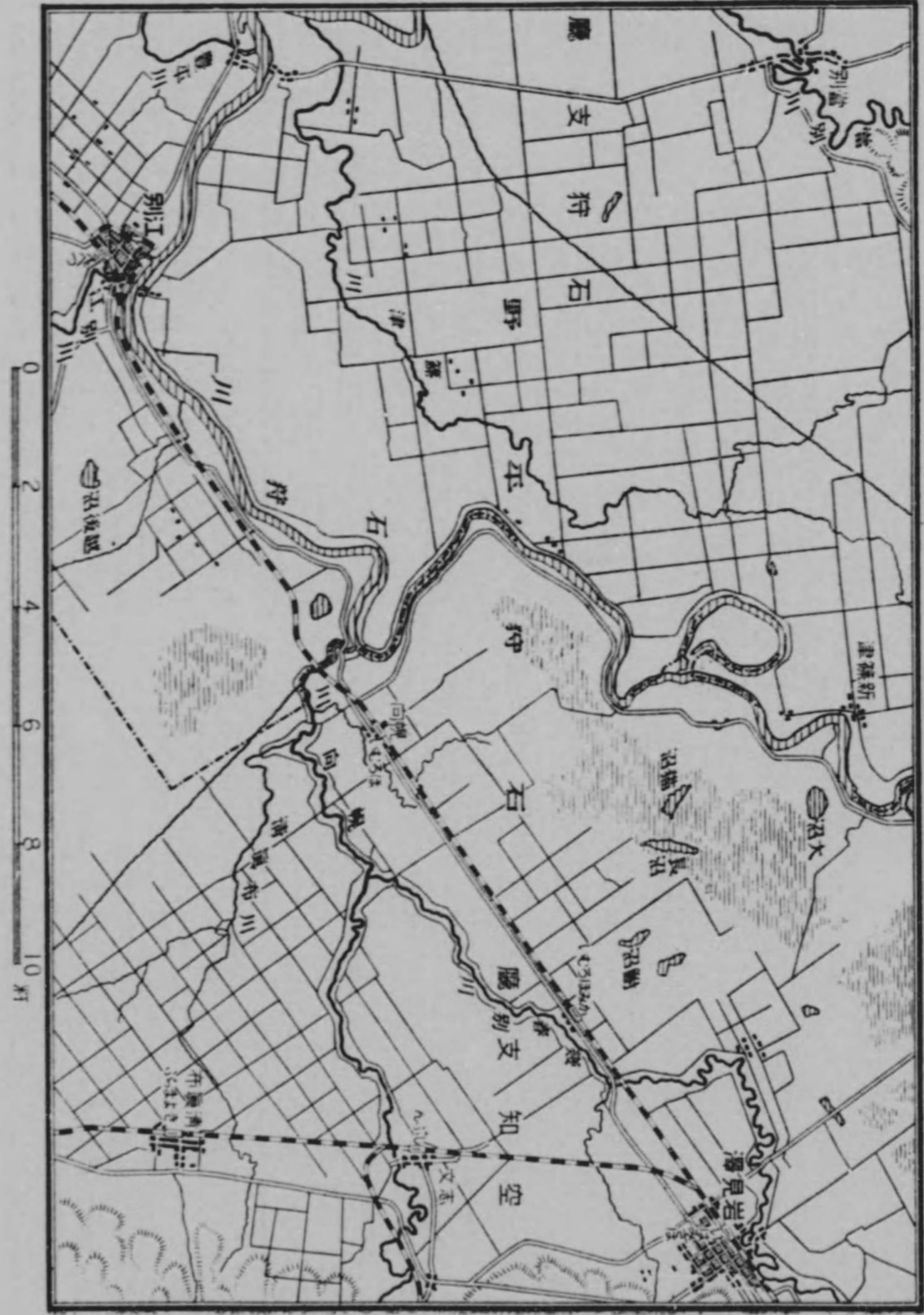
斜	面	河	川	平	野
日本海斜面	石狩川・天鹽川			石狩平野・上川盆地・天鹽平野	
オホーツク海斜面	常呂川			北見平野	
太平洋斜面	釧路川・十勝川・沙流川・鶴川			釧路平野・十勝平野	

【註】

石狩川—本道第一の長流で、石狩岳に源を發し全長三百七十軒に達する。蝦夷山脈の傾斜を下り上川盆地に出て諸川の水を合せ、天鹽山脈と夕張山脈との間に神居古潭カムキコタンの峡谷を穿ち、石狩平野に出て緩流となり蛇行して肥沃な石狩平野を灌溉する。蛇行する河道の變遷は至る所に繰返され、各地に河跡湖・濕地を見る。天鹽川—天鹽岳に源を發し、北見山脈と天鹽山脈との間に縦谷をなして北流し、下流に於て天鹽山脈を横斷する所には峡谷を穿ち西流して海に入る。河口近くでは砂丘のために壓迫されて南流する。

上川盆地—石狩川上流の盆地で東西約三十軒、南北約十八軒に達する。土地肥沃で北海道主要の米産地で、中心に旭川市がある。内に陸あるため寒暑の差が頗る大である。石狩平野—本島第一の大平野で重要な生産地である。この小樽灣岸から南太平洋岸に至る一帯の凹地帯は一の陥没地帯で、嘗ては海水によつて兩斷されて居たものである。平野は開墾よく進み都會多く、本道主要の文化地帯をなす。十勝平野—十勝川流域の平野で、近時開墾大いに進み活氣横溢する。帯廣附近は本平野の最重要な地方である。

石狩川



● 湖 沼

本地方には湖沼各地に分布し、その成因亦多種多様で研究上興味多きものである。

大沼—渡島國駒ヶ岳山下にある瓢形の湖で、長さ八軒、幅最大二軒周圍三十軒、最大深度十三米六である。これは駒ヶ岳火山の噴出物によつて出来た堰止湖である。湖中にある多數の小島は火山噴出物の堆積せるものである。風景頗るよく大沼公園と稱し有名である。

洞爺湖—有珠火山の北に位する湖で形状圓く直径十一軒、周圍四十軒、最大深度百二十九米に達し、中央部に大島がある。大島の峰は三峰あつていづれも乳房山である。洞爺湖は有珠火山の噴出の結果地下に空洞を生じ、これがため土地陥没して生じた一の陥没湖である。中央の大島は湖底から噴出した火山である。湖の水の流出する所に瀧があり、水力發電に利用される。

支笏湖—洞爺湖の東北樽前岳の北方にあつて、東シコッ

西に長く十二軒、南北五軒、最大深度三百二十七米に及ぶ。江別川の水源で、湖口から水を引いて水力電氣を起し工業に使用する。この湖の成因も洞爺湖と同じく火山陥没湖である。深度大なるため冬季結氷することがない。

屈斜路湖—釧路の東北山中にある湖で半月形をなす。湖面の海拔百四米で最大深度百二十米である。湖底は海面以下である。この湖は一の火口原湖と稱せられるが、深度の大なる點から考へれば、これに陥没の加はつたものと思はれる。

猿瀧湖—北見國オホーツク海岸にある湖で、東西に長く二十六軒に及び最大深度十八米餘の淺湖である。これは海岸に發達した砂嘴のために出来た潟湖の標式的なものである。オホーツク海岸には砂丘連なり潟湖頗る多く、能取湖・網走湖等も亦一種の潟湖であつて砂嘴が湖頭にある。しかし、これ等多數の湖中には陥没作用の加はつたものも

海嶺

海岸は一般に屈曲に乏しい。次の三部に分つこ
とを便利とする。

1 半島部——胴體部に比して曲折に富む。東部
には圓形の内浦灣がある。これは鍋狀陥没に
よつて出来たもので、北岸に沿うて火山が分
布して居る。津輕海峽に面する方は小屈曲が
ある。北部には積丹半島突出して東部に小樽
灣を抱く。

2 胴體部——胴體部に於ては宗谷岬・知床岬・
花咲半島・襟裳岬・繪鞆岬突出して、これ等の
間に弓形の單調な海岸線を作る。砂濱多く砂
丘連なり、内に潟湖を有するものが多い。オ
ホーツク沿岸は最も著しい。

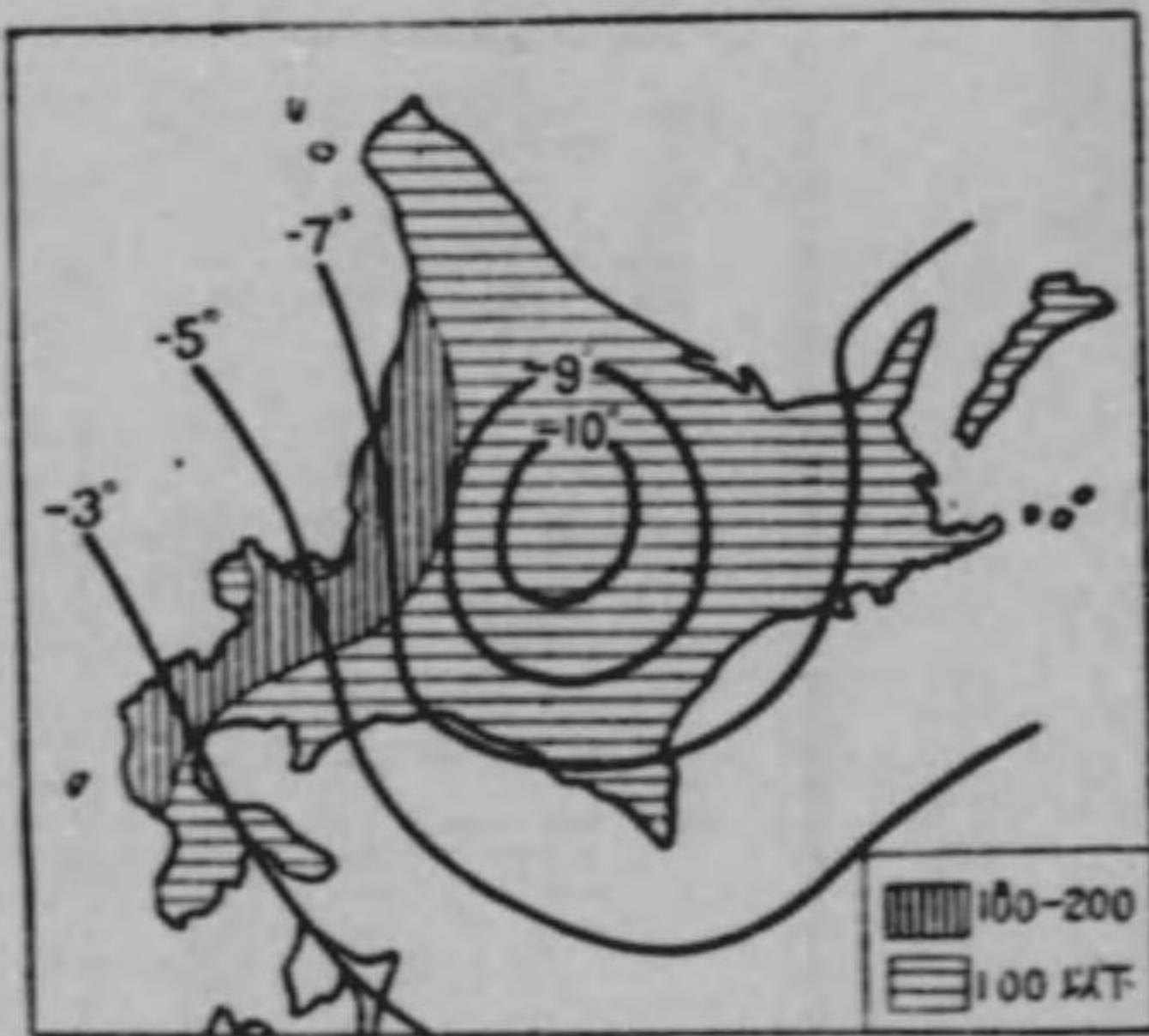
3 島嶼部——島嶼には火山島が多いが、千島列
島を除いては島嶼少く、唯、奥尻・利尻・禮
文島等がある外見るべきものがない。千島列

島は大小の島嶼が弧狀に連続し、各島よく小
屈曲に富む。

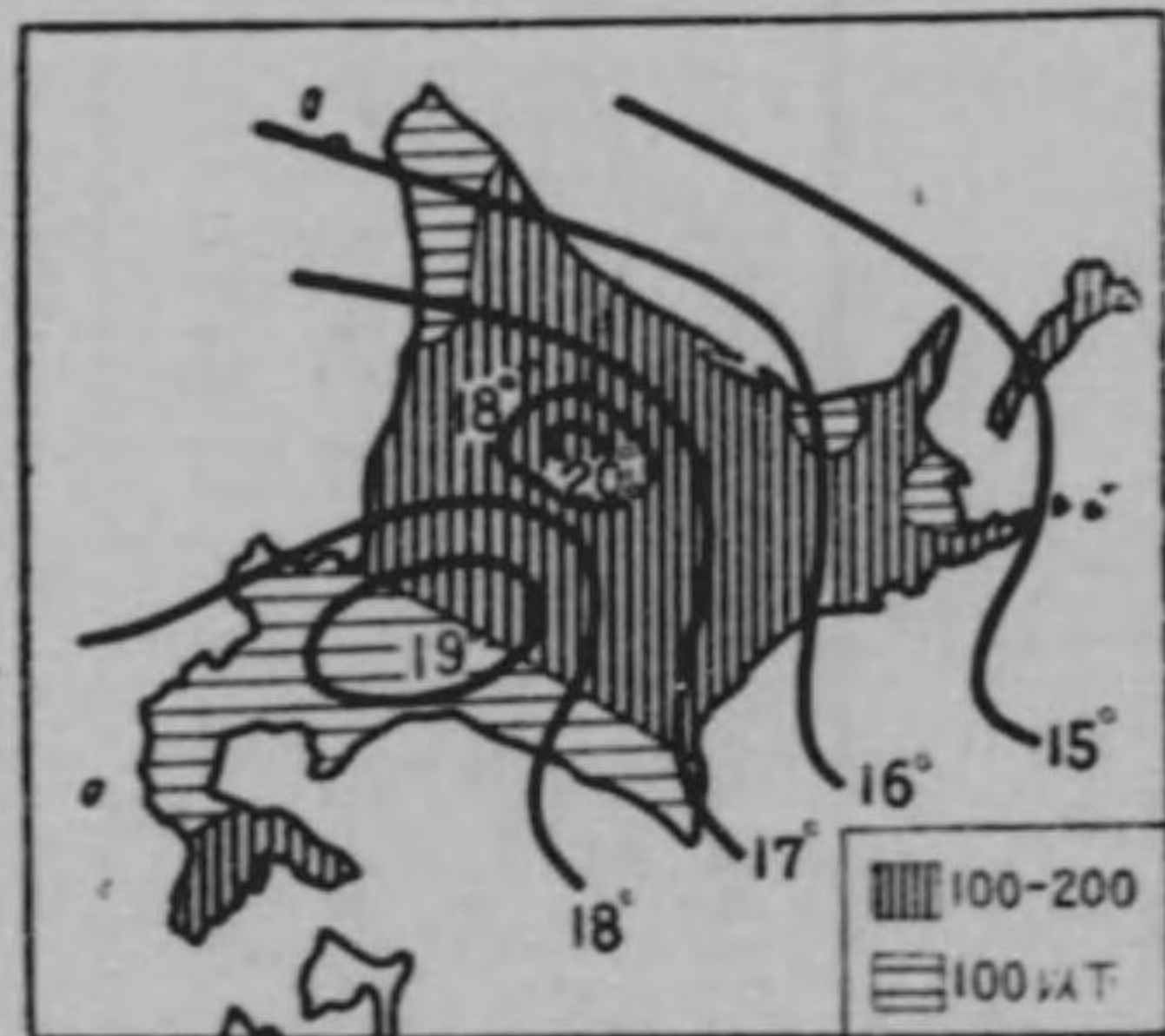
地質

本島地質の基盤を構成するものは古生層であつ
て、それより古期のものは殆んどこれを見ない。
古生層は本島脊梁山脈たる蝦夷山脈を構成し、中
生層に屬するものは白堊層で、アンモン介の化石
を多く産することによつて有名で、夕張山脈・天
鹽山脈・花咲半島地方・鹽津島・色丹島にその分
布を見る。第三紀層の分布は最も大で殆んど全域
に亘つて居る。北海道各地の石炭はこの第三紀層
中に埋藏されるものである。第四紀層は海岸及び
河流に沿うて發達する。その最も廣域を占めるの
は石狩平野である。火成岩中深成岩は割合に少く、
その割合に大規模に露出して居るものは日高山脈
を構成する花崗岩である。この花崗岩は古成層を
貫いてこれに接觸變質を與へて居る。火山岩の分

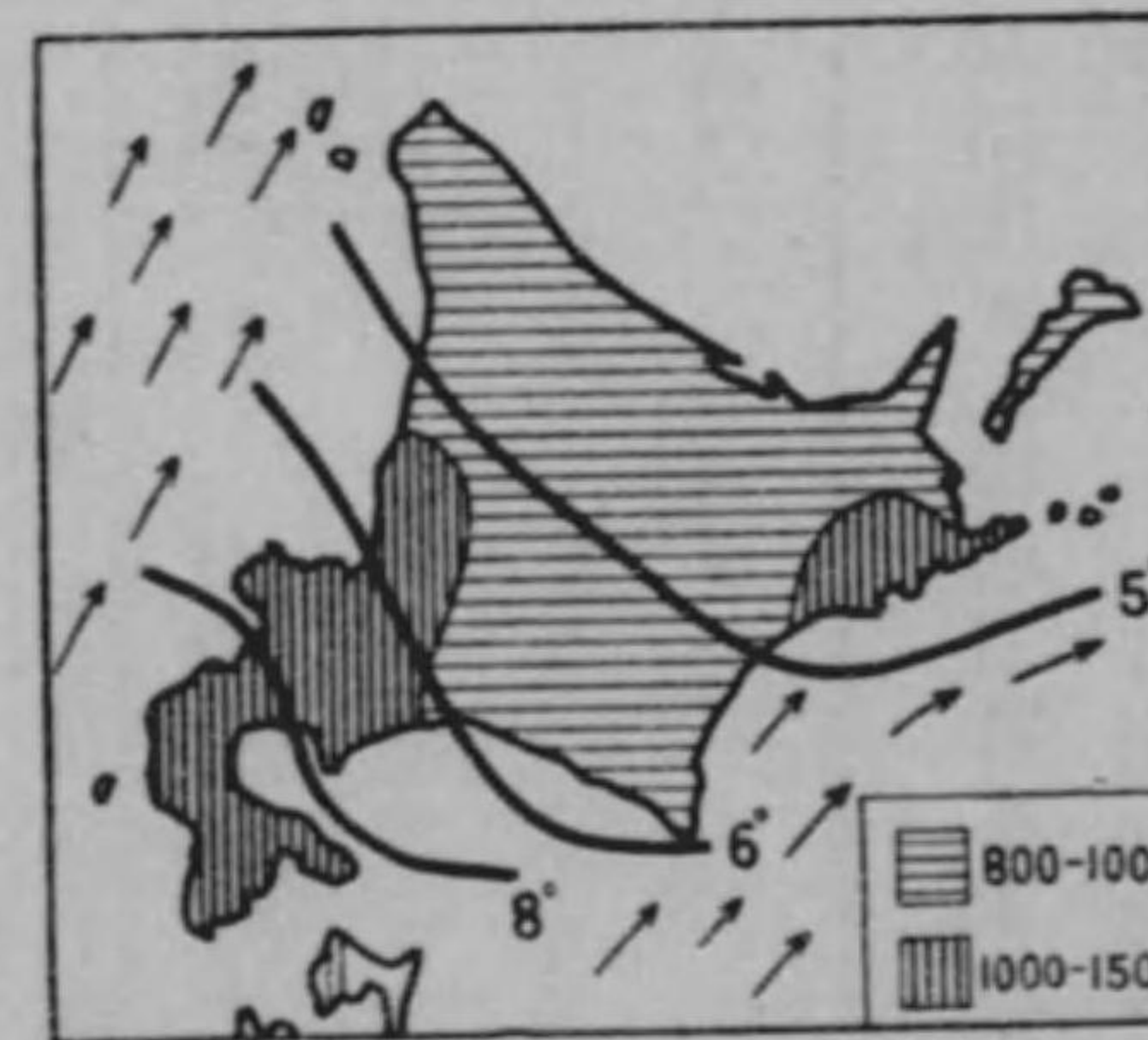
布も大で、千島・那須兩火山帶地方に露はれて居
る。千島の如きは前記一二の例外を除いては殆ん
ど火山岩のみである。火山岩は主として安山岩で
ある。要するに本地方の地質は本州と大差はない
が、白堊層中に化石のよく保存されて居ることは



〔月一、圖量雨温氣〕



〔月七、圖量雨温氣〕



〔均平年、圖量雨温氣〕

一の特徴である。

氣候

本地方は位置北偏し、氣温は奥羽地方に比すれ
ば低い、これを世界的に見れば決して住み難い

程の地域ではない。尙海洋、殊に暖流の影響を受
ける地方は大いに緩和される。その他地形等の影
響を受けて各地種々な特相を有する。

1 千島海流に洗はれる東南岸地方は一般に氣温
低く、夏季東南風のために降雨が多い。

2 對馬海流に洗はれる日本海岸地方は東海岸地
方より氣温が高く、冬季北風の影響を受けて
降雪が多い。

3 一年を通じて雨量最も多き地方は半島部であ

る。これは海流・季節風の影響を受けるためである。

4 内部の上川盆地地方は大陸的氣候を呈し寒暑

の差大である。

5 東南近海は夏季濃霧を生ず、これ寒・暖雨流の會合點で濕度大なるためである。

地名	氣		年平均	雨		年總量
	一月	七月		冬	夏	
函館	(一)	二・九	二・三	一九	三五六	一一五七
札幌	(一)	六・三	二〇・八	二四	二五六	一〇二二
旭川	(一)	九・九	二〇・二	二六	三三九	一〇七三
釧路	(一)	六・四	一七・三	一六	四四〇	一三三九
網走	(一)	六・八	一九・〇	一四	二五二	八〇五

産業

本地方は新開地で人口稀薄、未開墾・未開發の地多く經濟的開發は今後待つべきもの多く、次第に發展の氣運に向ひつつある。

農業

石狩・十勝その他肥沃な平野を有し、移住民の増加と共に山野次第に開墾され、米國式大農法に

よつて大規模な耕作が行はれ、將來大いに期待すべきものがある。

麥類……内地と異り一年生で、春播種して秋收穫する。收穫總量四十五萬石で收量は未だ多くないが、將來大いに有望である。

米……従來米産はなかつたが、夏季一時高温に達するため試作の結果好成績を得、水田次第に開け石狩・上川盆地は有望な米産地となつて居

る。

豆類……大豆(年額六十四萬石)・小豆(四十三萬石)・豌豆(二十四萬石)……共に日本第一位

麻(亞麻)……亞麻の産額は本邦第一位

野菜類……馬鈴薯(一億二千萬斤)・葱類(四百三十萬貫)……共に本邦第一

果實……苹果(青森に次ぐ)・櫻桃

櫻桃

櫻桃

櫻桃

櫻桃

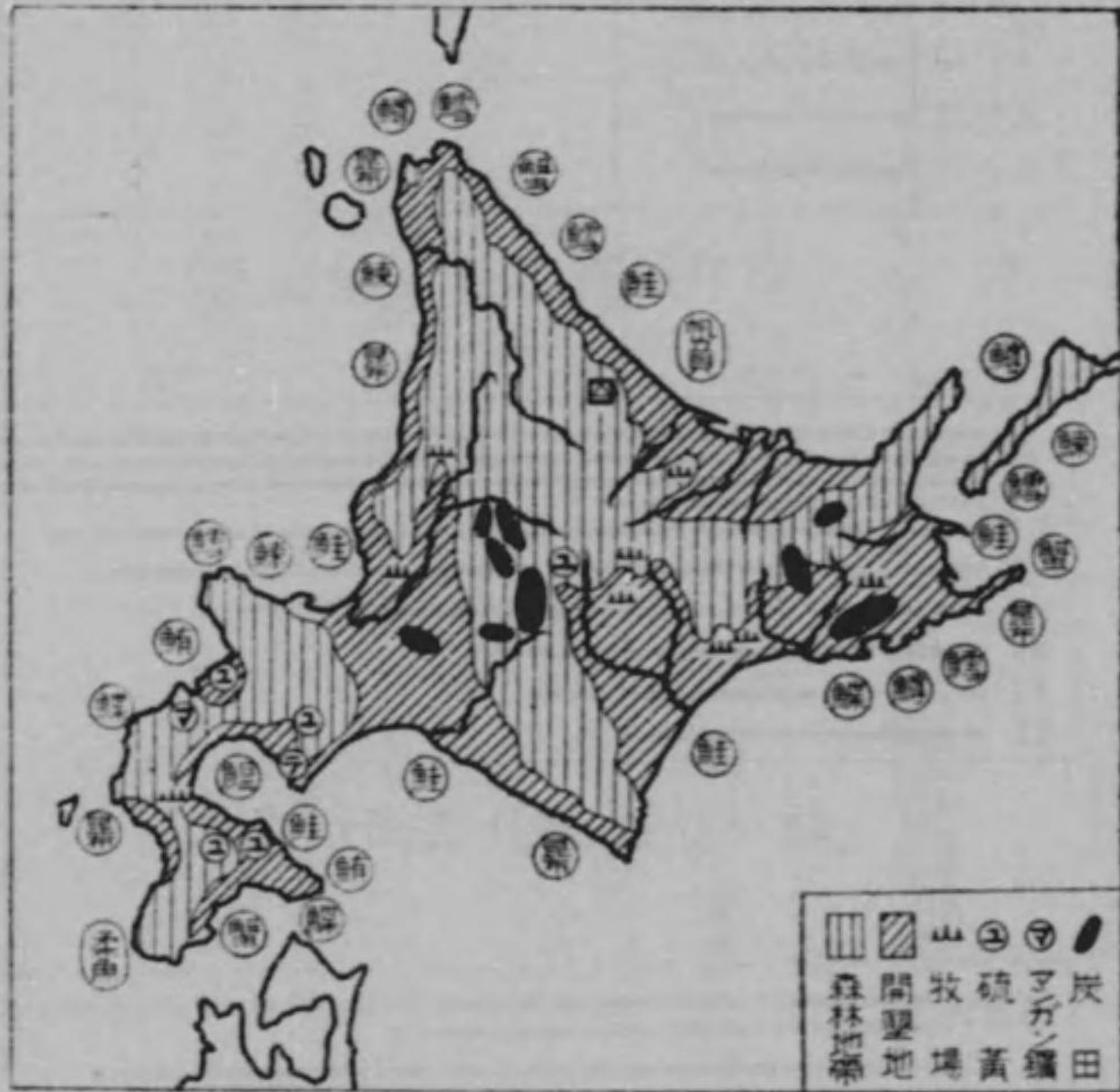
牧畜業

林野・草原多く、且水流多いために牧場として最適の地多く、將來も亦大いに有望である

馬……十三萬一千頭(本邦第一位)

牛……一萬九千頭

狐……千島に於て近時狐の放牧式飼育をして、



〔圖布分業産〕

林業

その成積大いに見るべきものがある。目下ロシヤから良種を得て在來種を改良しつつある。

林産頗る豊富、交通路の整備と共に益々盛況を呈するに至つた。蝦夷松・椴松・落葉松・白楊等の美林多く、建築材・製紙原料・燐寸軸木等とする。

鑛業

石炭……産額福岡縣に次ぐ。夕張・美唄・新夕張・空知の如きは最も有名である。

硫黄……火山多いたため、各地に硫黄を産し産額多く、本邦第一位である。

奥尻・岩雄登・古武井
金……山金・砂金合計九十七萬圓に達する。主産

地は國富(後志)・靜狩(膽振)・鴻舞(北見)・枝幸(北見)・石狩……石狩

水産業

近海に寒・暖兩流流れ、又淺海多いため漁族頗る多く、世界三大漁場の一つと稱せられ、水産物及び水産魚獲高は本邦諸地方中嶄然頭角を表はし、本島主要産業の一である。

魚獲物
鯨……………一六七
四萬圓
柔魚……………四六九
萬圓
昆布……………四五二萬圓
鱈……………二七七萬圓
その他合計 四五九七萬圓…全國五分ノ一

	円百二	円百四	円百六	円百八	円百十
通海北	1130				18%
手岩	460	7%			
本島	320	5%			
島兒	320	5%			
鹿	270	4%			
崎	271	4%			

〔均平年數,較比額産豆大〕

	円百五	円百二	円百三	円百四	円百五
鯨					
魚					
柔					
昆					
布					
鱈					
鱈					
鱈					
鱈					

〔均平年數,較比額産水〕

	円百十	円百二	円百三	円百四	円百五
道海北					
手岩					
本島					
島兒					
鹿					
崎					

〔均平年數,較比額産黄硫〕

水産製造物

鯨……………五七八萬圓
鱈……………九六萬圓
魚肥……………一七〇〇萬圓
魚子……………二六八萬圓
その他合計 四七〇〇萬圓

工業

元來北海道は原料國で、工業は不振であつたが石炭を産し、又諸原料を近くに得られるため、人口の増加と共に近時大工業が著しく勃興した。主なる工業地は札幌・旭川・函館・室蘭四市等である。

札幌市……………ビール・製粉・製麻・紡績
旭川市……………酒醸造
函館市……………造船業

交通

地方文化の開發に最も貢獻するものは交通路である。本島の鐵道は近時組織的の發達を見、今や沿岸諸港の海上交通と相俟つて、大いにその機能を發揮せんとして居る。

鐵道

函館本線…函館—小樽—岩見澤—深川—旭川
根室本線…瀧川—下富良野—池田—根室
宗谷本線…旭川—名寄—頓別—稚内
室蘭線…岩見澤—追分—苫小牧—室蘭
網走線…池田—野付牛—網走
天鹽線…音威根府—稚内

航路

海上交通は函館・小樽・釧路・室蘭・根室等の諸港を中心として、内地及び海外各地と連絡する。小樽は内地及び樺太・オホーツク海との交通繁く、

尙將來樺太の開發と共に益々重大な使命を有する。石狩川も亦交通路として内地交通を助け、河口から江別まで小蒸氣船を通ずる。

住民人口

本邦各地方中樺太に次いで密度の小なる地方で、一方軒僅かに三十七人で、關東地方の十五分の一餘である。年々七八萬の移住者があるが、未だ總人口二百五十萬餘である。本島には大和民族の外にアイヌ族が居る。アイヌ族—古くは本島は勿論、本州及びそれ以南まで分布して居た種族であるが、大和民族の發展と共に次第に北に退いて現狀に至つたもので、文化の程度も低く人口も年々減少の傾向がある。性温順で體格偉大で、男には鬚髯多く既婚の女子は口に黥をする奇習がある。農業・漁獵を事とし、現在では人口約一萬七千餘で、主として浦河支廳・膽振支廳に住し殊に平取附近に多い。

處誌

研究事項

半島部

①函館市はどんな都市か。尙北海道の開発と函館港との關係を考へて見よ。
②次の都市を研究せよ。
a 倶知安、 b 室蘭市、 c 小樽市

中央低地

①次の都市邑を調査せよ。
a 岩見澤、 b 苫小牧

洞體部

①旭川市の發達した理由を考へて見よ。
②帯廣はどんな特色を有する都會か。
③根室と花咲とはどんな關係があるか。
④洞體部の鑛業都市にはどんなものがあるか。

千島列島

①千島列島は地文・人文上どんな所か。

半島部

函館市(一六・三)津輕海峡に臨み陸繋島内にある天然の良港で、内地との連絡上重要地點にあつて本島の門戸をなす。青森との間に連絡船がある。小樽港の發展以來後背地に對する位置の關係上、貿易港としての生命は大いに殺がれたが、内地に對する連絡上又軍事上の要地として重大な意義を有し、尙近時諸工業の發達によつて次第に隆盛に赴きつつある。市に函館船渠會社・要塞司令部・博物館等がある。五稜廓は明治維新の際、函館戰爭で名高く、盛んに採氷して各地に送る。

福山 古、松前と稱し、本島の古都で古蹟に富む。函館市の發展と共に次第に衰微したものである。
大沼公園 通論の部参照。
倶知安 マッカリ岳の北麓にある新開地で、麥。

大豆・馬鈴薯・亞麻等の集散地である。又附近一帯は降雪が多い。

余市 小樽市の西方にあつて余市川に沿ふ。漁港として有名で、又附近に苹果の産が多い。

小樽市(一三・四)本島第一の生産地たる石狩平野を控へるため、この物資の吞吐地として榮え又樺太に對する重要地であり、露領沿海州漁業の策源地等の關係上大發展をした港市である。市に小樽支廳・高等商業等があり、又海産物の集散地として著はれ、その他鑄物・鐵器等の諸工業も盛んである。

登別 苫小牧の西南に位し、本島第一の温泉場である。夏季浴客が頗る多い。

室蘭市(五・〇)内浦灣の東門に位し開港場で、石炭・木材を輸出する。又日本製鋼會社があつて盛んに兵器・機械等を製し、工業都市としても有名である。陸繋島内にある事は函館市に似て居る。

中央低地

苫小牧 本邦屈指の製紙業地で本島産の木材を原料とし、支笏湖の水力電氣の動力を得て盛んに洋紙を製する。

札幌市(一四・五)石狩平野の西部に位し、道廳・帝國大學・博物館・ビール工場・製麻會社等があり商業も亦盛んで、本島政治・學術・經濟の中心地である。市は明治初年までは一の林野に過ぎなかつたが、明治元年開拓使廳が置かれて以來政治的中心地となり、石狩平野を後背地に有することと相俟つて急速な發達を遂げ、現状に至つたものである。市區整然として本邦模範都市の一である。
岩見澤(二・三)石狩平野の東部に位し函館線と室蘭線との分岐點で、その他の支線も集まり交通上の要地である。附近に大炭田がある。

洞體部

夕張 夕張炭田の中心地である。夕張炭田は炭層厚く本邦屈指の大炭田である。附近の新夕張・幌内・幾春別・美唄・空知等皆有名な炭田である。

旭川市（七・二）上川盆地の中心に位し盆地の物資の集散地に當り、燐寸軸木・酒精等の諸工業も亦盛んである。市に第七師團司令部、附近に神居古潭の勝地がある、これは上川盆地の水が夕張山脈を横断して流出する所に生じた峽谷で、絶壁の深谷に急流をなして流れ風光絶佳である。

名寄 天鹽川の上流に位し鐵道の分岐點に當り、附近には内地移住民の農園多く、木材・酒・澱粉・豆類等の集散多く、製麻・煉瓦等の工業も行はれる。附近にアイヌ人の部落がある。

留萌 西海岸にあつて深川に鐵道を通ずる。支廳の所在地で、農産物及び鍊の集散地である。

増毛 留萌の南部に位し水産物の集散地である。

天鹽 天鹽河口に位し水産物の集散地である。

稚内 宗谷海峽に臨み北方第一の漁港として鍊漁に著はれる。樺太に渡る要地である。

平取 沙流川に臨み、附近にアイヌ人の大部落がある。

新冠 ^{ニヒカツブ}新冠川に臨み附近一帯牧場に富み、新冠には御料牧場がある。

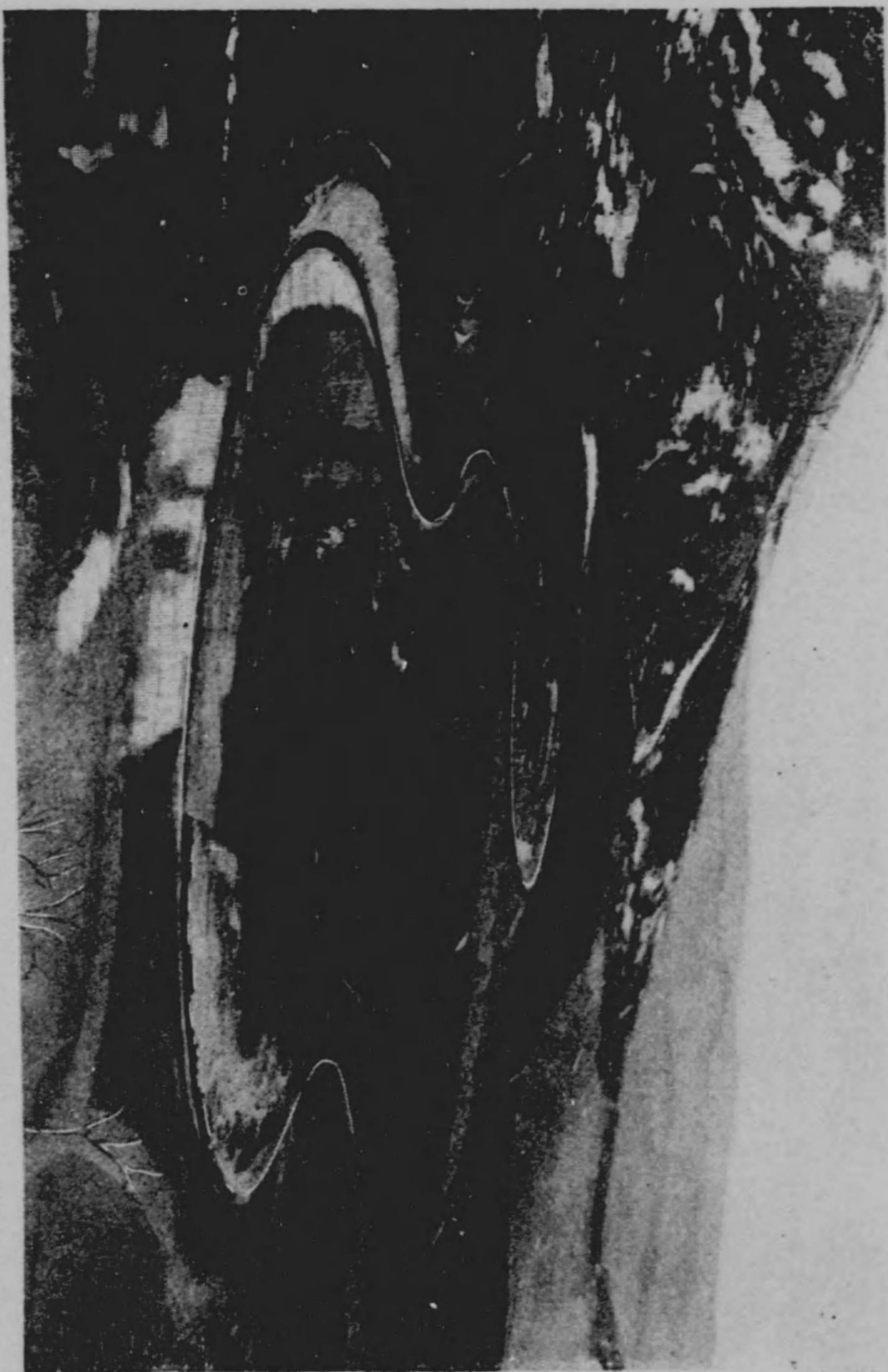
帯廣（一・六）河西支廳の所在地で十勝平野の中心に位し、同平野の開墾と共に益々發展して來た。鮭の人工孵化場・製麻會社等がある。

池田 帯廣と共に十勝平野の名邑である。根室線と網走線との分岐點に當る。

釧路市（四・二）釧路平野に位し釧路川に臨む。開港場で木材・海産物を輸出する。近時築港を行ひ大いに面目を新にした。輸出木材は多くは鐵道枕木で、米國・支那等に出す。附近に釧路炭坑がある。

厚岸 ^{アツケシ}厚岸灣に臨み木材・水産物の集散地である。水産物は特に昆布・牡蠣が有名である。

根室 根室灣に面し背後の花咲 ^{ハナサキ}も現今同町に屬する。沿岸に段丘多くこれに家を建てる者が多い。開港場で後背地平野・千島に對する要地で、水産物・農産物の集散地である。冬季は海上凍結する。



北海道狩勝峠

ため花咲港を副港とする。

網走（二・九）オホーツク海岸の主要港で近海は漁利が多い。當地方は海流の關係上氣温は根室よりも高い。附近に網走湖・能取湖・猿瀾湖等がある。

湧別 紋別 新開の農村として發達し、又漁業の中心地である。

枝幸 頓別川に沿ひ、この流域は嘗て砂金の産地として知られて居たが、今は大いに衰微して居る。

千島列島

大小三十餘の島嶼から成り、面積は、四國島と同じであるが、人口はアイヌ人を合算して僅かに一萬五千餘である。大部分火山島で活火山が多い。寒流に洗はれるため氣温低く、冬季には沿岸悉く凍結する。硫黄・鱈・鱒を産し、又近時狐を放牧し、近海には海獣が多い。

紗那 擇捉島の北岸に位し本島の首邑で、漁期に

は漁民が多く來集し繁榮を極む。

占守島 本邦最東端の島で報效義會員在住し、一は帝國北門の防備に當り、又は開墾事業に従事する。

阿頼度島 本邦最北端の島で、漁期には漁民が來集する。

參考事項

A 北海道石炭鑛業の將來

我が國石炭總産額の過半を産出する筑豊炭田は餘命短いが、本地方の炭田は埋藏量豊富で、而も未だ開發されない地方も多く大いに有望な炭田で、我が國燃料問題はやがて南から北に移り、北海道は樺太と共に我が國將來の燃料問題解決の鍵を握る一地域である。

B 冬季根室港の結氷するのに對し花咲の

結氷しない理由

根室は北方、海に面し冬季北風の影響を受けること多く、加ふるに千島寒流に洗はれるため気温低く、花咲は北に丘陵を控へ、南方、海に面するため、北寒風を受けること少く、尙暖流の影響を受け、気温は根室よりも高い。

第九章 樺太地方

通論

研究事項

- 地形**
- ① 本地方の地形區は如何に大別すればよいか。
 - ② 樺太の中央凹地帯とはどんなものか。
 - ③ 本地方の海岸線はどんな特徴を有して居るか。

- 産業**
- ④ 本地方で有望な産業は如何なるものか。
 - ⑤ 北樺太の産業と我が國とはどんな關係があるか。

民住

- ⑥ 本地方の住民・人口密度を調査せよ。
- ⑦ 本地方の人口密度の小なる理由を考へて見よ。

地域

樺太島は北海道本島の北方に位し、東方一帯はオホーツク海に接し、西は間宮海峡を挟んで露領シベリヤに對し、南は宗谷海峡によつて北海道と相對する。南北に細長い島で、北緯五十度以南は我が國の領土で、これを豊原・大泊・本斗・眞岡・泊居・元泊・數香の七支廳に つ。北樺太に對しても近時我が國は種々な利権を有し、經濟的・政治的關係が大いに密接になつて來た。

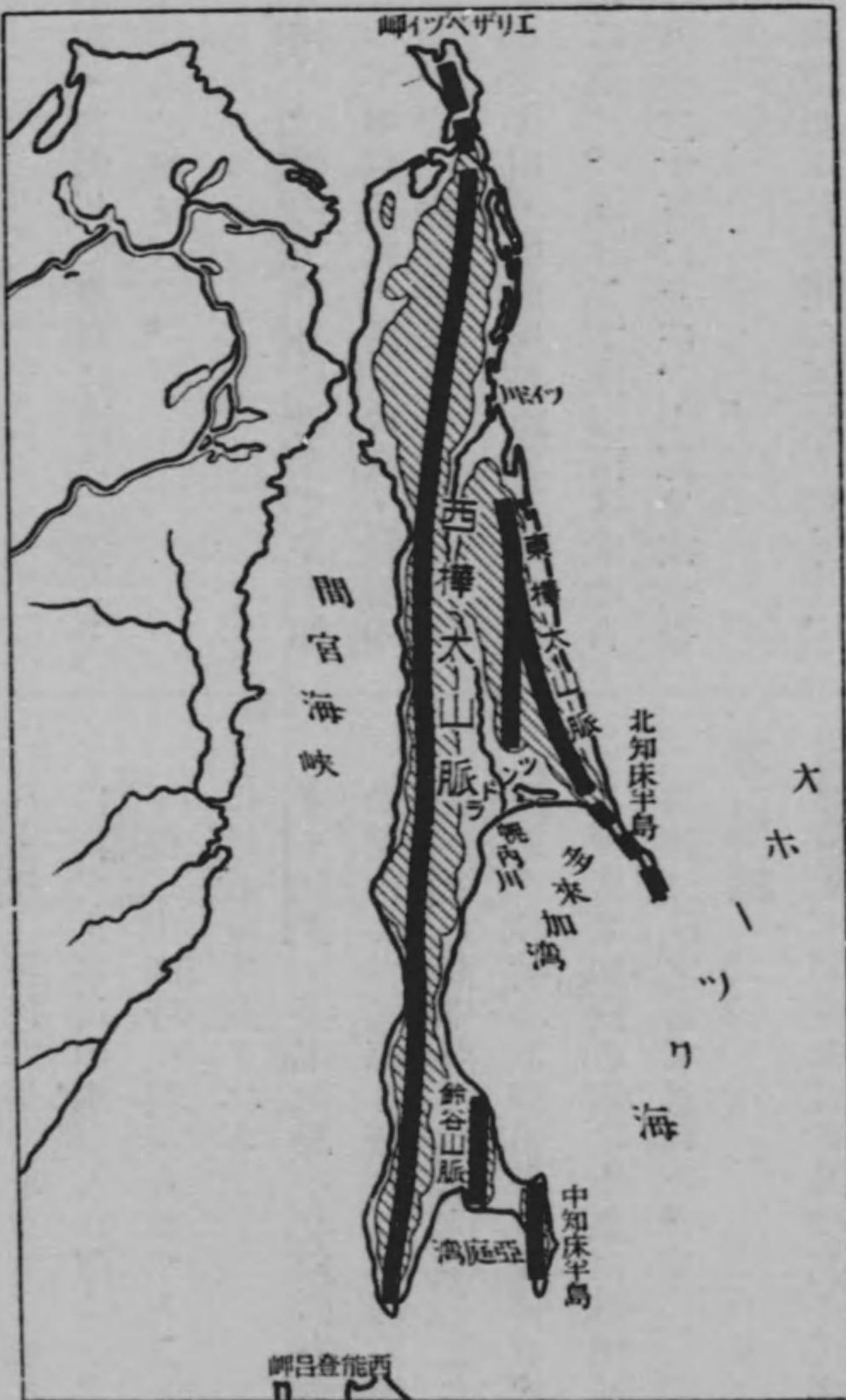
地形

本地方には南北に縦走する數條の山脈があり、その間に平地を挟む。地形上これを西部高地帯・中央凹地帯・東部高地帯の三部に分つことが出來

る。

1 西部高地帯

西樺太山脈—本島の極北エリサベス岬から起り、南端西能登呂岬に至るまで本島を南北に縦貫し、本島の脊梁をなす。各山頂の高度大差なく、多數の横谷によつて切られて居る。北緯五十度以南に於ては數香岳(二三七四)・逢見山(二〇一〇)があつて次第に南するに従つて高度を減じ釜伏山(二〇八七)となり、久春内の地峽部になれば愈々高度を減じ海拔僅か



〔地形圖〕

に八十米の峠となる。これより南すれば再び高度を増し、野田寒岳(二〇二七)・留多加岳(五五八)・多蘭泊山(五〇九)等の火山性の山地がある。

2 東部高地帯

本地帯に於ては多來加灣の陥没によつて、高地は南北二地帯に分

かれる。

東北山脈—北緯五十度附近に於て最も幅廣く、振戸山(一〇三四)及び二座の無名山がある。それが

ら南に及んで多來加湖の北方に断絶する。一脈は東南に延びて高度を減じ、北知床半島となり海に没する。

鈴谷山脈—鈴谷川・内淵川の東部に南北に連なり、鈴谷岳(一〇四七)を主峰とする。

3 中央凹地帯

北方露領から起り、幌内川の谷に沿うて多來加灣に出で海によつて中斷され、南は内淵・鈴谷の平野となる。

北中央凹地帯—イツミ川・幌内川を通ずる低地で南北全長三百軒に及ぶ。北緯五十度以南は南北百二十軒、幅二十乃至三十軒に及び、大部分凍土帯である。

南中央凹地帯—内淵川・鈴谷川を連れる低地で、約百軒に亘る平地で、幌内平野に於けるが如く泥炭の厚層なく、土地肥沃で農牧に適する。これ等南北凹地帯は陷没地のため生じたものである。幌内川—アイヌ語の大河の意で、北緯五十一度附

近に源を發し、凍土帯を貫いて南流して多來加灣に入る、全長三百軒に達する。

内淵川—野田寒岳の北東方に源を發し、内淵平野に出て大谷川の水を入れ海に注ぐ全長百二十軒、下流二十四軒の間は舟航することが出来る。上流には石炭埋藏される。

多來加湖—多來加灣の北岸にある本島第一の湖で、砂嘴によつて海と断たれて居る潟湖である。

富内湖—南中央凹地帯に存し最大深度三十二米に及ぶ。砂嘴によつて海と境する。一種の潟湖であるが多來加湖と同じく未だ研究不十分で、その成因等は決定して居ない。

海岸線

東部には北知床半島突出して多來加灣を抱き、南部には中知床・能登呂半島突出して亞庭灣を抱く外屈曲殆んどなく、沿岸には良港を見ない。西岸地方は一般に海浅く數段の段丘を作り、好漁場となる所がある。東岸は海浅く出入なく、頗る單調であ

る。西岸と同じく段丘が多い。

地質

樺太島の地質は層序整然として規則正しい地質構造をなして居る。古生層は東北山脈を構成し、これに接して結晶片岩・白堊層・第三紀層等がある。北知床半島を作るものは第三紀層である。西部高地帯は白堊層及び第三紀層で、白堊層は山脈の主軸をなし、その東西に第三紀層がある。鈴谷山脈には結晶片岩がある。中央低地帯は第四紀層で凍土帯が多い。火成岩の分布非常に少く、局部的に火山岩及び花崗岩がある。大切なのは第三紀層

であつて、この内に多量の石炭・石油を埋藏して居る。北樺太西岸ツウエ地方の炭田、東岸一帯の油田は近年我が國が採掘する利権を得て居る。

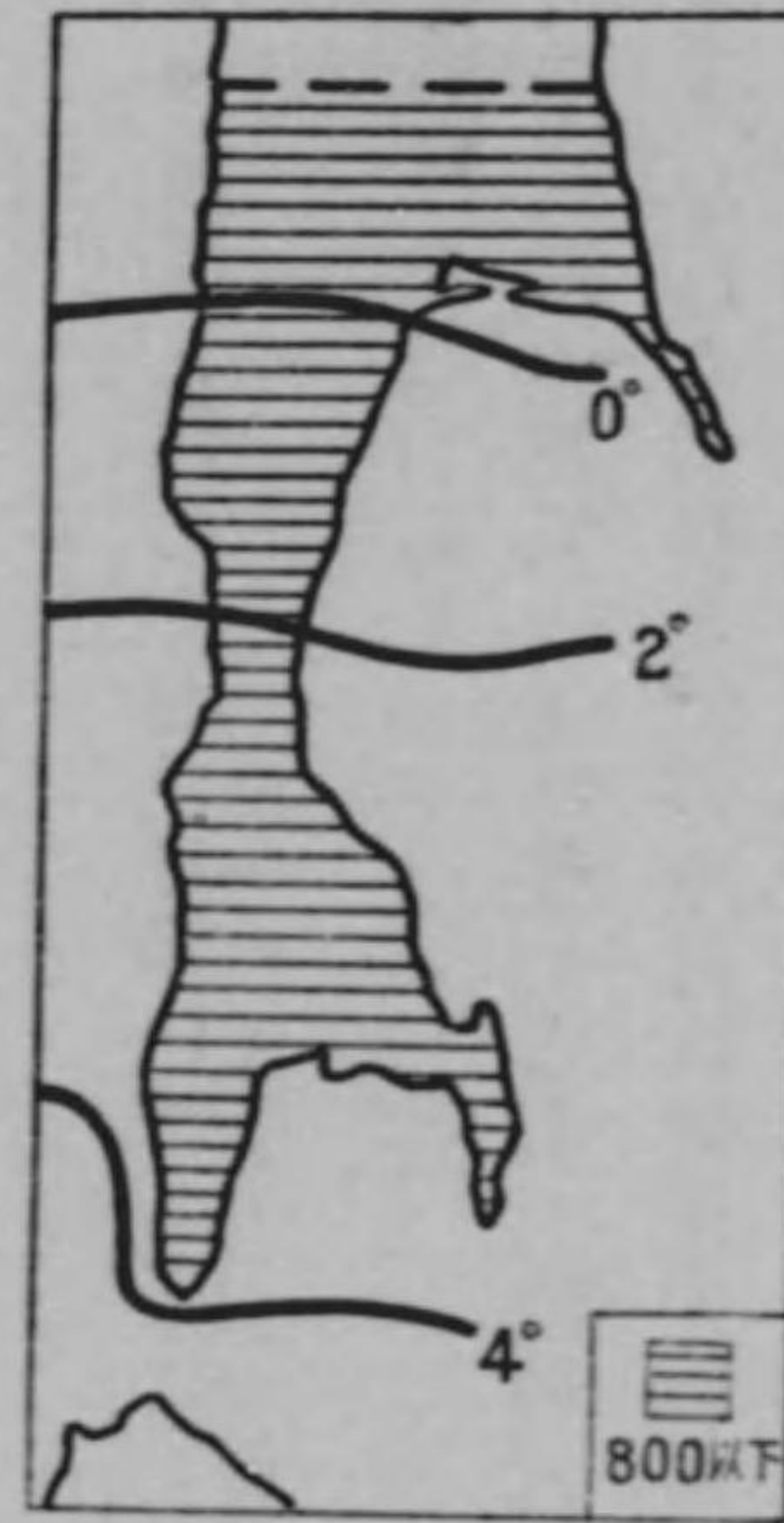
氣候

本島は位置北偏し、兩岸寒流に洗はれるので氣温低く、又雨量も非常に少い。西南岸のみは對馬暖流の末流の影響を受け氣温稍高く、眞岡の如き不凍港がある。亞庭灣及び東岸地方は毎年十二月から翌年四月頃まで海水凍結する。

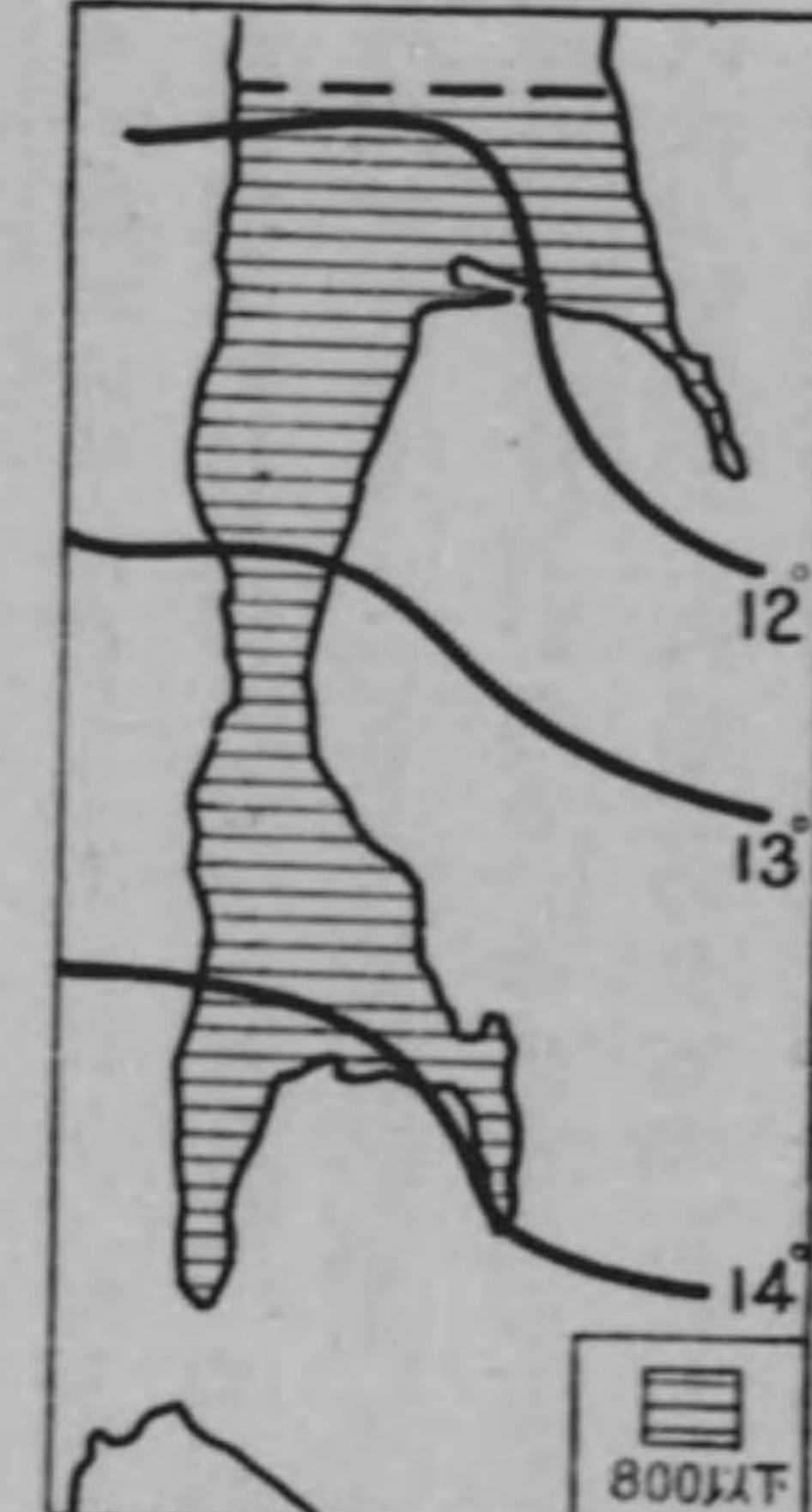
地名	氣温(攝氏)		雨量(耗)	
	一月	七月	冬	夏
大泊	(一) 一〇・九	一四・三	九〇	二六八
眞岡	(一) 八・七	一五・四	九四	二七一
敷香	(一) 一六・二	一三・二	一〇三	二九五
	年平均	(一) 〇・二		年總量
				七五〇
				七二四
				七六六



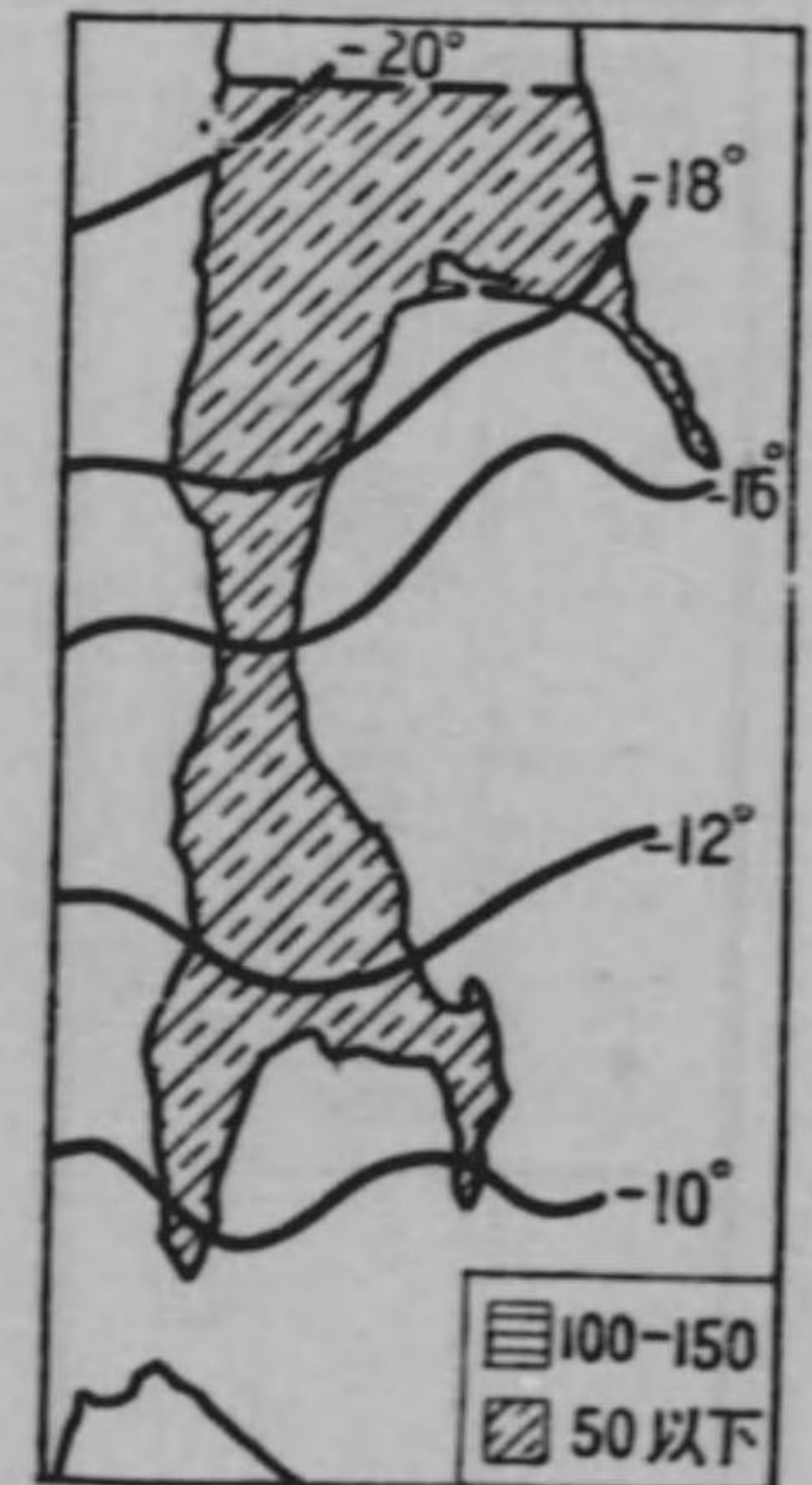
島豹海と漁鯨の岸海泊大



〔月一、圖量雨溫氣〕



〔月七、圖量雨溫氣〕



〔均平年、圖量雨溫氣〕

産業

土地北偏し氣候寒冷で、低地は多く凍土帯をなし、而も人口稀薄であるため、諸産業は未だ幼稚の域を脱しない。

農業

氣候の影響を受けて土地農耕に適しない地が多いため農業不振で、僅かに南部の低地、留多加川、鈴谷川・内淵川の流域が農業地帯である。

主要農産物……麥類・豆類・馬鈴薯・蔬菜、その他合計二百四十萬圓

牧畜

農家の副業として露領時代から行はれて居るが、冬季飲用水の凍結、牛馬の運動地なき等のため餘り盛んにならない。近時又養狐業が次第に盛んになつて來た。

馬……五三〇〇頭、牛……二四〇〇頭、豚……二三〇〇頭

③ 水産業

北海道と同じく本島の主要産業で、その産額も多額に上る。

水産物……鱈・鮭・鯨・昆布・製造物……鱈詰・鹽魚・乾魚・肥料・鯨油・肝油。

更に本島水産物中特殊なものは海獣で、海豹島の臘納獸・海馬島の海驢アザラシ最も著名である。

④ 林業

森林面積は全島の九割に達し、蝦夷松・椴松・落葉松・白楊等の大森林があつて、本島移輸出品の大部分を占めて居る。

⑤ 鑛業

北樺太第三紀層中には廣大な油田と、炭田とがあるが、南樺太は北に比して餘程貧弱である。しかし、今後の調査完成の暁は有用鑛物も発見されるであらう。現在南樺太炭田中内淵川流域の炭田、鈴谷川上流の川上炭田等最も有名である。石炭以

外に砂金・硫化鐵の産があるが産額は少い。

⑥ 工業

工業は不振で、見るべきものは木材乾留(木精・醋酸石灰・タールを製する)・パルプ製造・罐詰業などである。

交通

水陸交通共に不便で、鐵道は短距離線のみで、大泊・榮濱間、本斗・野田間に通するのみ、この外陸上交通は特殊な機關としてソリ橇を用ひ、犬及び馴鹿に引かせる。海上交通は大泊と眞岡とを中心とし、小樽との間に定期船を通ずる。この外榮濱・元泊・散江・泊居・北名好等の港があるが、冬季は全く交通杜絶する。

住民

南樺太人口總數は二十萬餘に過ぎず、その密度は一方糶五人で遠く他地方に及ばない。然るに近時次第に増加の傾向がある。内地移住者の外に、先

住民としてアイヌ族・オロチオン族・ギリヤーク族が居る。これ等は體質・風俗・習慣等を異にし、文化の度は一般に低い。その数は非常に少く合計一千七百人に過ぎない。内、アイヌ族一千三百人、オロチオン族二百七十五人、ギリヤーク百三人である。

参考事項

A 凍土帯 (Tundra) とは如何なるものか。

凍土帯とは凍原の意で、不毛な土地である、世界の寒地にはこれを見る。幌内平野の凍土帯では地表下二米乃至五米位は泥炭・ミゾゴケ・スギゴケ等密生し、所々に貧弱な落葉松が生え、地下數尺に達すれば夏も尙凍結して居る。農耕に適しないばかりでなく、有機質の悪水が多いため人類の住居に適しない。

處誌

研究事項

- ④ 次の都邑にはどんな特徴があるか。
a 大泊、b 豊原、c 落合、d 眞岡、e 敷香
- ⑤ 海豹島はどんな事で知られて居るか。

大泊(一・二) 亞庭灣頭^{アニハ}にある開港場で、露領時代コルサコフと言つた町である。樺太の一門戸で内外の船舶が出入する。大泊支廳の所在地で又漁業の中心地である。冬季結氷するを以て碎氷船によつて交通する。
留多加 多來加河口にあつて、附近に模範牧場がある。

豊原 鈴谷川上流の沃野の中心、樺太廳の所在地である。附近の平野は近時開墾が大いに進んだ。
落合 内淵川に臨み測候所がある。我が國測候所中の最低氣温を示す。パルプ大工場がある。
藥濱 内淵河口に臨み交通上の要地である。パルプ及び水産物の積出港である。

眞岡(一・〇) 西岸にある港市で、背後に段丘を貫ひ本峰唯一の不凍港で、冬季は諸港に代つてその繁榮を獨占する。附近は漁業頗る盛んで練漁業の中心地である。

泊居 西岸の一要港で附近に石炭を産し、パルプ工業盛んである。又練漁業の中心地である。
敷香 幌内河口に近く鮭漁の中心地で、又毛皮・水産物の取引も行はれる。附近にはオロチオン・ギリヤークなどの土人住居する。年平均零下一度に及ぶ。

海豹島 北知床岬の南方にある小島で長さ七百米、幅七十米、高距十米に過ぎない。第三紀層の海蝕

臺地でもと北知床岬に連続して居たものである。夏季臘肭獸の來ること多く、これが保護のために官吏が派遣される。

第十章 朝鮮地方

通論

研究事項

- ④ 地質上内地と異なる所は如何なる點か。
- ⑤ 主要山脈にはどんなものがあるか。
- ⑥ 大白山脈は本地方の文化にどんな關係をもつて居るか。
- ⑦ 朝鮮に於ける主要な大川を研究せよ。
- ⑧ 日本海斜面と黄海斜面との海岸線を比較せよ。

候氣

④ 本地方の夏季と冬季との氣候を比較せよ。
③ 冬季は内地の同緯度の地方に比して寒冷なのは何故か。

業産

① 朝鮮の産業はどんなものが有望か。
② 朝鮮の産業が日韓併合後急速な進歩をしたのはどう言ふわけか。
③ 朝鮮の産業が西部斜面に盛んなのはどう言ふわけか。

◎ 本地方は如何なる地理區に分けられるか。

増城

アジヤ洲東方に空出する一の半島で、東は日本海、西は黄海に面し、南は朝鮮海峽を隔てて本州・九州に相對する。北は鴨綠江・豆滿江の自然的境界によつて滿洲・シベリヤに接する。これを行政上次の十三道に分つ。

- 全羅南道 全羅北道 慶尙南道 慶尙北道
- 忠清南道 忠清北道 京畿道 江原道
- 黄海道 平安南道 平安北道 咸鏡南道

咸鏡北道

地形

半島部の地形は南北・東西その趣を異にし、北部には長白山脈・蓋馬高臺等の高地連なり、南部には大白・小白山脈等起り、殊に南北に縱走する大白山脈の東偏して居ることは、本島地形の東西に大なる差異を與へて居る。

一山脈

長白山脈—朝鮮の國境に近く東北から西南に走る山脈で、最高峰を白頭山(二七四四)と言ふ。

蓋馬高臺—長白山脈の南に接する熔岩臺地である。我が國熔岩臺地中最大なものであつて、玄武岩から成る。

狼林山脈—咸鏡・平安兩道の境界を南北に走る山脈で、狼林山(二〇一三)を主峯とする。

大白山脈—南朝鮮の主軸山脈で、元山附近に起つて朝鮮東部を南北に縱走する本島南部の大分水嶺山脈で、奇景に富む金剛山(一六三八)はその主

峰である。

小白山脈—大白山脈の一支脈で、大白山の西に位置する小白山から發し、慶尙北道と忠清北道との間を西南に走り、西南部海岸はリアス式海岸で、多くの小島を成す。一般に高度小で殆んど丘陵性である。

東嶺山脈—江原道の中部に於て大白山脈と分岐し、これから西に向つて走り、漢江の上流によつて一旦切斷され、更に西南に向つて群山北方で海に没する。

一河川 平野

斜面	河川	平野
東海岸(日本海斜面) 西海岸(黄海斜面) 南海岸(朝鮮海峽面)	豆滿江 鴨綠江・清川江・大同江・漢江・錦江 洛東江	平壤平野・漢江平野・錦江平野 洛東平野

鴨綠江—源を白頭山・蓋馬高臺に發し、國境に沿ひ西流して海に注ぐ。全長八百餘軒に達する我が國第一の長流で、滿潮時には千餘噸の船舶が安東縣まで上る、小舟は上流支流まで上ることが出来る。流域には平野なく大森林地帯で、この木材運

搬路として實に重要なものである。
大同江—本流は源を狼林山に發し、平壤平野に出でて海に入る、全長四百四十軒に及び、河口には三角洲が發達して居る。流域平野よく開け舟運・灌溉の便が大である。

漢江—大白山脈に源を發し、京城平野を灌漑して海に入る。全長五百二十軒に及ぶ大江で、流域文化に貢献すること大である。

漢江平野—一名京城平野と稱し、漢江の下流平野で、京城を中心として文化大いに進む。平野は地味肥沃で諸産業大いに發達する。

洛東江—源を大白山に發し、南流して朝鮮海峡に入る。全長五百三十軒に及び流域土地豊沃で農産に富み、灌漑舟楫の便が多い。



〔地形圖〕

平壤平野—大同江下流の平野で平安南道・黄海道に亘り土地よく開け、農業・鑛業の盛んな地域である。

豆満江—鴨綠江と共に朝鮮の自然的境界をなすもので、白頭山東麓に源を發し、露領沿海州の境にて海に入る、全長五百三十軒に及ぶ。

● 海岸

1 東海岸—大白山脈東偏し山勢海に迫り、絶壁をなす所が多い。海岸線は單調で僅かに永興・迎

日二灣を見る外殆んど出入を見ない。随つて良港灣の如きものもない。

2 南海岸—大白山脈・小白山脈の海に没する所で、海岸線頗る曲屈に富みリアス式海岸をなし、良港灣に富み、島嶼も多く散在する。

3 西海岸—出入に富み多くの灣入・突角・大小島嶼を見る。殊に南する程複雑である。木浦・群山・仁川・鎮南浦・龍巖浦・新義州等の良港灣の發達を見る。しかし、沿岸遠淺で潮汐干満の差の大なることは缺點である。仁川附近の如きは干満の差實に十米に及ぶ。

■ 地質

朝鮮半島の地質は日本内地と支那大陸との中間にある關係を示し、北半は支那に似て南半は日本内地に似て居る。片麻岩と花崗岩との分布最も廣く、その他古期古生層の分布も多いが、これ等は北支那の地質と同一系統である。中生層は東南部

即ち慶尙北道・南道地方に分布し、我が内地の九州・中國地方のものと同一系統である。第三紀層及び第四紀層は極めて少く、又火山岩の分布も少く、蓋馬高臺・濟州島・竹駕嶺地溝帯を除いては殆んどこれを認めない。内地の火山岩は安山岩が主なものであるが、當地に於ては玄武岩である。

竹駕嶺地溝帯—朝鮮半島を南北に兩斷する地溝帯で、東岸の永興灣から西南、黄海岸の江華灣に通ずる線で、陥没により出來た凹地帯で、京元線はこの凹地帯に沿うて敷設されて居る。この裂線の弱所に沿うて玄武岩が噴出して居る。

■ 気象

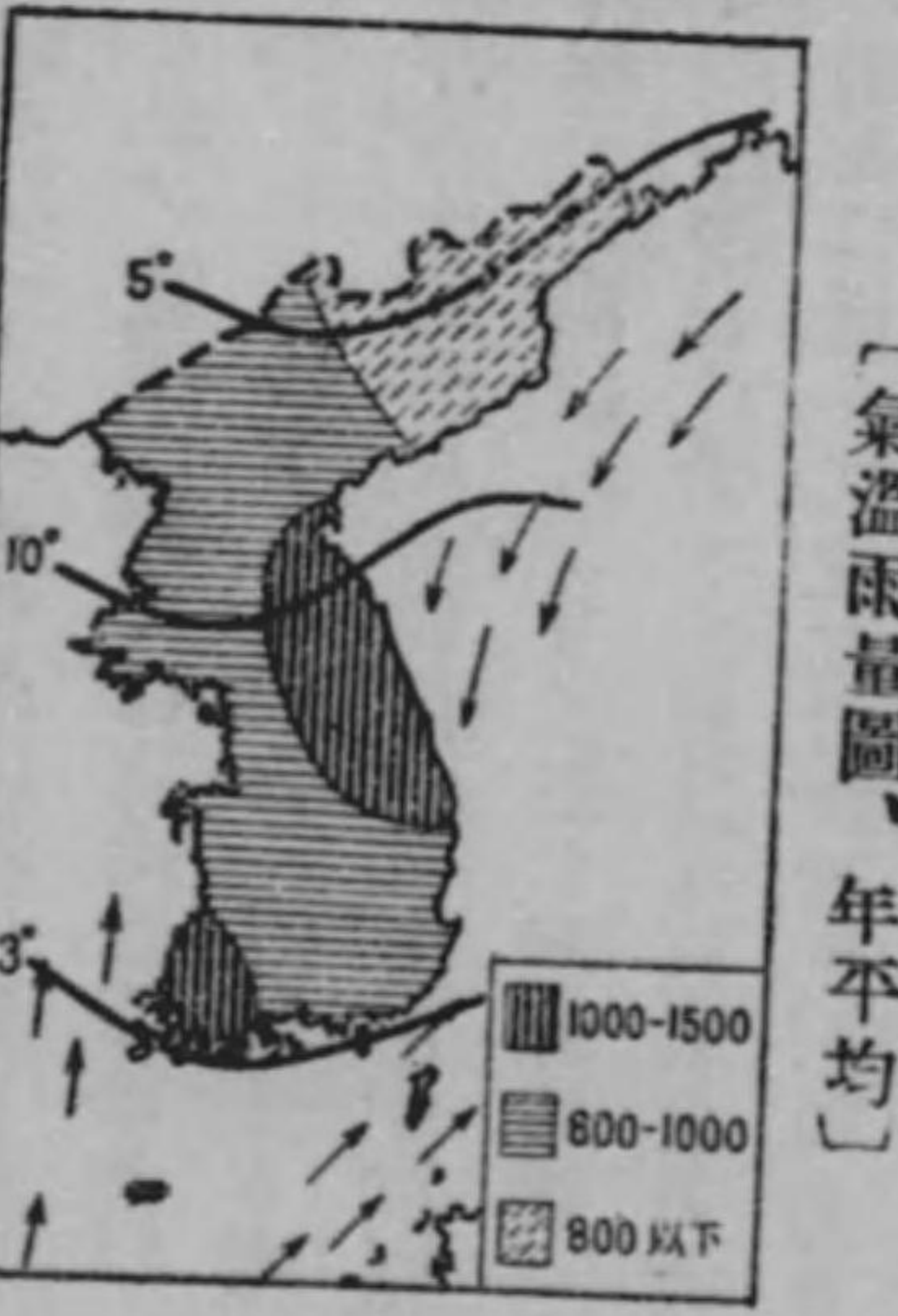
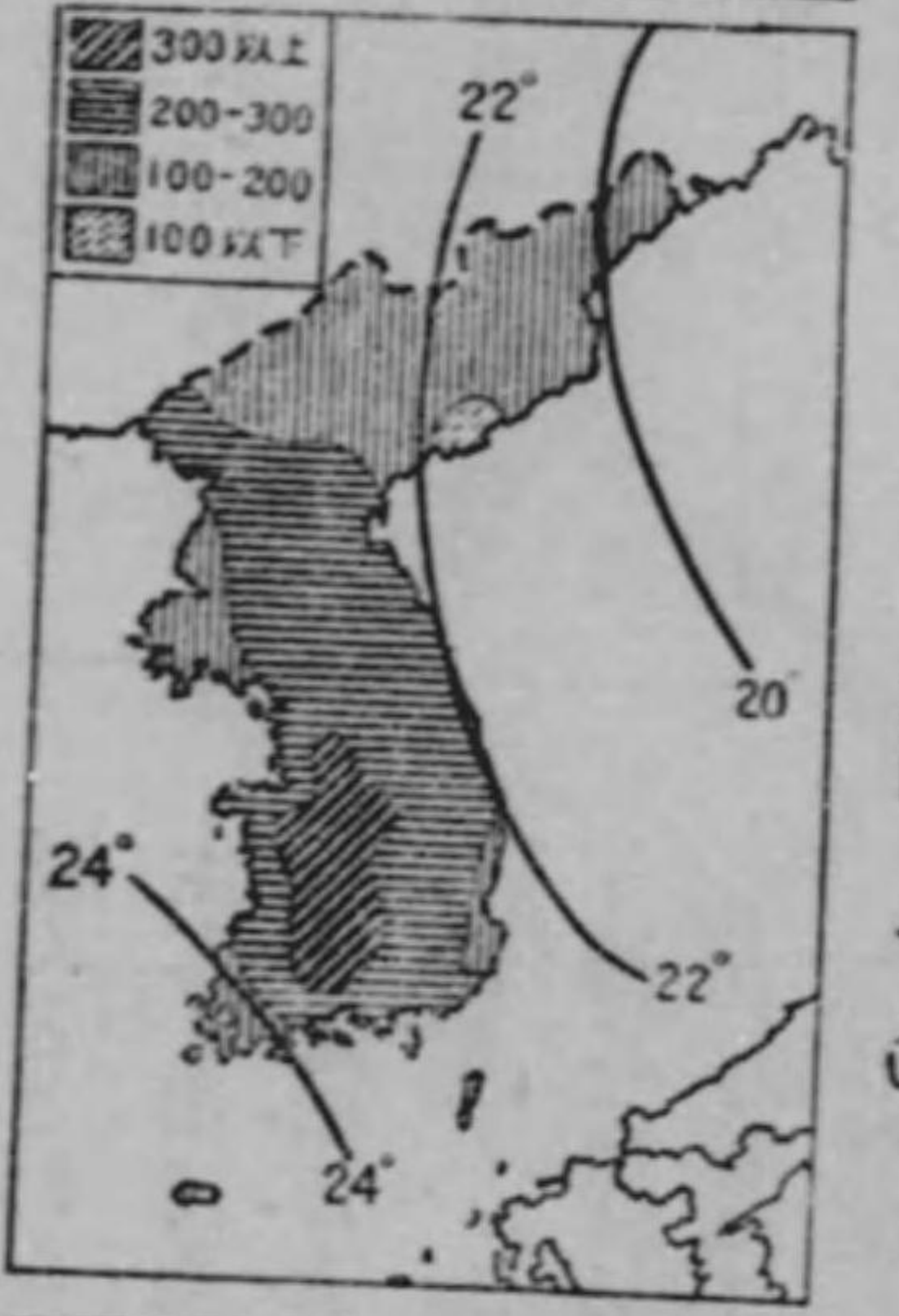
朝鮮半島に於ては氣候は南・北趣を異にし、北部は大陸に接するため寒暑の差大で、南部は三方海に面し溫和であるが、九州に比すれば遙かに氣温が低い。雨量は一般に少いが東岸には稍多い。

地名	氣		温(攝氏)		雨		年總量(耗)
	一月	七月	年平均	冬	夏	年總量	
釜山	二〇二	二五三	一三・四	一一三	六七一	一四一九	
仁川	二〇二	二四・五	一〇・六	一一三	五二七	一四一九	
龍巖	二〇二	二三七	八・〇	一一三	四八七	九二一	
元山	二〇二	二二二	一〇・二	一一三	四八七	八八三	
江津	二〇二	二二二	一〇・二	一一三	四八七	八八三	
中元	二〇二	二二二	一〇・二	一一三	四八七	八八三	

〔氣溫雨量圖、一月〕

〔氣溫雨量圖、七月〕

〔氣溫雨量圖、年平均〕



産業

住民の大部分は先住民たる朝鮮人で、彼等は亂時の惰性で土地の開発に専念せず、荒蕪の地多く

農業

産業一般に不振であつたが、日韓合併後我が政府は鋭意産業開發に留意したため、近時次第に進歩しつつある。

朝鮮主要産業で全住民の八割乃至九割は農業に従事し、耕地の擴張と農事の改良と共に大いに面目を新にして來た。

米……一四〇〇萬石(中・南部の諸平野)……

(内地總産額の百分ノ二十三)

麥類……一〇〇萬石(各地)……

(内地總産額の百分ノ四十)

大豆……四六〇萬石(各地)……

(内地總産額ノ一・四倍)

人参……各地に産するも、特に開城を中心とした

地方が有名である

その他棉花・葡萄・苹果・梨・桃の産額も多い。

養蠶……年々發達し繭産額十三萬石に及ぶ。その他柞蠶絲の産もある。

牧畜

牧牛盛んで内地に移出される。その他馬・豚の産も多い。牛は北部地方に多い。

牛……一五〇萬頭……(内地頭數、計一四五萬頭)

林業

山地は多いが秃山である。これ地質及び古來濫伐の結果によるもので、唯鴨綠江流域には廣大な森林があつて紅松・唐檜・樅・落葉松等の良材を産する。近時全道に亘つて植林を奨励して居る。

鑛業

全道に亘り鑛産豊富で、前途極めて有望である。最近鑛産總計一千九百萬圓(大正十三年)に達する。金……四五〇萬圓……平安北道(雲山)・黃海道(遂安)・平安南道

石炭……二九〇萬圓……平安南道(平壤炭田)、平壤炭田の石炭は、内地の石炭と異つて古生代のものである。

鐵鑛……二一〇萬圓……黃海道(殷栗・載寧・安岳)

その他銀・石墨等の産がある。

水産業

研究事項

處誌

住民政治
 人口總數は一千九百五十萬、密度一方軒八十八人、奥羽地方の九十二人に及ばない、大部分は朝鮮人で、内地人は僅かに四十萬に過ぎない。
 明治四十三年日韓併合後、京城に總督府を置き總督を派し、立法・司法・行政の全權を委任する。全道を十三道に分ち各道に知事を置く。

海運

咸鏡線——元山—咸鏡—新浦—羅南
 内地との連絡は下關と釜山との間に一日二回連絡船が通じ、その他仁川・元山等、内外航路の中心をなし、鴨綠江・大同江・漢江等も亦大いに水運の便があつて、地方文化に貢獻する所が大である。

南部地方

慶尙北道・慶尙南道・全羅北道・全羅南道・忠清北道・忠清南道

◎朝鮮東海岸の都會が西海岸に比して振はないのは如何なるわけか。

方地部北
 ① 羅南に師團の置かれた理由を考へて見よ。
 ② 次の都邑を調査せよ。
 a 平壤、b 鎮南浦、c 新義州、d 元山、e 清津

方地部中
 ① 京城は朝鮮の首都として適當であるか。
 ② 京城と仁川とはどんな關係を有するか。
 ③ 次の都邑を調査せよ。
 a 開城、b 兼二浦

方地部南
 ① 釜山港は朝鮮の文化を開發する上にどんな使命を有するか。
 ② 次の都邑にはどんな特徴があるか。
 a 馬山、b 大邱、c 木浦、d 群山、e 太田

近海は寒・暖二流れ漁族多く、内地人出漁するに至つて大いに振つて來た。
 日本海方面……明太魚・鯨



〔圖布分業産〕

交通路は甚だ不完全であつたが、併合後大いに面目を新にし、水陸交通は便利になつた。

鐵道

京釜線——釜山—大田—京城
 京義線——京城—開城—平壤—安東
 京元線——京城—元山
 湖南線——大田—江景—木浦

工業

工業は未だ不振で近時漸く發達の緒に著いた。主なものは鐵工業・煙草製造・綿布・製紙等である。

る。

釜山(七・八)朝鮮海峡に臨み天然の良港に大築港完成し、朝鮮第一の開港場である。殊に内地との連絡上最も有利な位置にあつて朝鮮の門戸に當り、市況活潑である。内地人多く全人口の約半數に上る。

移輸出品……米・大豆・水産物・生牛・牛皮
移輸入品……木綿・金巾・石炭・食鹽・日用品

東萊 釜山の東方八軒の地に位し電車を通ずる。有名な温泉地で浴客が多い。

蔚山 東萊の東北にあつて捕鯨業の中心地である。又秀吉朝鮮征伐の際加藤清正の奮戦した所である。

馬山(一・七)釜山の西北方にあつて鎮海灣の一支部に臨む。附近一帯氣候温和で健康地として有名である。港は水深大で天然の良港をなし、嘗ては貿易港であつたが、附近が要塞地帯となるに及んで港は閉鎖された。水産物・米の取引がある。

鎮海 馬山の東方、鎮海灣頭に位し、前方に巨濟島を控へ要塞堅固で、近時まで第五海軍區の軍港

であつたが、軍縮の結果要港となつた。

晉州 馬山の西方にある農産物の集散地で、殊に木綿の産地として知られて居る。

大邱(五・四)洛東江の支流に臨み、平野の中心に位するを以て物資の集散多く、古來有名な商業地として知られて居る。定期に市が開かれ頗る盛況を呈する。春・秋二季の開市の如きは數萬の人が集る。米・麥・豆・乾魚・生牛等を取引する。

慶州 新羅の古都で古蹟に富む。

木浦 半島の西南部にあつて湖南線の終點に當り、港は天然の良港で水陸交通の便がよい。米・棉花・大豆等の農産物の集散多く、又近海は漁業盛んである。

光州 米・麥・棉花の集散地。殊に棉花は近時米國種を輸入して、その成績大いに見るべきものがある。

蔚山 錦江の河口に位する西岸屈指の開港場で米の積出港として知られ、内地人の在住する者が多

い。

全州 全州平野に臨み、附近は内地人の在住する者多く、大規模の農場がある。米産が甚だ多い。百濟の舊都で遺蹟に富む。

公州 錦江に沿ひ農産物の集散地で、毎月定期に市が開かれ米・生牛・豆・木材の取引が盛んである。

大田 湖南線の分岐點、内地人經營の新市街で新興の氣に満ちて居る。附近は米作盛んで又最近棉花會社・皮革會社が創設され、工業的方面にも發達して來た。

清州 忠清北道廳の所在地で沃野の中心にあつて、農産物の集散地である。

濟州島 全羅南道に屬し、朝鮮第一の大島で東西六十九軒、南北二十四軒、周圍二百四十軒に達する。全土火山岩によつて構成され、中央に漢羅山聳え海拔一千九百五十米に及び、中央に火口湖を有する。近海は魚利に富む。

中部地方

京畿道・黃海道・江原道

京城を中心とする漢江平野があつて、朝鮮文化の中樞をなす。

京城(二七・一)漢江に臨み漢江平野の中心に位し、李朝五百年間の舊都で朝鮮第一の大都である。東及び北には駱駝山・北漢山等聳え要害の地で、地形的にも舊都としての面影が見られる。李朝舊王城景福宮・昌德宮等を始め朝鮮總督府・京城帝國大學・高等法院・覆審法院その他諸官衙・學校等多く、政治・經濟・學術の中心地をなし益々發展しつつある。

龍山 京城の西南部にあつて京城の一部で、貨物の集散が盛んで、第二十師團司令部が置かれてある。

仁川(四・一)京城と鐵道を通じ江華灣に臨む開港場で、京城の門戸をなす。商業盛んで貿易額は

釜山に次ぐ。沿岸は潮汐干満の差大なるため船舶の出入に頗る不便であつたが、開門式の大築港完成して以來この不便より脱することを得た。

水原 京城の南方にある勝景地で、模範農場・高等農林學校がある。毎月定期市が開かれ農産物の集散が行はれる。

開城(四・〇) 京城の北部にある高麗の舊都で古蹟に富む。商業頗る盛んで又朝鮮人参・高麗燒の産が多い。

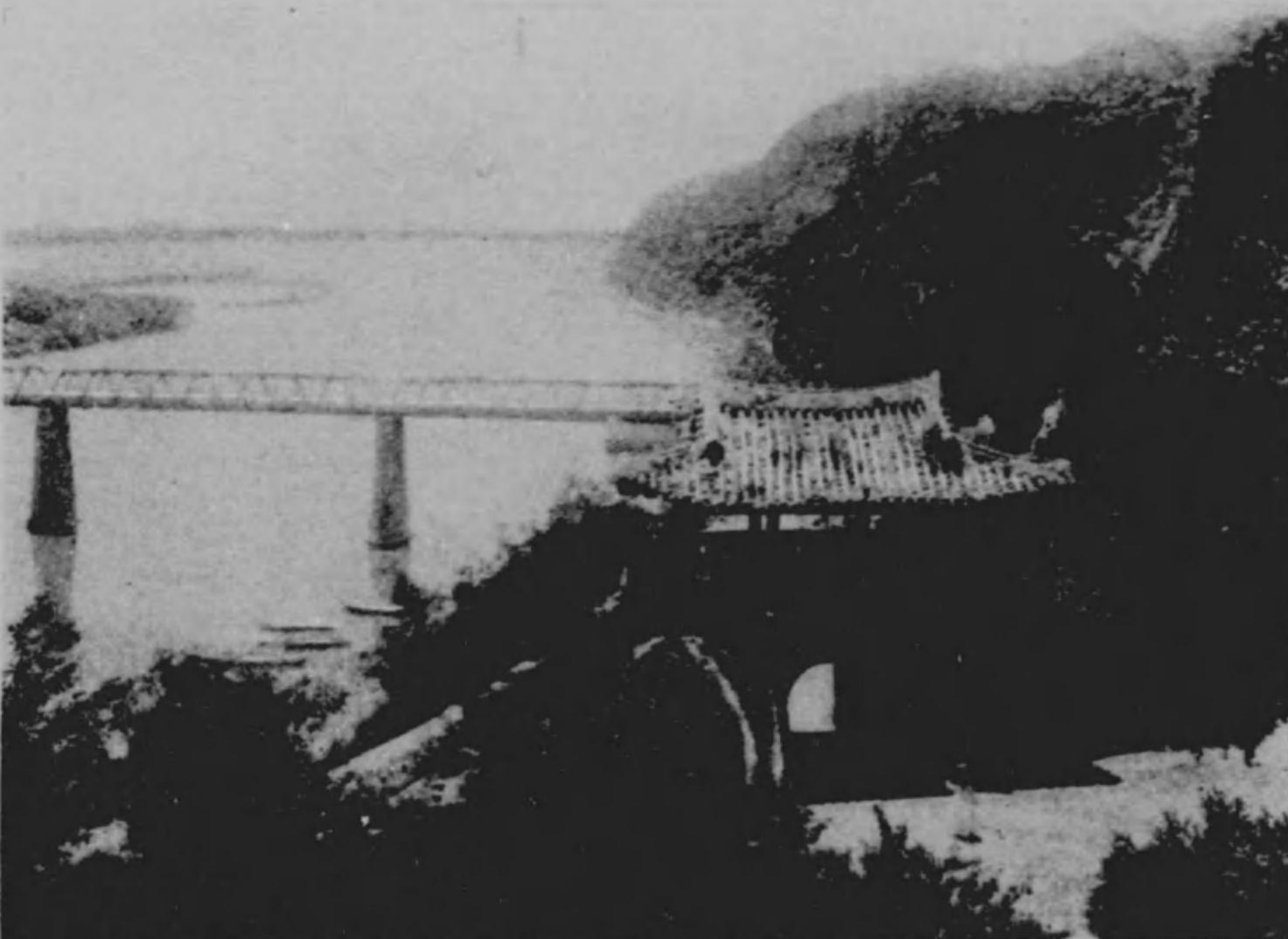
黄州 開城の西北にあつて、内地人經營の大農場多く棉花・大豆の産が多い。

兼二浦 大同江に臨み製鐵所の所在地で、又水産物を集散する。

龍軍 殷粟 黄海道西北部の鐵山で、鐵礦は八幡製鐵所及び兼二浦の製鐵所に送られる。附近の安岳にも鐵山がある。

遼安 有名な金山で米國人の經營にかかる。

北部地方



朝鮮農村と牡丹臺

平安南道・平安北道・咸鏡南道・咸鏡北道

山地多く北偏するため氣候寒冷で、海岸地方を除く外人口稀薄で、文化も進まない地方である。

平壤(八・六) 大同江の右岸に臨み平壤平野の中心にある。古い歴史を有し、古朝鮮・高麗の舊都であつたことがある。又豊臣秀吉の朝鮮征伐、日清戦役の古戰場として有名である。水陸の交通便利で商業も頗る盛んである。附近には寺洞を中心とする平壤炭田があつて、多くの無煙炭を産する。

當地の無煙炭は古生代に屬するものである。市内には覆審法院・地方法院及び野砲兵聯隊・飛行聯隊等がある。

鎭南浦(二・四) 大同江口近くの開港場で大豆・鐵礦の積出地で、又製鍊所がある。

順安(一・六) 平壤の西北に位し砂金の産地として知られ、又雲母・石墨及び農産物の集散地である。北方の介川も亦金産地である。

雲山 朝鮮第一の金産地で米國人の經營にかかる。

新義州（一・八）京義線に沿ひ釜山を距ること九百四十軒、鐵道開通以來發達した新市街で、鴨綠江を挟んで滿洲の安東と相對する。鴨綠江上流の木材の一集散地である。冬季は河水結氷するため舟の交通は杜絶する。

鴨綠江大鐵橋——新義州・安東との間の鐵橋、全長九百四十五米。明治四十二年起工、同四十四年十月竣工。中央部は開閉式で時を定めて開閉し船舶の通行に便する。鐵橋の兩側には幅八呎の歩道がある。

義州 新義州の東北にあつて滿洲九連城と相對する。日清・日露兩戰役の古戰場として有名である。

元山 永興灣に臨み東岸第一の開港場である。良港で内外各地と航路を通ずる。京元線開通し、東西朝鮮の文化を結ぶを得た。内地敦賀との航路がよく開ければ、東京・京城を結ぶ最短距離の要路に當る。海産物の集散が多い。

咸鏡 元山の北方に位し農産物の集散地である。

咸鏡北道の南部にある開港場であるが貿易額は少い。大豆・牛を積出す。

清津 開港場で吉林省問島の門戸に當り、貨物の集散が多い。尙將來吉會鐵道（吉林—會寧）開通すれば、滿洲に入る一の門戸として重大な意義を有するやうになる。

羅南 清津の西南部にあつて第十九師團司令部及び道廳の所在所で、近時大いに發展した。

參考事項

京城が朝鮮の首都となつた理由

- 1 位置が朝鮮のほぼ中央にあること。
- 2 もと韓國の首都であつたこと。
- 3 漢江平野を控へ漢江に沿ふこと。
- 4 京釜線・京義線・京元線の會合點で陸上交通盛んなこと。
- 5 仁川の外港を有すること。

第十一章 關東州

面積 三四千方軒
人口 一〇五萬

研究事項

- ① 本地方は地形・地質上如何なる地方か。
- ② 本地方は我が奥羽地方とほぼ同緯度にあるが、氣候の大いに異なるは如何なる理由か。
- ③ 本地方の主要産業にはどんなものがあるか。
- ④ 大連市の發達した理由を考へて見よ。
- ⑤ 關東州と我が國との關係を研究して見よ。

境域

關東州は遼東半島の西南部を占め、東は黃海に面し、西に金州灣を抱き、南は直隸海峽を隔てて山東半島に對し、北方東三省との境には中立地帯

がある。我が租借地に屬する地域は面積三千四百方軒(鳥取縣より稍小)、人口約百五萬に達する。

地形

一 山脈

我が租借地内には高峻な山脈なく、長白山脈の餘派たる遼東山脈が東北から西南に走つて半島の主軸をなす。この遼東半島は丘陵性で最高峰大和尚山すら僅か六百米に過ぎない。これ等の山峰はいづれも風雨の浸蝕作用を受け、老年期の地貌を呈して居る。

二 平野

全地域殆ど丘陵性の山地で平野の著しきものなく、僅かに金州・普蘭店・十里堡・貔子窩附近に各々少許の冲積平野を見るに過ぎない。

三 海岸線

沿岸は屈曲に富み島嶼も多く散在する。大連灣と金州灣とは南北から灣入して金州地峽を形成し、その他旅順灣・双島灣等もあつて良港灣に富む。

黃海中には長山列島がある。黃海・金州灣は陥没によつて出来、半島の屈曲、附近の島嶼は土地の沈降によつて形成されたもので、直隸海峽の廟島列島の如きは遼東山脈の連鎖である。

地質

地質は主として片麻岩系と前寒武利亞系に屬し、前者は主として金州地峽以北に、後者はそれ以南に分布する。南部地方には後者に屬する非常に堅い珪岩があり、旅順附近の山はこれ等堅岩から成り山骨露出し、日露戰役に有名な難攻不落の旅順

の要塞もこの自然の堅壁たる珪岩によつて居る。この珪岩には海岸に生成當時の波の痕が残つて居る。要するにこれ等の地質は非常に古いもので、その後の水成岩は非常に少く中生層は小局部分に露はれ、第三紀層は全くこれを缺き、直ちに第四紀層に移る。火成岩の分布も亦非常に少い。

氣候

當地方は北緯三十九度内外で奥羽地方の中部と等しいが、大陸の影響を受けて寒暑の差頗る大で、雨量も少く降雨日數も亦非常に少い。

地名	氣		溫(攝氏)		雨		年總量
	一月	七月	年平均	冬	夏		
旅順	(一)	二四・一	一〇・一	二六	三二	五六八	
大連	(一)	二四・八	一〇・三	三三	三五八	六四七	
秋田	(一)	二三・六	一〇・四	四〇二	五二	一八〇六	
(石卷)	〇〇	二三・九	一〇・九	四二	三八四	二二六八	

産業

一 農業

平地少く瘠地多いため農業不振で、高粱・大豆・玉蜀黍の少量を出すに過ぎない。

二 牧畜

牧畜は盛んで面積狭小なるにかかはらず、牛・馬・山羊の如きは頭數臺灣とほぼ同數で、豚は臺灣の十分の一である。

三 林業

不振で目下關東廳・南滿洲鐵道會社で獎勵しつつある。

四 水産業

滿洲中最も有利な位置にあつてよく發達し、支那人・内地人がこれに従事しつつある。漁獲高及び水産製造物合計二百五六十萬圓に達する。
製鹽業——降雨少く地形又良好なためよく發達し、沿岸各地にこれを見る。製鹽業者中には内

五 工業

地人も多く、製鹽高總計百萬圓に達する。

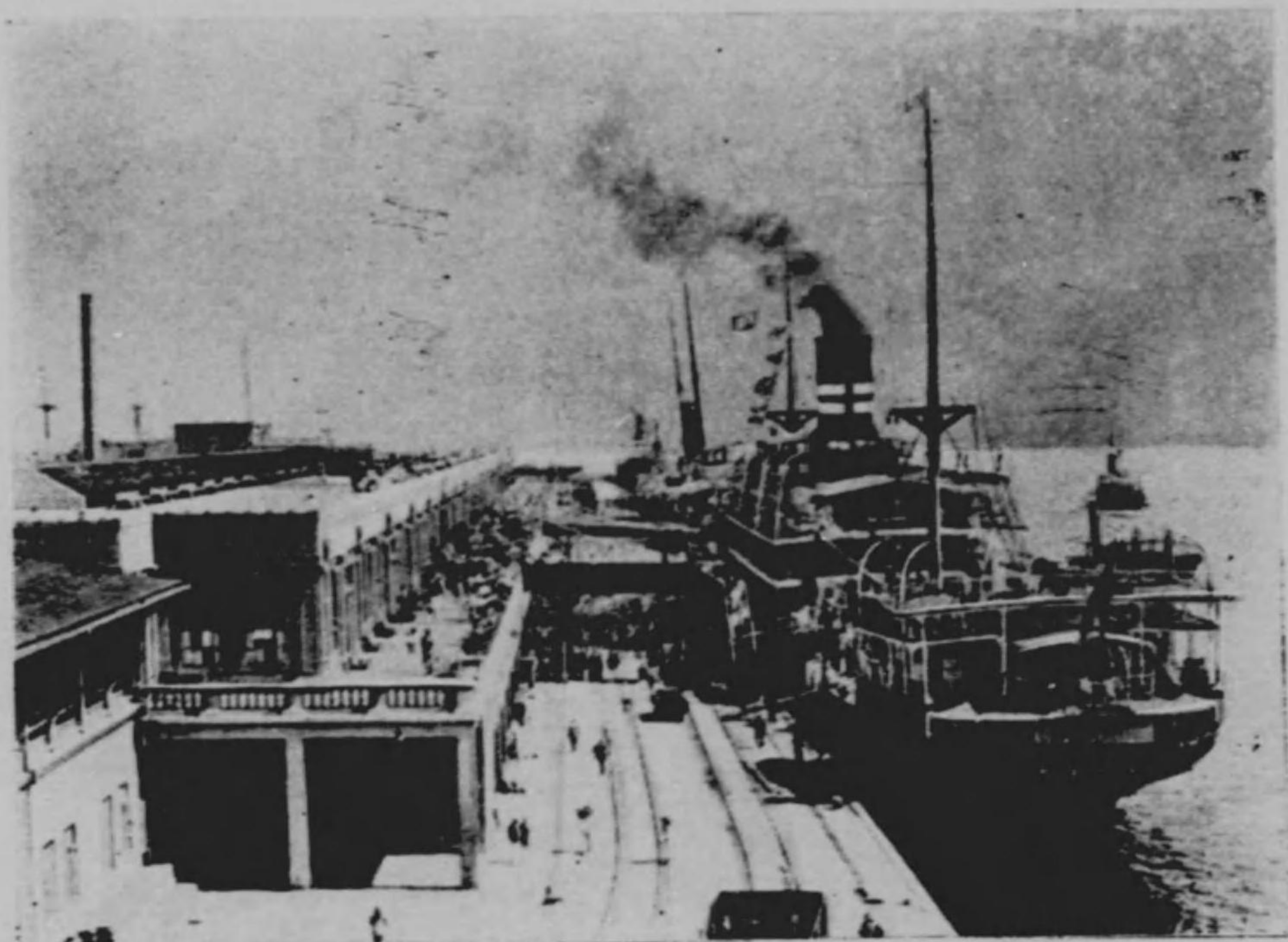
我が治下になつて以來急足な進歩をなし、榨油^{サクユ}業(大豆より)・醸造・柞蠶絲・製紙・燐寸・皮革・織物・硝子等の諸工業盛んで、大連市を中心とする。殊に有名なものは榨油業で滿洲全産額の半に達し、豆油は歐米に輸出し、豆粕は内地に移出する。

交通

南滿洲鐵道會社經營の鐵道これを縦貫し、海運は大連を中心として大阪商船會社・近海郵船會社・大連汽船會社・日本郵船會社これに當り、内外の交通盛んである。

住民政治

人口百五萬中大部分は支那人で、内地人は二十四萬一千餘である。關東州は日清戰役の際我が國これを占領し、日清講和條約の際遼東半島全部を我が國に割譲したが、三國干渉の結果これを還附し、その後ロシアの租借地となり、日露戰役の結



田鹽の窩子隴と港連大

果この租借権を得るに至り（一八九八年から向ふ二十五ヶ年）、大正四年旅順・大連の租借期間を更に九十九ヶ年延長した。關東州には關東廳を置き、その下に大連・旅順・金州に三民政署を設く。
大連市（二三・〇）金州半島の東岸に位し大連灣に面する。ロシアはこの地を租借するや自然の良港に築港を施し、市街を建設し東洋の策源地とし、我が國これを繼承するや更に大築港を建設し、世界屈指の大港となり、市街も整然として滿洲の大門戸となり、市況頗る活潑である。市の内外には南滿洲鐵道株式會社本社を始め數十の油房・製紙・燐寸・瓦斯・醸造・製材・鐵工・硝子・化學工業等隆盛を極め、商港・工業都市として、又對滿政策の策源地として重大な使命を有するに至つた。
旅順市（二・〇）金州半島の南端に位する。ロシアはこれに堅固な要塞を築き、日露戦役の激戦地となつた所でその遺蹟に富んで居る。現今では海

軍の要港を廢して商港に改めたが、大連港を近く有するため發展しない。市には關東廳・工科大學・民政署・高等法院等があり、政治的中心地をなす。
周水子 大連市の西北に位し、旅順市に至る鐵道の分岐點に當る。セメント・煉瓦工場がある。
金州 金州地峽を扼し、清國時代には金州廳の所在地で遼東の重鎮であつた。民政署・聖廟の所在地である。
南山 日露戦役の大激戦地として知られる。
普蘭店 關東州の北境に近く附近には鹽田が多い。
貔子窩 關東州の東北境に近く、海岸水淺く船舶の出入には不便であるが、この地形を利用して製鹽業頗る盛んである。又近海は漁業が盛んでその中心地をなす。

第十二章 南洋委任統治地方

研究事項

- 論 題**
- ① 本地方は地形・地質上どんな特徴を有するか。
 - ② 本地方の特産物にはどんなものがあるか。
 - ③ 本地方の沿革を調査せよ。
 - ④ 本地方の住民を調査せよ。
 - ⑤ 本地方はどんな価値を有するか。
 - ⑥ 委任統治中の如何なる地方か。
 - ⑦ グラム島はどんな所か。
 - ⑧ ヤップ島に於ける主要事項を研究せよ。
 - ⑨ トラック島・ボナベ島はどんな所か。
 - ⑩ アンガウル島・コロル島で特殊な事項はどんな事か。
- 結 語**

境 域

本地域は大洋洲の北部、ミクロネシアの大部分を占め六百有餘の小島から成り、北は我が小笠原諸島に連鎖し、南は赤道を挟んでメラネシアに對し、西はフィリッピン、東はポリネシアに對する。面積二千五百方尺に及び我が東京府の面積に近い。

地 形 地 質

大部分火山島又は珊瑚礁から成り、北部には火山島多く、南部には珊瑚島が多い。珊瑚島は種々な様式を網羅し堡礁・裾礁・環礁等があつて高度も一般に低く、數米を出でないものもある。これ等島嶼は地形學上洋島と稱し、大陸とは没交渉である。(洋島に對して陸島と言ふものがある。日本列島等は陸島でアジア大陸の一部である。本地域で陸島の例は唯ヤップ島のみで、この島は角閃

岩等を主とする地質時代の古い頃に出來た岩石である。)これ等海洋中に散在する小島は地形單調で、河川・平野等は殆どない。近海には深海多くマリヤナ列島の東部にはマリヤナ海溝(九六三六米)がある。

北は北緯二十度から南赤道に至る地域で、全部熱帯に屬して居るが、海洋の影響を受けて大いに緩和され、四季晝夜に於ける温度の差も小で、他大陸の熱帯とは大いに趣を異にして居る。又水蒸氣の蒸發が盛んであるため毎日のやうに驟雨があふ。パラオ島に於ける二月平均攝氏二十六度五十三分、七月平均二十六度五十二分、他の諸島も大差なく、雨量は東部に多く西部に少く、パラオ島年總量三千百耗餘である。

産 業

土地狹小、磯礫で加ふるに交通不便、文化地帯

に遠いため未だ見るべき産業はない。唯有名なものにはコブラと燐礦で、これは南洋の二大産物と言ふことが出来る。この外海龜、貝類等の産がある。その他近時南洋廳の獎勵によつて棉花・甘蔗の栽培に成功し、漸次その産額を増して來た。

コブラ——椰子の胚乳を乾燥したもので、石鹼・人造バター・化粧品等の原料となる。近時移輸出總額百六十七萬圓に達する。

燐 礦——珊瑚礁の石灰岩に鳥糞が作用して出來たもので南洋各地に産し、殊にアンガウル島は有名である。年六十六萬噸を産し價格百三十萬圓に達する。

里芋類——七六萬圓 パン・實——四三萬圓
 甘 蔗——四七萬圓 バナナ——三三萬圓

一 覽 易

輸移出——燐礦・コブラ・砂糖・貝類等、總額五八六萬圓

輸移入——米穀・織物類・罐詰類・機械類等、總

額三六四萬圓

政治沿革

本地方はもとスペインの領地であつたが、マリーシャル諸島は明治十八年ドイツ領に歸し、マリヤナ・カロリン・パラオ諸島は明治三十一年米西戦争中ドイツがスペインから買収した（八百四十萬圓）（グアム島は米領）。大正三年五月我が海軍、これを占領し一時軍政を布き、大正八年四月米・濠の反對を斥けて我が委任統治に歸した。現今我が國はパラオ諸島中のコロール島に南洋廳を置き、サイパン・パラオ・ヤップ・トラック・ボナペ・ヤルトに支廳を置く。又南洋海軍區を設け横須賀鎮守府の管轄に屬する。教育は未だ中等教育を施すに至らないが、初等教育には大いに留意し公學校（土人小學校）十九校、小學校五校、宗教學校九校が置かれてある。

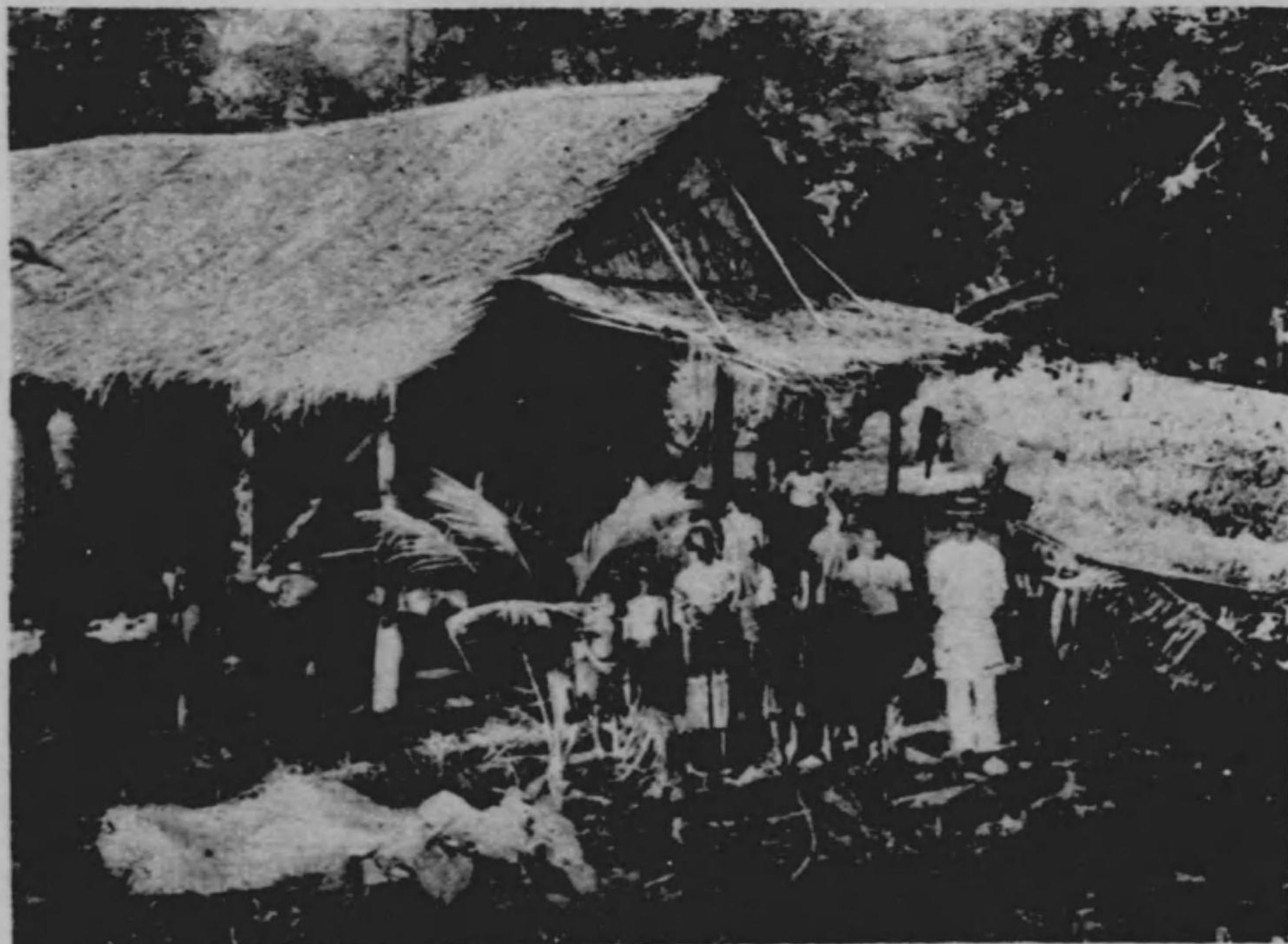
住民

南洋廳管下の人口總數は五萬六千、大部分は土人で、内地人は七千四百餘人である。土人の大部分はミクロネシヤ族でカナカ族最も多く、外にチャモロ族がある。性質概して溫柔で怠惰の風がある。風俗、習慣等も内地と大いに異なる。言語は各群島各々特殊の言語を有するも、近時教育普及し邦語を解する者漸く多くなつた。

マリヤナ諸島 (Marian Is.)

南洋諸島中最北部に位し、小笠原諸島の南方に位し、火山島多く活火山に富み、地震・颱風等の天災多い地方である。マリヤナなる地名はスペインのフィリップ四世の皇后マリヤリアンナの名から出たものである。

サイパン島 (Saipan I.) マジエランによつて發見された島で、獨領時代政廳のあつた所である。我



南洋トット島土人との家屋アガンル燐鑛

が守備隊・支廳等があり、又商店等もあり、近時南洋興業會社(製糖)が出来、内地人増加して五千人に及び、諸島中最も多い。

グアム島 (Guam I.) 米領でマリヤナ諸島中の最大島である、人口一千五百餘、米人・スペイン人が五百人餘在住する。邦人も亦二百五十人餘居る。教育よく進み海底電信の中繼地で、太平洋交通・軍事上の重要地帯である。首府をアガナと言ふ。

カロリン諸島 (Caroline Is.)

マリヤナ諸島の南部に位し、主として珊瑚礁から成り、人口最も多い。

ヤップ島 (Yap I.) 他の島と成因全然異り、古期の水成岩から成る。土人は貝及び石の貨幣を使用する奇習がある。本島は又海底電信の中繼地として重大な意義を有し、我が國はワシントン會議の結果ヤップから上海に至るもの、ヤップから米領グアムに至るもの及びヤップから蘭領セレベスに至る間の舊獨領海底電信を管理することになつ

た。アメリカ合衆國はグアム・ヤップ間の海底電信の兩端を運用することが出来、ヤップ島には電信に關して無制限の居住權・財産及び利益取得の權利を有して居る。

トラック島 (Truk I.) カロリン群島の中央部にある大堡礁で、火山島の周圍に珊瑚島があつて好錨地をなす。面積百二十八方呎、人口一萬五千三百餘人、諸島中人口最も多く密度も亦大である。
ポナペ島 (Ponape I.) トラック島の東部にあつて、我が南洋諸島中最大島で、最高點九百米に達する。支廳の所在地である。

パラオ諸島 (Palau Is.)

カロリン諸島の西部にあつて、近海には蝶貝・高瀬貝等の美麗な貝を産する。
コロール島 (Koror I.) 我が南洋廳の所在地である。又高瀬貝・蝶貝の産地で、マラカル港は堡礁で圍まれる好錨地である。
アングウル島 パラオ諸島の南西部にあつて燐鐵

の産地として知られ、その年産額一百万圓を超え、南洋唯一の富源である。

マーシャル諸島 (Marshall Is.)

南洋諸島の最東部を占めラタック群島 (Ratak I.) と、ラリック (Ralik Is.) 群島とから成る。全部珊瑚礁で高度は頗る小である。コブラを主産物とする。

ヤルート島 (Yalut I.)

マーシャル群島中の南部にあつて、我が海軍の最初に占領した地で、支廳の所在地である。

第三篇 總論

第一章 地形

研究事項

地體構造

山脈

- ④ 南日本に於ける内帯・外帯とは如何なる地方を指すか。又この兩者の特徴を研究せよ。
- ③ 本邦北緯・南緯兩山系の自然・人文上の諸事項を比較して見よ。
- ② 中央地溝帯とはどんなものか。
- ① 表日本・裏日本とはどんな地方を指すか、又日本内帯とどんな関係があるか。
- ④ 我が國の略圖を描いて主要山脈を記入せよ。
- ③ 本邦主要山脈を南緯北緯兩山系に分類せよ。
- ② 本邦に於ける三千米以上の高地を調査せよ。

火山帶

平野

河川

湖沼

- ④ 世界火山分布圖によつて我が國は火山國と言はれるかどうかを調べよ。
- ③ 本邦主要火山帶及びこれに屬する有名な火山を調査せよ。
- ② 我が國の主要平野及び盆地は、どうして出来たかを研究せよ(地誌参照)。
- ① 我が國の河川はどんな特徴を有するか。
- ④ 我が國の主要河川を斜面に従つて分類せよ。
- ③ 我が國の河川の人文上に及ぶ影響を研究せよ。
- ② 本邦主要湖沼の成因を調査せよ。
- ① 本邦五大湖とはどんな湖か。
- ④ 湖沼と人文との關係を實例によつて研究せよ。

地 體 構 造

日本列島はアジア大陸の東縁にある陸島で、地體構造上これを構成せる二大彎から成る。即ち南・北兩彎と言ふはこれで、北彎は樺太山系で樺太島から起り、北海道・奥羽を経て關東地方から中部地方に至るもので、南彎は崑崙山系に屬するもので、崑崙山系の餘波が一時東支那海に没し九州島に上り、四國・近畿を経て中部地方に於て北彎と會合するものである。この南・北兩彎の合する所にこれを横斷する一の裂線があつてこれを中央地溝帯と言ひ(中部地方の部參照)、この弱線に沿うて富士火山帯の諸火山が噴出して居る。この富士火山帯は伊豆七島・小笠原諸島を経て遠くマリヤナ諸島に續く大火山帯で、中部地方はこの三大山系の會合點であるため、かくの如き高峻な山脈を作るのである。この中央地溝帯を境にして以北を北日本、以南を南日本と言ふ。

内 帶 ・ 外 帶

この南・北兩彎には更にその中央部を縦走する一の裂線があつて(參考事項參照)、幾多の火山がこれに沿うて噴起して居る。富士山以南九州に及ぶ中央地溝線を境にして兩彎の凸面(太平洋面)を外帶と言ひ、凹面(日本海面)を内帶と言ふ。而してこの内外兩帶・南北兩彎は地形・地質その他自然・人文上種々な差違を有する。
この外更に千島彎・琉球彎の兩彎がある。千島彎はカムチャツカから西南に延び、千島列島の諸火山を起し、北海道に入り蝦夷山脈と會し高地を作る。琉球彎は遠く臺灣島より東北進し琉球島弧を作り、九州島に上り崑崙山系と會するもので、これは更に地質的に三列の島弧に分けることを得。(九州地方の部參照)。

北・南兩彎の比較

北	彎 (北日本)	南	彎 (南日本)
1、	第三紀層の分布が割合に多い。	1、	第三紀層の分布北彎に比して少い。
2、	花崗岩の分布南彎に比して少い。	2、	花崗岩の分布が割合に多い。
3、	各山脈の主軸の走向は主として南北である。	3、	各山脈の主軸は主として東西性を帯びたものが多い。
4、	海岸線の出入が割合に少い。	4、	海岸線の出入が多い。
5、	大平野がある。	5、	大平野がない。
6、	湖沼が多い。	6、	湖沼が少い。
7、	大河が多い。	7、	大沼が少い。
8、	氣候寒冷で雨量が少い。	8、	氣候概して溫暖で雨量が多い。
9、	氣温は東西に異なる。	6、	氣温は南北に異なる。
10、	雨量は東西に異なる。	10、	雨量は南北に異なる。
11、	文化遅く開け北に至るに従ひ人口疎である。	11、	文化早く開け人口密である。
12、	京濱地方を除けば工業不振。	12、	工業盛んである。

本邦内・外兩帶の比較

外 帶	内 帶
1、古生層から新生層に至る地層が層序整然と配列して居る。 2、火山岩の分布が少い。 3、温泉の分布が少い。 4、大規模の地震が度々起る。 5、海岸線の出入が多い。 6、夏季外帯斜面は雨量が多い。 7、北半部は内帯よりも気温割合に低く南半部はこれに反する。	1、新・舊の地質の配列が雜然として居る。 2、地殻の裂隙・陷没等の弱所多く、これに沿うて多くの火山噴出し火山岩の分布が多い。 3、温泉の分布が多い。 4、小規模の地震が度々起る。 5、海岸線の出入が割合に少い。 6、外海に面する内帯斜面は冬季雨雪が多い。 7、北半部内帯斜面(裏日本)は外帯よりも割合に気温高く、南半部(裏日本)斜面は外帯よりも気温が低い。

四 山 脈

日本列島

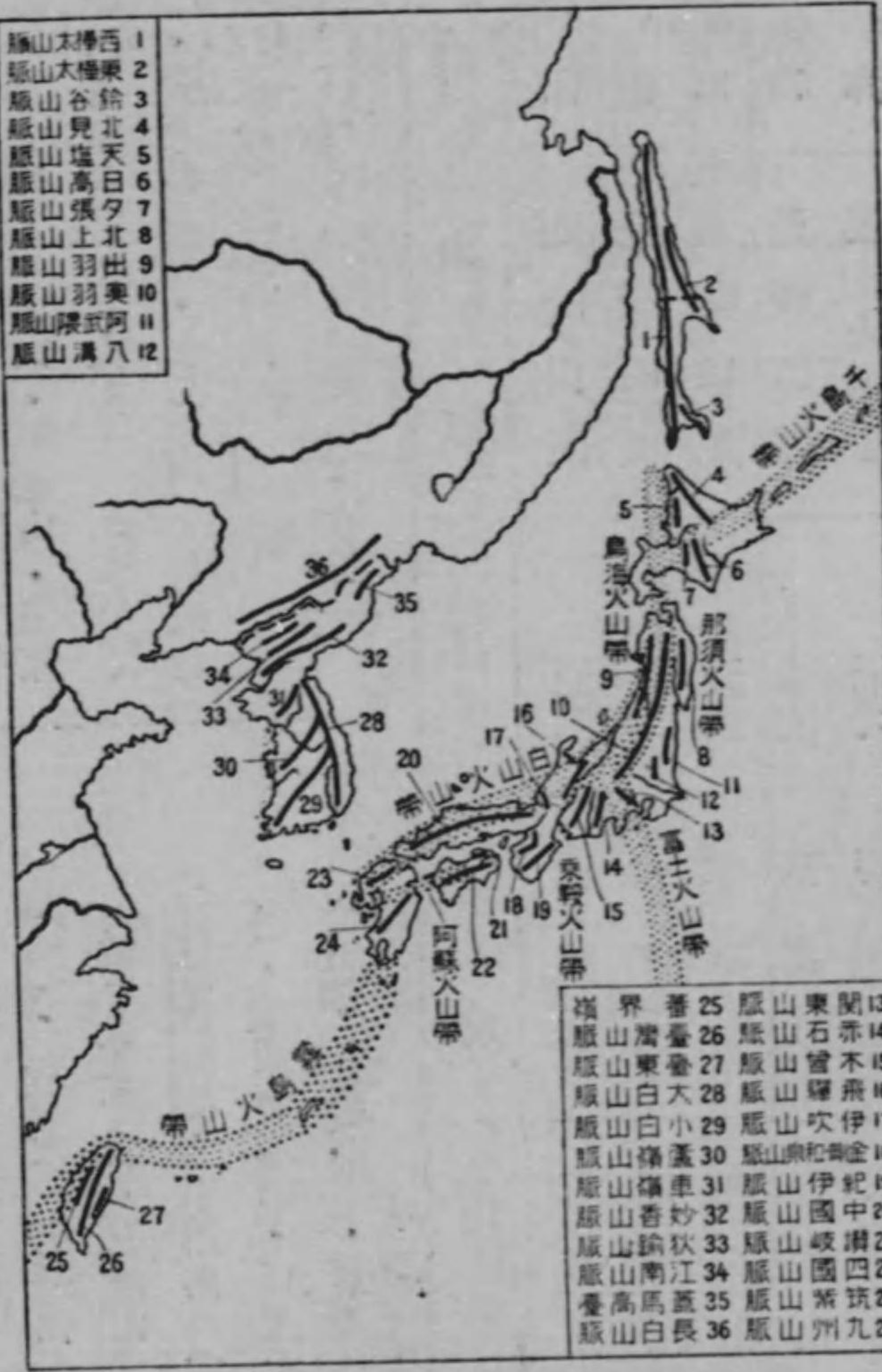
北彎(樺太山系) 西樺太山脈・東北山脈・鈴谷山脈・北見山脈・日高山脈・天鹽山脈・夕張山脈・奥羽山脈・北上山脈・阿武隈山脈・山羽丘陵・越後山脈・三國山脈・關東山脈
 南彎(崑崙山系) 赤石山脈・木曾山脈・飛驒山脈・鈴鹿山脈・紀伊山脈・笠置山脈・金剛山脈・和泉山脈・中國山脈・讃岐山脈・四國山脈・築紫山脈・九州山脈・臺灣山脈

五 火 山 帶

朝鮮半島 北部……長白山脈・妙高山脈・狼林山脈
 南部……大白山脈・東嶺山脈・小白山脈

我が國は世

界の大火山帯たる太平洋火山帯が通過するため世界的大火山國で、到る所火山の分布を見、火山の数は二百に近く活火山が五十八座もある。



〔圖布分帶山火び及脈山火〕

1. 千島火山帯……阿頼島(活)・幌筈島(活)・恩都(活)・知林古丹(活)・加亞連古丹島(活)・松輪島(二座活火山)計吐夷島・新知島

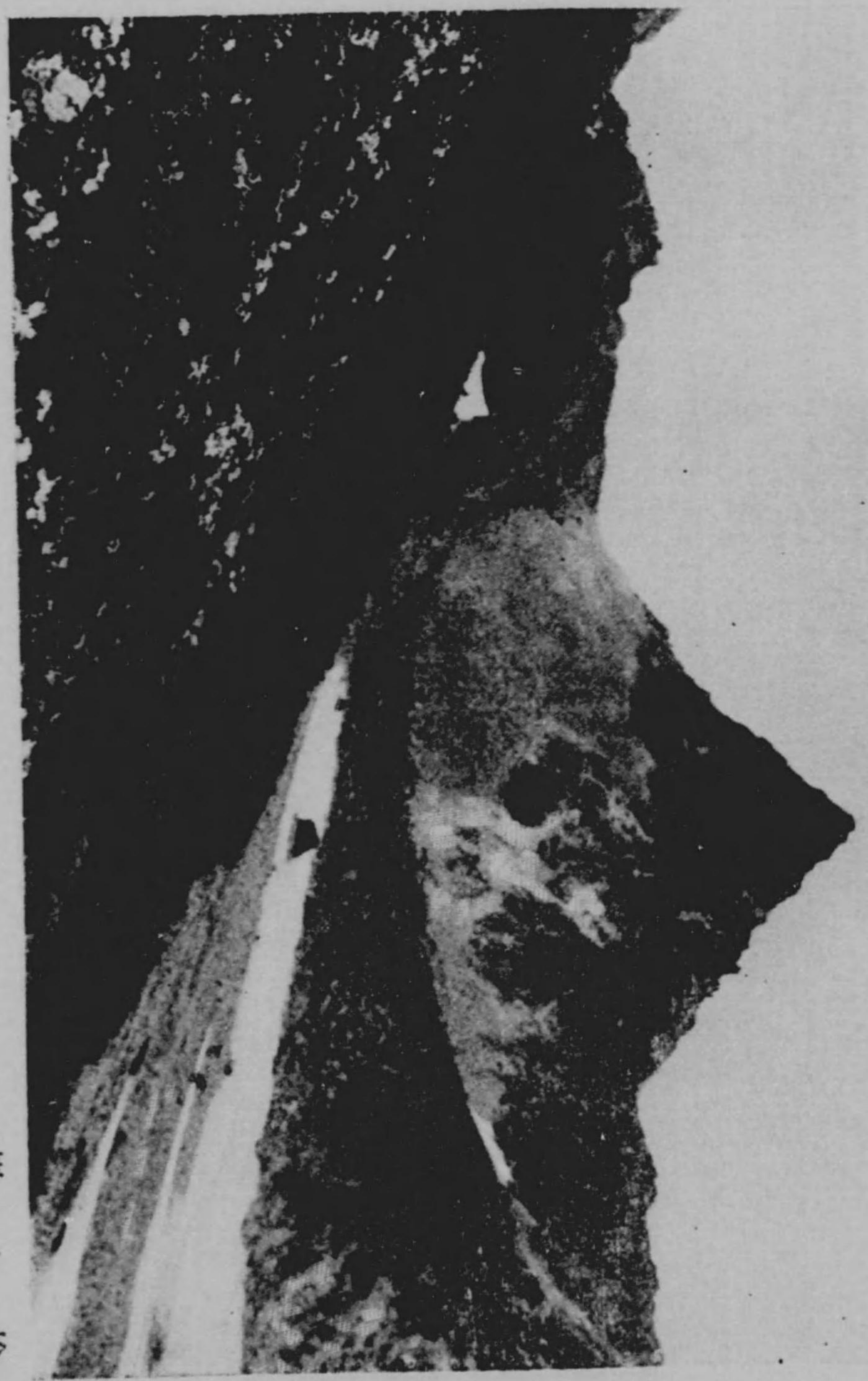
- 妻山(活)・安達太郎山(活)・磐梯山(活)・那須山(活)・日光白根(活)・男體山・榛名山・赤城山・草津白根(活)・淺間山(活)

- ウルフ島・擇捉島(五峰中二座活火山)・得撫島(以上千島)・標津岳・雄阿寒岳・雌阿寒岳(活)・旭岳(ヌタクカムシユベ)・オプ

- タテケシ・十勝岳(活)・那須火山帯……札幌岳・樽前岳(活)・登別岳・惠庭岳(活)・有珠岳(活)・マツカリ岳・駒ヶ岳(活)・惠山・恐山(活)・岩手山(活)・吾

- 3. 島海火山帯……岩木山・月山・寒風山・島海山
- 4. 富士火山帯……焼山・立山(活)・妙高山・黒姫・立科山・富士山・箱根山・天城山・三原山(活)・雄山(三宅島)・八丈富士(八丈島)・御倉島(活)・青ヶ島(活)・鳥島(活)・北硫黄島(活)・中硫黄島・南硫黄島
- 5. 乗鞍火山帯……焼岳(活)・乗鞍嶽・御嶽
- 6. 白山火山帯……白山(活)・大山・三瓶山・青野山
- 7. 阿蘇火山帯……兩子山・鶴見山(活)・由布山(活)・九重山・阿蘇山(活)・温泉岳(活)・多良岳・飯野山・五剣山
- 8. 霧島火山帯……霧島山(活)・櫻島(活)・開聞岳・硫黄島(活)・口之永良部島・諏訪之瀬島(活)・鳥島(活)・粟國島

本邦主要高峰	山脈	高度(米)
新高山	臺灣山脈	三九〇
次高山	臺灣山脈	三九三
秀古巒山	臺灣山脈	三六三
南湖大山	臺灣山脈	三九七
富士山	富士火山帯	三七八
關山	臺灣山脈	三六七
この外臺灣には三千米以上の高峰が多い。		
本邦主要高峰	山脈	高度(米)
白根山	赤石山脈	二九二
槍ヶ岳	飛驒山脈	三三〇
赤石岳	赤石山脈	三二〇
穂高岳	飛驒山脈	三三三
御岳	乗鞍火山帯	三〇三
仙丈岳	赤石山脈	三〇三
乗鞍岳	乗鞍火山帯	三〇六



嶽ヶ槍

⑥ 平野

我が國は土地狭長な島國で、山地に富むため平野の大なるものは少い。しかし、各所に分布する小平野はいづれも我が國文化地帯として重きな主なる平野。

すものである。平野はその成因によつて浸蝕平野・堆積平野に分ち、又その所在によつて海岸平野・内陸平野・河成平野等に分つ。その他種々の標準による分類法がある。

朝 臺 九 四 本 北 樺	鮮 灣 州 國 州 海 太	島
		道
		嶺内平野
		北見平野・根室平野・釧路平野・十勝平野・石狩平野
		津輕平野・八戸平野・北上平野・仙臺平野・阿武隈平野・秋田平野・庄内平野・
		越後平野・關東平野・濃尾平野・富山平野・伊勢平野・大阪平野・岡山平野
		讃岐平野・吉野川平野
		筑紫平野・熊本平野・日向平野
		臺灣平野・宜蘭平野
		漢江平野・平壤平野

⑦ 盆地

四圍高地に圍まれた小平野を盆地と言ひ、我が

國には各所に盆地多く、これ等は地質時代に於て湖沼であつたものが多い。

北海道	上川盆地・名寄盆地
奥羽	大館盆地・鷹巣盆地・鹿角盆地・横手盆地・新庄盆地・山形盆地・米澤盆地・會津盆地・福島盆地・郡山盆地
關東	秩父盆地・五日市盆地
中部	甲府盆地・且那盆地・諏訪盆地・松本平・佐久平・善光寺平・高山盆地
近畿	近江盆地・伊賀盆地・龜岡盆地・山城盆地・奈良盆地
中國	津山盆地・三次盆地
九州	日田盆地・竹田盆地・人吉盆地・都城盆地・大口盆地
臺灣	臺北盆地・臺中盆地

河川

我が國は地形狹長で中軸山脈縦走するため、川には長大なるものなく急流が多い。そのため水運の便には乏しいが、水力發電に利用されること頗

る多く、本邦工業界に多大の利益を與へる。本邦河川は斜面によつて、次の如く分類することが出来る。

太平洋斜面	十勝川・鶴川・馬淵川・北上川・阿武隈川・那珂川・利根川・荒川・相模川・富士川・大井川・天龍川・木曾川・揖斐川・熊野川・紀ノ川・吉野川・仁淀川・四萬十川・五箇瀬川・大淀川・濁水溪・秀姑巒溪・卑南溪
-------	---

オホーツク海斜面	幌内川・ツイミ川(北樺太)
日本海斜面	天鹽川・石狩川・能代川・御物川・最上川・阿賀川・信濃川・神通川・庄川・九頭龍川・江ノ川・豆満江・洛東江
東支那海斜面	鴨綠江・大洞江・漢江・筑後川・球磨川・川内川
臺灣海峡斜面	淡水河・濁水溪・下淡水溪
瀬戸内海斜面	淀川・旭川・川邊川

本邦主要大河

鴨綠江	全長	七九〇軒
洛東江	〃	五五五軒
豆満江	〃	五三三軒
漢江	〃	五二四軒
大同江	〃	四三九軒
錦江	全長	四二〇軒
信濃川	〃	三九九軒
石狩川	〃	三六五軒
利根川	〃	三三三軒
天鹽川	〃	三〇六軒

湖沼

我が國は土地狹長なるため大湖の存在を許さないが、小湖に至つては各地にこれを見、種々な成因によるものを網羅して居る。即ち陷落湖・潟湖・

海跡湖・河跡湖・斷層湖・火口湖・火口原湖・堰止湖等各種の例を見る。これ等の中には交通・漁業・水力發電・河川の水源など人文上關係の深いものが少くない。

本邦主要湖沼

樺太	多來加湖・富内湖・遠淵湖
北海道	猿淵湖・能取湖・網走湖・屈斜呂湖・支笏湖・洞爺湖・大沼
東北	小河原沼・十三瀉・十和田湖・田澤湖・八郎瀉・猪苗代湖
關東	中禪寺湖・霞ヶ浦・北浦・印旛沼・手賀沼・蘆湖
中部	諏訪湖・濱名湖・山中湖
近畿	琵琶湖
中国	中海・尖道湖
九州	池田湖・鏡ヶ池
臺灣	日月潭

本邦主要大湖

湖名	面積(平方軒)	湖岸線の長さ(軒)	最大深度(米)
琵琶湖	六七五	二三五	九六〇
八郎瀉	三三二	八二	四二
多來加湖	一八〇	八二	一八
霞ヶ浦	一七七	一五〇	七六
富内湖	一六八	九	三三〇
湖名	面積(平方軒)	湖岸線の長さ(軒)	最大深度(米)
猿淵湖	一五二	七	一八三
猪苗代湖	一〇四	五	一〇二〇
中海	一〇三	九	
尖道湖	八三	五	六・九
濱名湖	八〇	二六	

參考事項

日本内帯・外帯と表日本・裏日本

日本内・外兩帶なる名稱は日本列島を南北に縦走する地質構造線、即ち伊萬里・久留米から四國の北部を過ぎ、和泉山脈の南縁から東方に進み、伊勢海南部、赤石山脈の西縁を過ぎ諏訪湖に至り、更に關東山脈に沿ひ東走し銚子沖より海に没し、北海道苫小牧石狩の平野を通り樺

太亞庭灣から留多加、内淵兩河谷を過ぎ幌内河谷を縦走する線を境としこれ以東を外帯、これ以西を内帯と言ふ。即ち主として地質的根據による區別で、表日本・裏日本なる名稱は單に本邦中軸山脈を境にして東斜面を表日本、西斜面を裏日本と呼ぶもので、表日本は太平洋斜面、裏日本は主として日本海斜面を指し、地形的に論據を置いたものである。

表 日本・裏日本比較

表 日本	裏 日本
<ol style="list-style-type: none"> 1. 海岸線の屈曲・屬島多く良港灣に富む。 2. 概して土地の傾斜緩やかで平野に富む。 3. 一般に氣温高く夏季雨量が多い。 4. 水陸交通便である。 5. 人口稠密で諸産業振ふ。 6. 文化進む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海岸の出入・屬島に乏しく良港灣が少い。 2. 土地急斜し平野が少い。 3. 一般に氣温低く冬季雨雪が多い。 4. 水陸の交通不便である。 5. 人口密度小で産業の開發遅る。 6. 文化遅る。

第二章 近 海

研究事項

海岸線 (A) 本邦六大島に就き各海岸線の特徴を考へよ。
(B) 本邦海岸線中リアス式海岸をなす地方を調べて見よ。

海底地形 (A) 本邦近海の海溝を調査せよ。

潮流・海流 (A) 本邦海岸に於て潮汐干満の差大なる地方を調査し、尙その差の大なる理由を考へよ。
(B) 本邦近海にはどんな海流があるか、尙これが氣候・産業上に及ぶ影響はどうか。

海岸線

本邦海岸は概して屈曲に富むが、各地方によつ

て又その趣を異にする。樺太島は二三の彎入を除く外一般に單調で、海岸は段丘に富む。北海道も一般に單調で樺太島と等しく海成段丘發達し、尙砂洲・砂丘の發達著しくオホーツク海岸の如き數多の潟湖を見る。本州は海岸線複雑で、殊に太平洋斜面は日本海斜面に比し屈曲に富み、後背地良好な地には到る所良港を見る。東北地方東岸・紀伊半島東岸・瀬戸内海沿岸等にはリアス式海岸の發達を見る。四國は南・北兩岸弓形の大灣があつて、四國山脈の海に没する豊後水道面は對岸九州と共にリアス式海岸を作る。九州は西北岸に最も複雑で北九州文化發達の一因をなし、日向灘に面する方は單調である。臺灣島の海岸は殆んど屈曲なく東岸の絶壁、西岸の三角洲・砂丘・潟湖はその特徴とする所である。朝鮮半島は南岸・西岸にリアス式海岸よく發達し、東岸は單調である。東西兩岸文化に遲速あるは、又海岸線にも一の原因あることを知らなければならぬ。

海底地形

我が日本列島はアジア大陸の東縁に生じた褶曲山脈の海上に現はれたものである。陸に接する所には大陸棚があるが、これを遠ざかるに従つて東西大いに趣を異にする。即ち日本列島の外洋たる太平洋海底には世界屈指の深海溝が連なり、列島内面即ち東支那海・日本海・オホーツク海は一般に淺く、若しこれ等海底が二百米隆起したと假定すれば、琉球列島と支那大陸とは完全に連結され、日本海はその中央部に菱形の湖沼を作り、オホーツク海も著しく狭くなる。

日本近海

1. 日本海溝……奥羽・北海道地方の東方にある海溝で最深部は八千五百三十米に達する。この海溝はアメリカの船タスカロラ號の發見によるため、タスカロラ海溝の名もある。
日本海溝の南部、房州南端から東南方約百五十軒の地點で、我が海軍特務艦滿洲の發見

潮汐

した深海は九千九百五十米以上で、世界第一の深海底とされて居たが、その後の調査によれば見當らないとのことである。
2. 琉球海溝……琉球列島の東縁に近くある海溝で、最深部は七千四百八十一米に及ぶ。
3. マリヤナ海溝……我が南洋委任統治マリヤナ群島東南にある海溝で、深度九千六百三十六米に達する。

潮汐とは主として月の引力による海水面の昇降運動を言ふ。干満の差は海岸及び海底の地形によつて著しい差を生ずる。我が國では一般に太平洋岸は日本海岸に比して潮汐干満の差大である。本邦海岸中最も大であるのは朝鮮西岸で各地十呎以上に達し、江華島沿岸では二十九呎三に達し東洋第一である。仁川港がこれに次ぎ二十八呎六に及ぶ。内地では島原灣沿岸最大で住江の十七呎八が最大である。これに反して干満の差小なる日本海

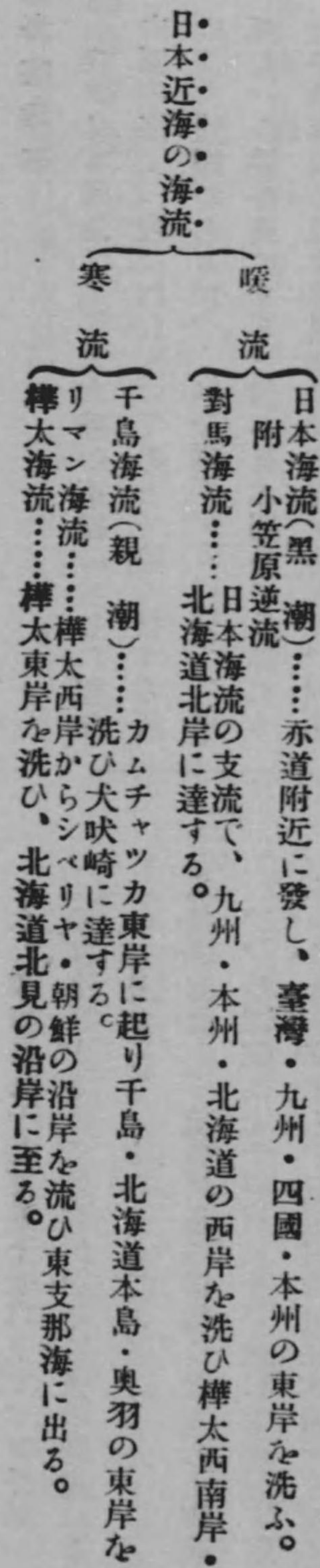
岸に於ては一呎乃至それ以下の地多く、朝鮮迎日灣岸に於ては〇・五呎に過ぎない。

④ 潮流

狭い海峡によつて隔てられた甲・乙兩海が潮汐干満に際して水位に差を生ずる時は海水に流動を起す。我が國でこの現象の著しい地は瀬戸内海の鳴門海峡・下關海峡・來島海峡等で、就中鳴門海峡は最も有名で毎時流速十哩に達する。

⑤ 海流

日本近海に寒・暖兩流流れ、本邦氣候・水産業上に種々な影響を及す。



〔圖 流 海〕

① アラックキストン線とはどんなものか。

第三章 氣候・生物

研究事項

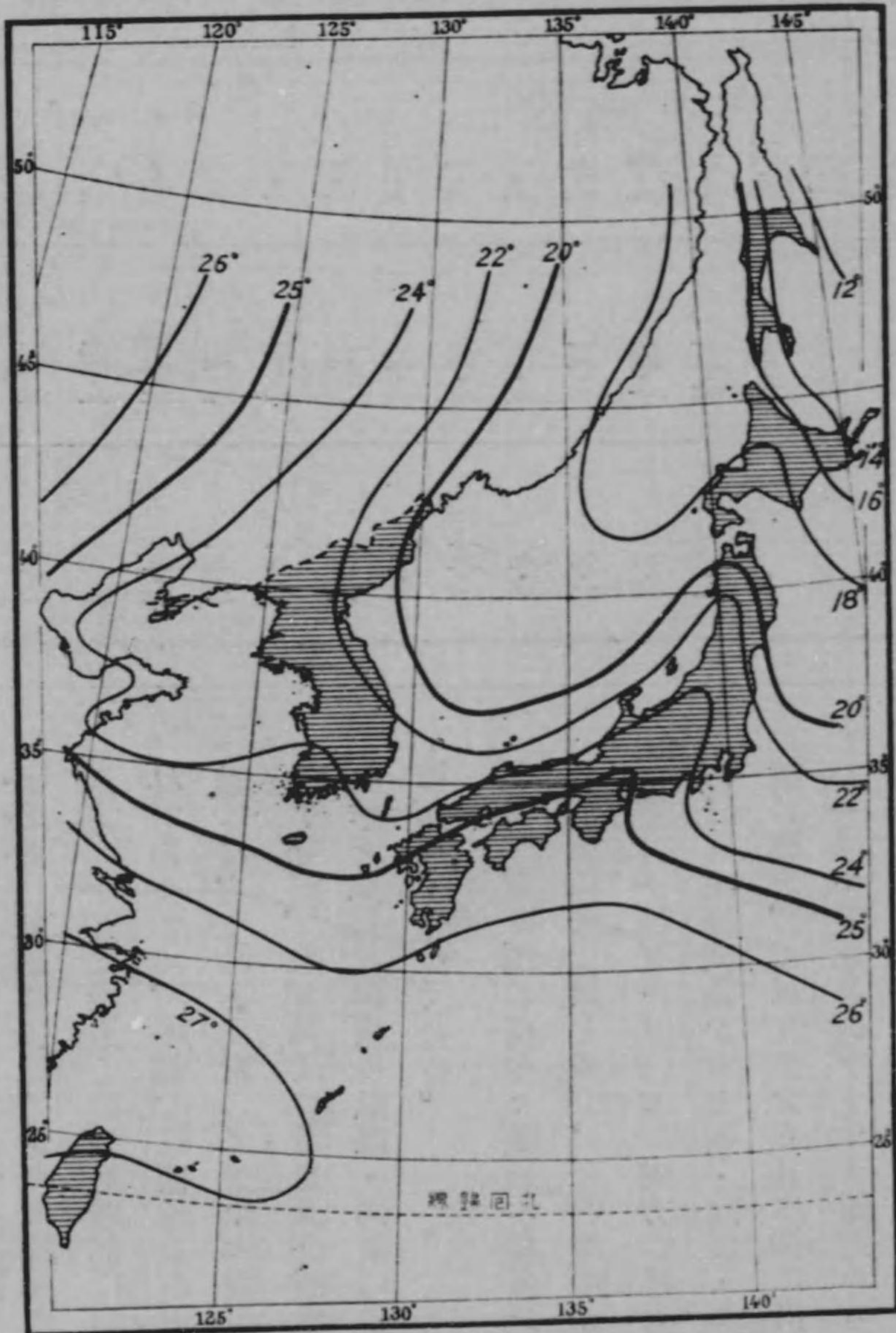
- ① 本邦氣温の分布を見てその異なる理由を各地に就いて研究して見よ。
- ② 本邦の寒い地方と熱い地方とを調べ、その寒・暑の理由を考へて見よ。
- ③ 颱風とはどんなものか。
- ④ 本邦では一般に夏季は表日本に雨量多く、冬季は裏日本に多いのは何故か。
- ⑤ 本邦多雨地と寡雨地とを調査し、その多雨・寡雨なる理由を考へて見よ。
- ⑥ 梅雨とはどんなものか。
- ⑦ 本邦各地の氣候と産業との關係を考へて見よ。
- ⑧ 本邦各地に於ける特殊な生物を調べて見よ。

氣候は位置・地形・水陸の分布・海流等の影響を受け、所によつて種々趣を異にするものであつて、我が國は南・北緯度を隔てること三十度(南洋委任統治地方を加へれば五十度)に及び、南・北趣を異にし、又地形狭長な島國であるため、海洋の影響を蒙むること大である。

一 氣温

我が國は大部分北温帯に屬し、加ふるに海洋の影響を受けるため寒暑の差小で、一般に温暖である。殊に暖流の影響を受ける地方は緯度の割合に氣温は高い。又北風の影響を受ける裏日本は表日本に比して氣温は割合に低い。又地形によつても各地趣を異にする。我が國各地の年平均を概観す

均零下二度である。然るにこれを世界的に見る時は、樺太の寒さはシベリヤの寒地と比すべきでなく、又恒春の氣温はアフリカ・インドの氣温と比すべきでなく、本邦氣温は人類活動の地として最適の地と



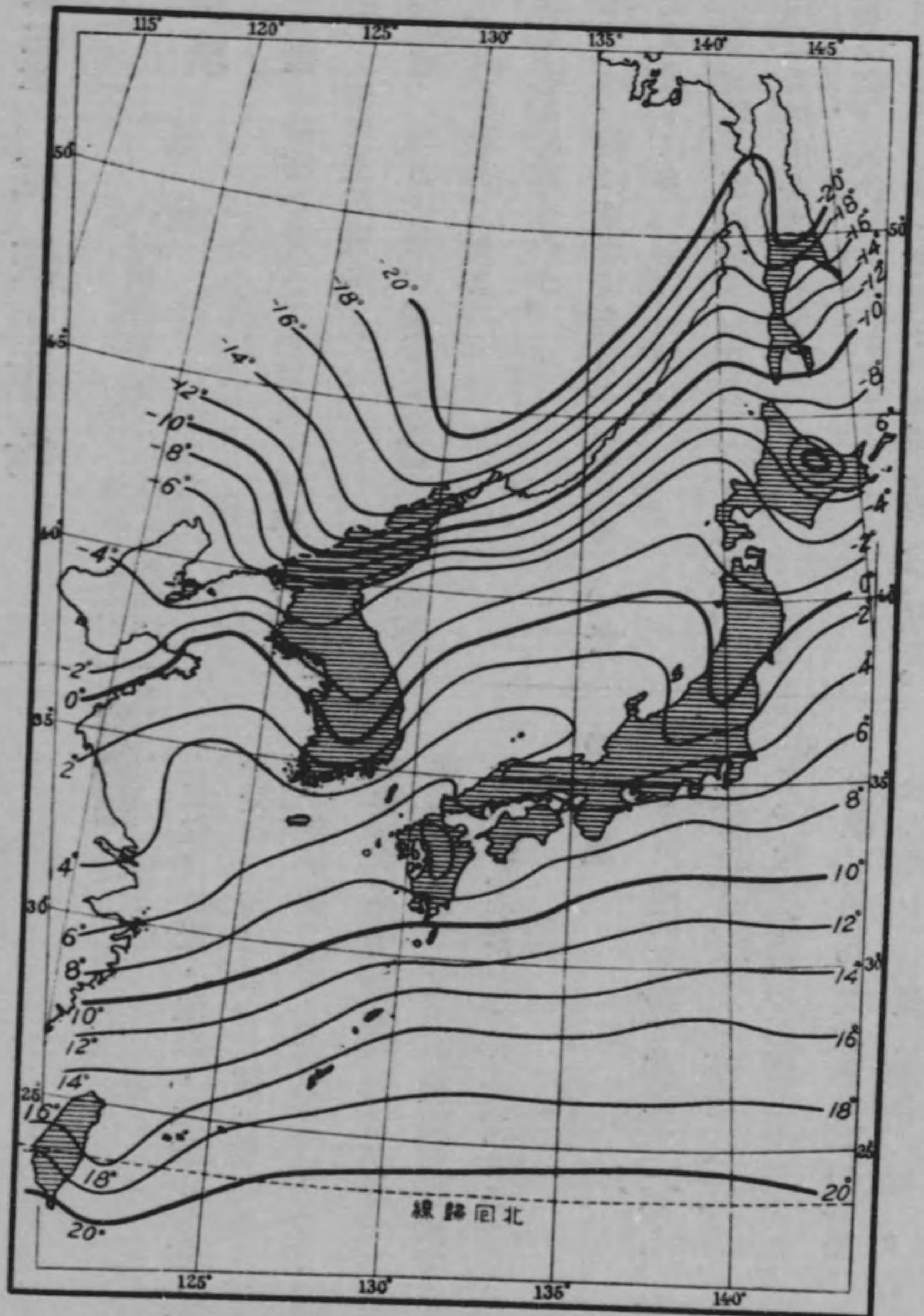
〔圖線温等均平月七〕

年平均氣温を示せば次の頁の表の如くである。

均零下二度である。然るにこれを世界的に見る時

言ふことが出来る。今、本邦主要地の一月・七月。

るに臺灣・沖縄・南洋諸島・小笠原諸島などは最も高温
 といつても二十度以上に達し、就中恒春は本邦最暖の地で平均氣温二十四度三度三度
 である。これ等諸地方に次ぐは伊豆七島・九州の大部分、四國及び和歌



〔圖線温等均平月一〕

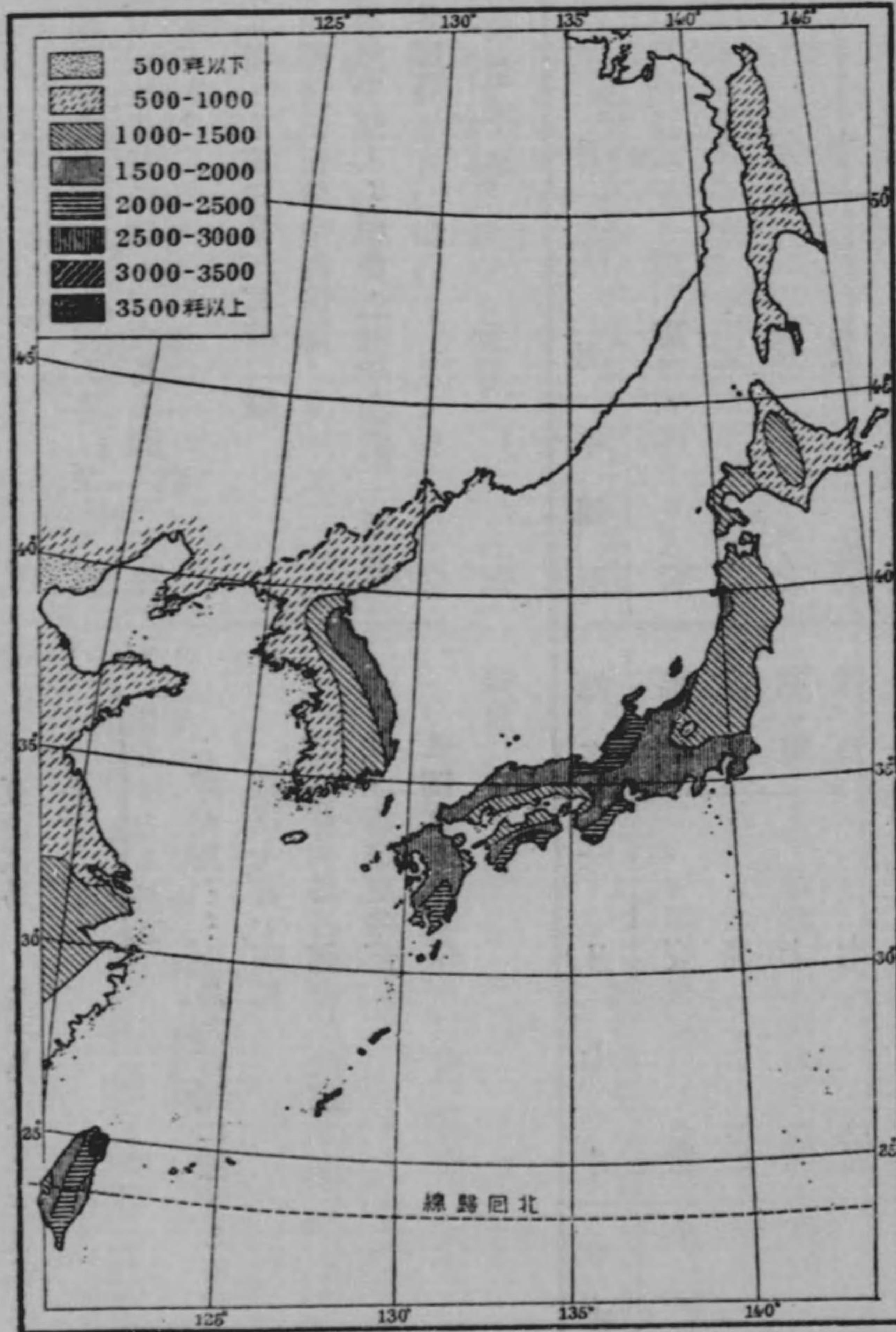
道・樺太・朝鮮の北半は我が國で低溫の地、殊に樺太と干島とは年平均五度以上に達する所はない。樺太の

數香は我が國で知られた範圍では最寒地で、年平

るに臺灣・沖縄・南洋諸島・小笠原諸島などは最も高温

山縣の南部で、十五度以上に達する。奥羽・北海

又颱風の襲來、梅雨の現象等あるため雨量は世界各地に比して決して少くない。その分布は地形・水陸の分布・風向等に支配され、冬季は裏日



[均平年, 圖布分量雨]

●雨量

我が國は四面海に面し、而も近海に暖流流れ

本に雨雪多く、表日本に少く、夏季はこれに相反する。

地名	一月	七月	年平均
恒春	二〇・二	二七・三	二三・〇
鹿兒島	七・三	二五・九	一六・七
高知	五・五	二五・二	一五・七
潮岬	六・九	二四・九	一六・二
八丈島	一〇・二	二五・四	一八・〇
東京	三・二	二四・〇	一三・八
金澤	二・七	二四・一	一三・二
甲府	一・三	二四・九	一三・四
青森	二・六	二〇・五	九・三
旭川	九・六	一九・二	五・二
根室	四・九	一四・一	五・五
眞岡	八・七	一五・四	三・九
敷香	一・六	一三・二	〇・二
釜山	二・一	二三・五	一三・四
中江鎮	二〇・二	二三・〇	三・七
大連	五・一	二三・六	一〇・三

●風

氣節風。夏季には、アジヤ大陸内に低氣壓生じ、東方太平洋上からこの低氣壓部に向つて氣流の流れがあるため、本邦では南風及び東南風多く、冬季には、これと反對にアジヤ大陸内に高氣壓生ずるために、我が國では北風及び西北風が多い。この季節風は我が國の氣温・雨量の分布に大なる影響を及すものである。

颱風。我が國には年々颱風の襲來がある。二百十日前後に於て最も多く、その進路もほゞ一定して居る。一はフィリッピン地方に起り、支那南部、臺灣・琉球列島から九州・四國・本州を経て北海道に進み、或は九州から日本海に出るものと、他の一は小笠原及びマリヤナ附近から北進して本土に突撃するものとある。この颱風は年々非常な災害を我が國に與へる。

雨量大なる地方

1. 臺灣東部及び北東部から奄美大島に至る。臺灣火燒寮は六千耗に達し、大島名瀬は三千耗以上に達する。
 2. 九州東南部……鹿兒島・宮崎二縣
 3. 四國の南部及び紀伊半島南部
 4. 日本海沿岸中部……福井・石川・富山・新潟・京都の各府縣
- 本邦各地雨量平均

雨量小なる地方

5. 豆南諸島……八丈島は三千三百耗以上に達する。
1. 樺太島……全島九百耗に達する所はない。眞岡は七百十四耗
2. 朝鮮半島西部及び北部
3. 北海道東半部
4. 關東州

地名	一月	七月	年總量
恒春	二五	三二	二二六
臺北	八	三三	二〇七
名瀨	二〇九	二二	三二五
宮崎	七七	二七九	二五九
境	二〇七	一六九	一九四五
秋田	一三〇	一九〇	一八〇六
東京	六	一四〇	一五六二
地名	一月	七月	年總量
福岡	六	二五〇	一五八九
高知	六	三三	二七三
潮岬	七	二二	二六三九
廣島	七	二七九	二五九九
金澤	二七七	二〇五	二五四八
八丈島	一六一	一八七	三三二
石卷	七	一四二	一六八

梅 雨

本邦に於て毎年六月中旬から七月にかけて、奥羽南部から九州南部に至る間は連日降雨を見る。これを梅雨又は五月雨と言ふ。梅雨の生ずる理由は、六月頃になるとアジア大陸は太陽熱の副射愈大となり、この地の低氣壓益々發達し、楊子江沿岸の低氣壓は漸次東方に進行し、我が本土まで來る。これに反してこの頃には我が東北海上に高氣壓部があつて、これは千島南部から奥羽地方の東

方海上まで發達し、前述低氣壓を壓迫し、その東北進を妨げるため、ここに連日の降雨となる。この梅雨は我が國の農家にとつては實に重要なもので、これによつて稻の植付けをなし、水源を豊かにすることが出来る。

生 物

我が國は地形狹長で南は熱帯に入り、北は寒帯に近く生物の種類多く、分布も複雑を極む。各地に特有なものを擧げれば次の如くである。

1. 植物分布
- 臺灣・琉球列島……榕樹・檳榔・紗櫚・バナナ・パイナップル・樟・林投樹
 - 九州・四國・本州……赤松・黒松・杉・檜・山毛櫨・偃松・樟（主として南部）・銀杏
 - 北海道・樺太……蝦夷松・椴松・落葉松・偃松・白檜
 - 朝鮮……北部には紅松・落葉松・白樺・蝦夷松等分布し、南部には赤松が多い。

青森	一五	一六	一三六
網走	五	九	八五
仁川	二	二五	九二
函館	一月	七月	年總量
函館	三	二八	一〇二
大泊	三	九	七五〇
雄基	五	九	七〇二

2. 動物分布

臺灣……穿山甲・コアラ・ハブ
 琉球……ハブ
 本州……山椒魚（九州にも居る）
 小笠原……海龜・大蝙蝠・信天翁^{アハウドリ}
 北海道……熊^{ヒグマ}
 樺太……麝香鹿・山猫、近海に獵虎・臘肭獸・海豹
 朝鮮……虎・豹^{ハリネズミ}等内地に居ないものがあり、又フクロウ・山鳥・雉も内地産と種類異なる。
 ⑥ ブラックストーン線 (Blakistons line)
 本州と北海道との間には生物分布上に著しい差異あることが英人ブラックストーン氏によつて發見された。よつて津輕海峽を生物分布上の境界線として、これをブラックストーン線と言ふ。即ち兩地の差違で著しいものは、

第四章 産 業

研究事項

- ① 本州に住む猿・猪は北海道には居ない。
 - ② 北海道の鼠・栗鼠は朝鮮と同じくアジア大陸種で本州のものと異なる。
 - ③ 本州の熊・鹿・雷鳥と北海道のものとは種類を異にする。
 - ④ 北海道には赤松なく、蝦夷松・椴松がある。
- ④ 我が國の主要農産物及びその産地を調査し、尙その産物がその地方に多く産する理由を研究せよ。
 ⑤ 我が國に牧畜の不振の理由を考へて見よ。
 ⑥ 我が國水産業の盛んな地方を調査せよ。尙そ

- の盛んな理由を考へて見よ。
 ⑦ 本邦石炭の分布を調査せよ。尙主要炭田にはどんなものがあるか。
 ⑧ 我が國の石油問題に就いて考へて見よ。
 ⑨ 本邦の綿絲紡績業に就いて研究せよ。
 ⑩ 我が國三大工業地帯及び四大工業地帯とはいづれの地を指すか、その發達の原因を考へよ。
 ⑪ 本邦重要輸出入品及びその取引國を調査せよ。
 ⑫ 我が國重要輸出入品と國內産業との關係を考へて見よ。

農業

文化の開發と共に我が國各種産業發達し、殊に工業の進歩には著しきものがある。これは人口過剩國たる我が國にとつては粗製産業を主とするよりも大いに當を得た産業政策である。

我が國は農を以て主なる生業としてゐるので、農業は我が國産業中の首位を占め、内地に於ける

農民戸数は五百五十萬戸に達し、内地總戸數一千百萬戸に對して五割に當る。しかも、國土狹小で耕地が少いため、他の農業國に比較すると、その産額に於ては大なる遜色がある。

米・

稻は高温多濕の地を好むが、我が國に於ては樺太を除く外各地に産し、臺灣は高温なるため二回收穫することが出来る。米は本邦人の主要食料でその産額も少くないが、尙國內の需要を充すに足らず、インド・支那方面から多量に輸入される。

- 内地總産額……五千九百七十萬石
 主産地……1. 新潟 2. 福岡 3. 兵庫 4. 北海道 5. 山形 6. 秋田 7. 千葉
 (以上二百萬石以上の産地)
 植民地産額
 朝鮮……一千三百二十萬石
 臺灣……六百萬石

麥

關東地方を主要産地とし、本邦各地にこれを産し、米と共に我が國民の主要食料である。

内地總産額……二千四百七十萬石

主産地……1.茨城(百六十萬石) 2.埼玉(百三十六萬石) 3.千葉(百二萬石)

4.兵庫(九十七萬石) 5.群馬(八十八萬石) 6.岡山(八十三萬石)

植民地

朝鮮……一千四十七萬石

大豆

麥と共に畑地多い地方に産する。内地では北海道・奥羽・關東を主産地とする。

内地總産額……三百二十四萬石

主産地……1.北海道(六十七萬石) 2.岩手(二十二萬石) 3.茨城(十七萬石)

4.熊本(十五萬石) 5.埼玉(十五萬石)

萬石)

植民地

朝鮮……三百六十六萬石

甘藷

甘藷は荒地にもよく生育し、我が國では水田なき山地・島嶼等ではこれを常食とし、又醸造用とする。

内地總産額……九億五千六百萬貫

主産地……1.鹿兒島(一億五千九百萬貫)

2.沖繩(一億五千萬貫) 3.長崎(七千七百萬貫) 4.熊本(六千四百萬貫) 5.千葉(六千萬貫)

植民地

臺灣……二億九千八百萬貫

馬鈴薯

内地總産額……二億三千三百萬貫

主産地……1.北海道(一億一千百萬貫) 2.青森 3.福島 4.宮城 5.福岡

葉煙草

内地總産額……一千七百萬貫

主産地……1.栃木(二百九十七萬貫) 2.鹿兒島(二百四十五萬貫) 3.茨城(二百三十七萬貫) 4.徳島(百四十八萬貫) 5.福島(百四十五萬貫)

朝鮮……四百二十二萬貫

果實類

梨……内地總産額二千八百萬貫

主産地……1.静岡 2.愛媛 3.新潟 4.茨城 5.千葉

桃……内地總産額一千萬貫

主産地……1.神奈川 2.岡山 3.大阪 4.新潟 5.福島

葡萄……内地總産額八百萬貫

主産地……1.山梨(百四十萬貫) 2.大阪(百三十萬貫) 3.長野 4.新潟 5.岡

山 6.廣島

柑橘類……内地總産額六千九百萬貫

主産地……1.和歌山 2.静岡 3.廣島 4.大阪 5.愛媛

萃果……内地總産額一千萬貫

主産地……1.青森(六百三十萬貫) 2.北海道(二百八十萬貫) 3.長野 4.秋田

養蠶

我が國は世界第一の養蠶國で、農家の副業として發達し、近時益々盛んになりつつある。

産額……内地八千五百萬貫(價額八億二千七百萬圓)……大正十四年

主産地……1.長野(一千五十萬貫) 2.愛知 3.群馬 4.岐阜 5.埼玉 6.福島 7.三重 8.山梨

牧畜

我が國は廣大な原野に乏しく、且氣候濕潤であ

るため牧畜に適せず、又これを衣食に供する習慣もなかつたため牧畜は不振であるが、近時その必要を感じると共に漸く發達の緒についた。

馬……………内地總數百五十七萬頭

主產地……………1.北海道(二十萬頭) 2.鹿兒島

(十萬頭) 3.岩手 4.熊本 5.福

牛……………内地總數百四十五萬頭

主產地……………1.廣島(十萬頭) 2.兵庫 3.岡山

4.鹿兒島 5.長崎

朝鮮……………百六十萬頭

臺灣……………水牛(二十八萬頭)・黄牛(九萬

頭)・牛(三萬頭)

豚……………内地總數七十四萬頭

主產地……………1.沖繩(九萬八千頭) 2.鹿兒島

3.千葉 4.靜岡 5.神奈川

朝鮮……………百十二萬頭

臺灣……………百三十四萬頭

關東州……………十一萬頭

鶏……………内地總數三千七百萬羽

主產地……………1.愛知 2.千葉 3.鹿兒島 4.茨

城 5.福岡

●水産業

我が國は四面海を繞らし、近海は寒・暖二流流
れ魚族多く、且我が國人は漁業の術に長ずるため
水産業は頗る盛んである。殊に樺太・北海道の近
海は世界三大漁場の一と稱せられて居る。

A 漁獲物多き地方……………1.北海道 2.長崎 3.山口

4.千葉 5.兵庫 6.靜岡

B 水産製造物多き地方……………1.北海道 2.長崎

3.靜岡 4.山口 5.新潟 6.千葉

●製鹽業

我が國に於ける主製鹽業地は、瀬戸内海沿岸・
臺灣西岸・朝鮮西岸、關東州等である。

●産額

内地……………十億斤

臺灣……………二億斤

●林業

我が國は森林地帯多く全國總面積の四十五パー
セントに當る。加ふるに國土狹長で、南は熱帯か
ら北は寒帯に近く、熱帯性より寒帯性に至る植物
の分布を見、且雨量多いためよく森林繁茂する。

主要林産地(内地年額一億五千萬圓(用材))

北海道……………(一千五百萬圓) 蝦夷松・椴松・

白楊・檜

秋 田……………(八百八十萬圓) 杉・檜

長 野……………木曾山地(檜・杉)

奈 良……………大和山地(杉・檜)

九州南部……………松・杉

臺灣……………阿里山の檜、樟

朝鮮北部……………鴨綠江流域から紅松・落葉松・

樅・落葉松

●鑛業

我が國は地質構造錯雜して居るため有用鑛物の
種類は多いが、銅・石炭を除く外その産額甚だ少
く、年々多額の輸入を見る。内地總産額三億五千
萬圓、植民地一億圓(關東州外を含む)に及ぶ。
今、年額一千萬圓以上のものを挙げれば次の如く
である。

石 炭

我が國鑛産額の首位を占め、主として第三紀層
中に埋藏さる。福岡縣は内地總産額の六割以上を
出す。

内地總産額三千萬噸、價額二億四千萬圓

朝鮮總産額四百萬噸、價額四千九百萬圓

臺灣總産額百五十萬噸、價額一千百萬圓

關東州(州外を含む)六百萬噸、價額六千四百
萬圓

地 産 炭 石 要 主					
地方	炭	田	地方	炭	田
福岡	筑豊炭田	三浦炭田	北海道	夕張炭田	夕張・幌内・ 幾春別・空知
福島	常磐炭田		佐賀	唐津炭田	
長崎	高島炭田	西彼杵炭田	朝鮮	平壤炭田	(寺洞炭田)
關東州	撫順炭田				(關東州外にあるも 滿鐵の經營、世界 的大炭田)

銅の産額はアメリカ合衆國・ベルギー領コンゴに次ぎ世界第三位、我が國重要輸出品の一である。

銅	
地方	産
栃木	足尾
	山

内地總産額一億五千萬斤、價額四千八百萬圓

地 産 要 主		
秋田	茨城	愛媛
小坂・尾去澤・荒川・阿仁	日立	別子
		佐賀關
		(製鍊所があつて各地の鑛石を集む)

石 油

石油の需要は近時激増(軍事・交通・工業)して、各國は石油政策に大いに意を用ひて居る。目下我が國に於ても當局は石油政策に大いに留意し、近時北樺太の油田の一大探掘権を得、又撫順炭坑の油母頁岩から採油計畫中である。本邦産石油では需要の五分の二を充すに過ぎないため、年々多大の石油をアメリカ合衆國・關領ボルネオ島から輸入する。

内地産額	
原油	價額
——	百六十萬石
瓦斯	價額
——	一千九百萬圓
瓦斯	價額
——	十五億八千萬立方尺
價額	——
	百五十八萬圓

地 産 油 石 要 主	
新 潟	秋 田
新津油田・東山油田・西山油田・ 頸城油田	黒川油田・旭川油田・豊川油田
◎北樺太の油田は將來大いに有望で、 我が國はその一部の探掘権を有す。	

金

我が國は金の分布は廣いが量は餘り多くない。朝鮮を第一として大分・茨城兩縣これに次ぐ。

内地總産額	
價額	二、〇二六、七四三匁
朝鮮總産額	
價額	一億六十萬圓
臺灣總産額	
價額	一、〇三四、三一一匁
臺灣總産額	
價額	四百五十萬圓
臺灣總産額	
價額	七〇、五三三匁
臺灣總産額	
價額	三十八萬圓

工 業

我が國は石炭及び水力發電による工業動力に富み、人口稠密で勞力得易く、且原料の輸入、生産品の輸出上好位置にあること等の條件のため、近時大工業が勃興するやうになり、工場關係の事務員・技術員・職工總數は實に二百萬人に及ぶ。

我が國工業品中の首位を占め、年産額十五億三千萬圓に及ぶ。

1. 綿織物……1. 大阪(一億七千四百萬圓)
2. 愛知(一億一千九百萬圓)
3. 和歌山 4. 愛媛 5. 兵庫 6. 静岡

- 2 絹織物……1. 京都(七千八百萬圓) 2. 福井(七千百萬圓) 3. 石川 4. 群馬 5. 東京 6. 山形
- 3 絹綿交織……1. 京都(二千六百萬圓) 2. 茨城 3. 愛知 4. 福井 5. 群馬 6. 岐阜
- 生絲

我が國は支那と共に世界の二大養蠶國で、輸出生絲の量は支那を凌駕する、産額八億六千萬圓。

- 主産地……1. 長野(二億三千萬圓) 2. 愛知(六千八百萬圓) 3. 群馬 4. 埼玉 5. 山梨 6. 岐阜

綿絲紡績

原料はインド・アメリカ合衆國・支那に仰ぎ、製品は内地の需要を充し、支那・南洋方面に輸出する。産額六億四千萬圓。

- 主産地……1. 大阪(一億五千八百萬圓) 2. 愛知 3. 兵庫 4. 三重 5. 岡山

砂糖 臺灣を主産地とし、沖縄・鹿児島これに次ぐ。

製紙 内地總産額一億五千萬圓

- 洋紙……1. 北海道 2. 東京 3. 静岡 4. 大阪 5. 熊本

- 和紙……1. 高知 2. 愛媛 3. 静岡 4. 山口 5. 岐阜

製粉 内地總額一億一千八百萬圓

- 主産地……1. 福岡 2. 愛知 3. 兵庫 4. 群馬 5. 東京

その他製鐵・造船・燐寸・醸造・漆器・陶器・疊表・花筵製造等の諸工業が盛んである。

● 商業

國內諸産業の振興と、海陸交通路の整備と相俟つて我が國商業は近時長足の進歩を見、殊に世界大戰後の外國貿易はその發展に著しいものがある。

A 國內商業

大阪市は本邦商業の中心地で、その他東京・名古屋・門司・神戸・福岡・廣島・小樽等地方中心城市があり、又各植民地は内地との取引が盛んである。

本邦重要輸出入品

輸出總額 (二十億九千八百萬圓)	
1. 生絲類 (七億五千萬圓)	2. 綿織物 (四億一千百萬圓)
4. 陶磁器及び硝子類 (四千七百萬圓)	5. 砂糖及び糖菓 (三千六百萬圓)
輸入總額 (二十四億二千五百萬圓)	
1. 棉花 (七億二千萬圓)	2. 穀類 (二億圓)
4. 羊毛及び毛絲類 (一億二千萬圓)	5. 豆粕 (一億一千萬圓)
	3. 鐵類 (一億三千萬圓)
	6. 機械類 (九千萬圓)

重要取引國

輸 入	
A 棉花……1. 英領インド 2. アメリカ合衆國 3. 支那	
B 羊毛……1. オーストラリア 2. イギリス 3. 支那 4. アフリカ	

B 外國貿易

外國貿易は横濱・神戸の二大中心港を始めとして、五十有餘の開港場により盛んに取引が行はれて居る。昭和元年度に於ける本邦各港輸出入總額は四十五億二千三百萬圓に及んで居る。

- 輸出
- C 米及び粗……1. 英領インド 2. 佛領インド支那 3. シヤム
 - D 豆 粕……1. 關東州 2. 支那
 - E 鐵 類……1. アメリカ合衆國 2. イギリス 3. ドイツ 4. 英領インド
 - F 機 械……1. アメリカ合衆國 2. イギリス 3. ドイツ 4. スイス

- A 生 絲……1. アメリカ合衆國 2. フランス 3. イギリス 4. オーストラリヤ 5. カナダ
- B 綿 織 物……1. 支那 2. 英領インド 3. 蘭領東インド 4. アフリカ 5. 香港
- C 綿 絲……1. 支那 2. 英領インド 3. 香港 4. 蘭領東インド 5. 關東州
- D 絹 織 物……1. オーストラリヤ 2. アメリカ合衆國 3. イギリス 4. 英領インド 5. カナダ
- E 陶 磁 器……1. アメリカ合衆國 2. 蘭領東インド 3. 英領インド 4. 海峽植民地 5. オーストラリヤ

重要貿易港(輸出入各々一千万圓以上)

- | | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|
| 輸 入 港 | 1. 神戸 (十億五千万圓) | 2. 横濱 (六億四千万圓) | 3. 大阪 (二億八千万圓) |
| 輸 出 港 | 1. 横濱 (七億六千万圓) | 2. 神戸 (六億八千万圓) | 3. 大阪 (四億一千万圓) |
4. 門司 5. 名古屋 6. 四日市 7. 長崎 8. 若松 9. 清水 10. 武豊 11. 那覇
12. 鹿兒島
4. 名古屋 5. 門司 6. 若松 7. 清水 8. 長崎 9. 小樽 10. 三池

参 考 事 項

- 本邦三大工業地帯……1. 京濱地方 2. 阪神地方 3. 北九州地方
- 本邦四大工業地帯……1. 京濱地方 2. 阪神地方 3. 北九州地方 4. 名古屋地方
- (發達理由は各地誌の部参照)

第五章 交 通

研 究 事 項

- ④ 本邦各地方に於ける鐵道の疎密と文化の關係とを考へて見よ。
- ⑤ 本邦主要鐵道幹線にはどんなものがあるか。
- ⑥ 日本郵船會社及び大阪商船會社の外國主要航路を調査せよ。

一國文化の開發と交通路とは常に密接の關係を有するもので、我が國の文化が比類なき長足の進歩をしたと同時に、交通路も大いに整備するに至つた。

一 道 路

道路は國道・縣道・里道に分れ全國道路網よく完成し、殊に近時新交通機關として自動車交通の著しい發展を見るに至り、道路は一層面目を新にした。

本邦自動車數

- 乗 用……二萬五千臺 } 東京府最も多く、
- 貨物用……一萬一千臺 }

大阪・兵庫・京都・愛知・福岡の諸府縣これに次ぐ。

二 鐵 道

鐵道總延長は已に一萬哩を突破し、大いに運輸能力を擧げつつある。尙我が國水力發電の豊富なるを利用してこれが電化の計畫もある。

主要幹線

1. 東海道線……東京—名古屋—神戸
2. 中央線……東京—鹽尻—名古屋
3. 東北線……東京—大宮—仙臺—青森
4. 常磐線……東京—水戸—岩沼
5. 信越線……高崎—長野—新潟
6. 奥羽線……福島—山形—青森
7. 羽越線……新津—酒田—秋田
8. 函館線……函館—瀧川—旭川
9. 根室線……瀧川—帯廣—根室
10. 山陽線……神戸—廣島—下關
11. 山陰線……京都—豊岡—米子—益田
12. 鹿兒島線……門司—熊本—八代—川内—鹿兒島
(昭和二年九月以降幹線は八代から西海岸に沿つて鹿兒島に至る)
13. 日豊線……門司—大分—宮崎—吉松
14. 豊肥線……熊本—宮地—大分
15. 臺灣縦貫線……基隆—臺中—高雄

16. 京釜線……釜山—大田—京城
17. 京義線……京城—平壤—安東
18. 成鏡線……元山—咸鏡—羅南

●海運
海運亦よく開け、横濱・神戸の二大港を始め、諸港を根據として内外交通に當る。今や汽船總噸數三百五十萬噸を超え、帆船亦百三十萬噸に及び世界屈指の海運國である。

- 日本郵船會社
1. 歐洲線……横濱—神戸—門司—香港—シンガポール—マラッカ—ヒナン—コロンボ—ポートサイド—マルセ—ユーロンドン—アントワープ
 2. 南米線……横濱—神戸—長崎—シンガポール—ケープタウン—リオデジャネイロ—サントス—ブエノスアイレス

大阪商船會社

1. 歐洲線……日本郵船線に同じ。
2. 濠洲線……横濱—神戸—香港—マニラ—メナド—シドニー—メルボルン—アデレード
3. 南米線……ほゞ日本郵船線に同じ。
4. ニューヨーク線……シンガポール—香港—上海—神戸—四日市—横濱—サンフランシスコ—バルボア—クリストバロ—ニューヨーク

3. シヤトル線……香港—マニラ—上海—門司—神戸—四日市—清水—横濱—ピクトリヤ—シヤトル
4. 濠洲線……横濱—神戸—長崎—香港—マニラ—ザンボアンガ—木曜島—タウンスヴィル—プリズベーン—シドニー—メルボルン

四 通 信

郵便・電信(有線・無線)・電話等の通信機關よく整ひ、本邦通信事業は歐米諸國に比して遜色なきまでに至つた。

- 主要海底電線
1. 支那との連絡——佐世保・大連間、長崎・上海間、淡水・福州間
 2. 朝鮮との連絡——下關・釜山間、島根半島・元山間
 3. 臺灣との連絡——長崎・淡水間、大隅半島・琉球・淡水間
 4. 南洋との連絡——東京・二見(これより米國線に通ずる)・グアム・ヤップ間
 5. ヤップを中心とし——ヤップ・上海間、ヤップ

ブ・メナド間、ヤップ・グ
 アム間（大戦後日本管理）
 ◎米國との通信は東京・二見・グアム・ミッド
 主要無線電信局

ウエー・ハワイ・サンフランシスコ線
 6. シベリヤとの連絡——長崎・ウラチオストフ
 ク間

局名	所在地	夜間通信距離
東京	東京市	五〇〇軒
幌 蕨	千 島	一五〇〇
落 石	千 島	三〇〇〇
潮 岬	和歌山縣	一三〇〇
角 島	山口縣	一五〇〇
大 瀨 崎	長 崎 縣	三〇〇〇軒
基 隆	臺 灣	一五〇〇
大 連	關 東 州	三〇〇〇
銚 子	千 葉 縣	一五〇〇
那 霸	沖 繩 縣	一五〇〇

参考事項

日・米の通信

1. 郵便物は日米航路の船舶による。
2. 海底電信による。
 東京—父島—グアム島—ミッドウエー島—ハ
 ワイ—サンフランシスコ

3. 無線電信による。

- a 東京無線電信局とサンフランシスコ無線電
 信局との直通によるもの。
- b 千葉縣船橋無線電信局からハワイを経てサ
 ンフランシスコと通信するもの。

第六章 住 民

研究事項

④我が國の人種にはどんな種族があるか。

●人 種

我が國は國土の擴張と共に種々な人種を混じ、
 各種族融和して舉國一致の實を擧げつつある。

⑤本邦在外移民の分布を調査せよ。

1. 大 和 民 族——我が國住民の大部分を占め總數六千二百萬に達し、その中海外にある者六十萬に及ぶ。
2. 朝 鮮 民 族——皮膚・容貌・骨格等最も大和民族に近く、明治四十三年日韓併合後我が國民となつたもので、人口約一千九百萬に及ぶ。
3. 漢 族——臺灣島に住する民族で、勤勉で貯蓄心に富む、總數三百七十萬に及ぶ。
4. 高 砂 族——臺灣山地に住する未開種族でマレー人種に屬し、斬首の惡風がある、總數約十五萬。
5. ア イ ヲ 族——昔は本邦各地に分布した形跡があるが、大和民族のために漸次北に逐はれ、現今北海道・樺太に住する。性溫柔で文化進まず漸次減少の傾向がある、總數約一萬八千。
6. ギリヤーク族——樺太に住する極北人種で、性殘忍で文化が低い。
7. オロツコ族——樺太に住するツングース族の一種で、漁獵を事とし文化が低い。
8. ミクロネシヤ族——南洋委任統治地方約六萬の人口中大部分を占む、文化が低い。
9. アリヤン族——小笠原諸島に住する英・米・伊・ハワイ人等の歸化人。

人口

緒論・人口の部参照

本邦大都市……(人口十萬以上)

- 1. 大阪
- 2. 東京
- 3. 名古屋
- 4. 京都
- 5. 神戸
- 6. 横濱
- 7. 廣島
- 8. 長崎
- 9. 函館
- 10. 金澤
- 11. 熊本
- 12. 福岡
- 13. 札幌
- 14. 仙臺
- 15. 吳
- 16. 小樽
- 17. 鹿兒島
- 18. 岡山
- 19. 八幡
- 20. 新潟
- 21. 堺

海外在住内地人

總數——六十二萬五千人

- 1. アシヤ洲……………一四二、〇〇〇人
- 内譯 關東洲……………五〇、〇〇〇人
- その他……………九二、〇〇〇人
- 2. ヨーロッパ洲……………三、〇〇〇人
- 3. 北アメリカ洲……………一五七、〇〇〇人
- 4. 南アメリカ洲……………六四、〇〇〇人
- 5. 大洋洲……………一三七、〇〇〇人

- 内譯 南洋委任……………七、〇〇〇人
- その他(大部……………一三〇、〇〇〇人
- 分ハワイ)……………六四人
- 6. アフリカ洲……………

第七章 政治

研究事項

- ④ 我が國の師團所在地を調べて見よ。
- ⑤ 陸海軍所屬の飛行隊の所在地を調査せよ。
- ⑥ 我が國の條約國にはどんな國があるか。

日本の國體

我が國は萬世一系の天皇を奉戴し、君民の關係は父子の如く、世界に例のない美しい國風の君主國である。

日本の政體

明治二十二年憲法が發布されて以來立憲君主政體の國となり、國家の基礎愈々確立するに至つた。

統治機關

統治機關は司法・立法・行政の三部に分れ、帝國議會は立法の機關で毎年度の豫算及び法律案を審議する。行政には中央・地方との別があつて、中央行政は内閣の下に十一省ありこれによつて行はれ、地方行政は三府四十三縣、朝鮮・臺灣兩總督府、北海道廳・樺太廳、關東州に關東廳、南洋師團司令部所在地。

軍備

我が國民たる男子は一定の年限に達すれば兵役の義務を負ふ。兵役を常備・後備・補充・國民の四種に分つ。

A 陸軍

近衛師團外全國を六十師管に分ち、各師管に師

近衛師團	東京	第一師團	東京	第二師團	仙臺
第三師團	名古屋	第四師團	大阪	第五師團	廣島
第六師團	熊本	第七師團	旭川	第八師團	弘前
第九師團	金澤	第十師團	姫路	第十一師團	善通寺
第十二師團	久留米	第十四師團	宇都宮	第十六師團	京都
第十九師團	羅南	第二十師團	龍山		

團を置く。
植民地の軍備

1. 臺灣には守備隊を置き、内地各師團から一定の兵員を送る。
2. 満洲・南洋の守備は内地各師團から一定の兵員を送る。
3. 樺太の守備は第七師團これに當る。

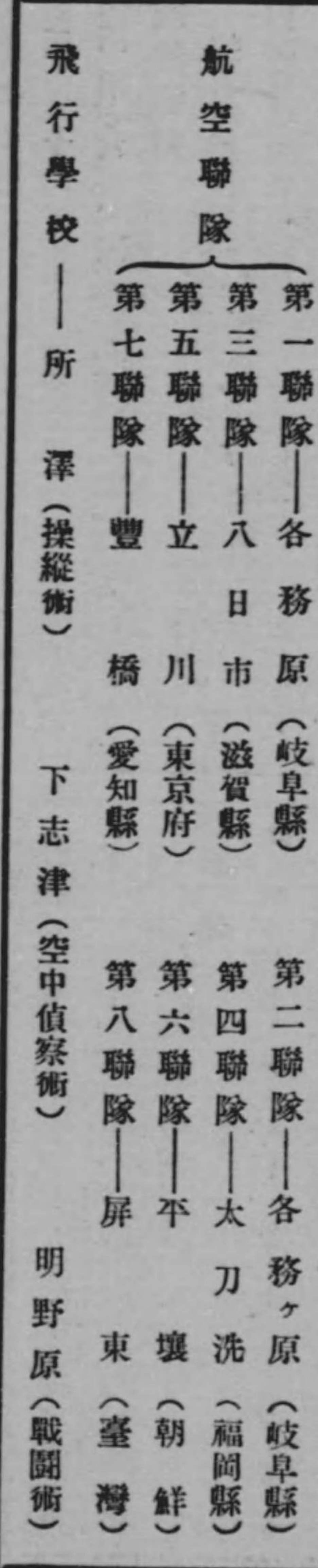
B海軍
全国の領海を三區に分ち各區に鎮守府を置く。
艦船の數約二百、總噸數九十八萬噸に及ぶ、今や陸軍所屬

世界第三の海軍國となつた。
海軍區・軍港・要港

海軍區	鎮守府	軍港	要港
第一海軍區	横須賀	横須賀	大湊
第二海軍區	吳	吳	舞鶴
第三海軍區	佐世保	佐世保	馬公・鎮海

C航空隊

航空隊は陸・海兩軍に所屬する。



①海軍所屬

飛行場——追濱(神奈川縣)・霞ヶ浦(茨城縣)・大村(長崎縣)・佐世保(長崎縣)
この外尙十三隊の増設計畫がある。
航空母艦——若宮・鳳翔・加賀・赤城その他二隻

②外交

日清・日露兩戦役後國威大いに揚り、更に世界大戰後は世界三大強國の一に列し、國際聯盟・ワシントン軍縮會議・又最近(昭和二年)ジュネーヴに開かれた第二次軍縮會議等に於て、我が國の地位は一層上り、今や四十有餘の諸國と條約を結び大使・公使を交換し、又通商上の要地には領事を駐在せしめて居る。

國 約 條	
支那	支那
シベリヤ	シベリヤ
アフガニスタン	アフガニスタン
イギリス	イギリス
フランス	フランス
イタリア	イタリア
ベルギー	ベルギー
ブルクセル	ブルクセル
ドバイ	ドバイ
スイス	スイス
オランダ	オランダ
スウェーデン	スウェーデン
ノルウェー	ノルウェー
トルコ	トルコ
ブルガリヤ	ブルガリヤ
ユーゴスラビア	ユーゴスラビア
ラテンアメリカ	ラテンアメリカ
フィンランド	フィンランド
スペイン	スペイン
ポルトガル	ポルトガル
ギリシヤ	ギリシヤ
ルーマニヤ	ルーマニヤ
オーストリア	オーストリア
ホンガリヤ	ホンガリヤ
ポーランド	ポーランド
ドイツ	ドイツ
オランダ	オランダ
スウェーデン	スウェーデン
ノルウェー	ノルウェー
アメリカ	アメリカ
メキシコ	メキシコ
カナダ	カナダ
ブラジルの	ブラジルの
アルゼンチン	アルゼンチン
パラグワイ	パラグワイ
ウルグワイ	ウルグワイ
チリ	チリ
ペル	ペル
ポリヴィヤ	ポリヴィヤ
コロンビヤ	コロンビヤ
エクアドル	エクアドル
ソヴィエト	ソヴィエト
邦	邦

附録 その一 重要諸表

本邦主要高山

名 稱	所在地	高度 (m.)
新高山	臺 灣	3950
次高山	臺 灣	3931
秀姑巒山	臺 灣	3833
富士山	中 部	3778
關 山	臺 灣	3667
大雪山	臺 灣	3660
白根山	中 部	3192
槍ヶ岳	中 部	3180
赤石岳	中 部	3120
穂高岳	中 部	3103

本邦主要大河

名 稱	所在地	長さ (km)
鴨 綠 江	朝 鮮	790
洛 東 江	朝 鮮	525
豆 滿 江	朝 鮮	521
大 同 江	朝 鮮	439
大 錦 江	朝 鮮	401
信 濃 川	中 部	369
石 狩 川	北 海 道	365
利 根 川	關 東	322
天 鹽 川	北 海 道	306
北 上 川	奥 羽	243

終

附録 その一 重要諸表

名古屋	768,558	京都	679,963
神戸	644,212	横浜	405,888
広島	195,731	長崎	189,071
函館	163,972	金沢	147,420
熊本	147,174	福岡	146,005
札幌	145,065	仙台	142,894
吳	138,863	小樽	135,469
鹿兒島	124,734	岡山	124,521
八幡	118,376	新潟	103,941
堺	105,009	横須賀	96,351
和歌山	95,622	佐世保	95,385
門司	95,087	下關	92,317
濱松	92,152	静岡	84,772
豊橋	82,317	岐阜	81,902
宇都宮	76,138	徳島	74,545
前橋	73,688	旭川	72,341
久留米	72,221	高松	71,897
甲府	68,275	大牟田	63,256
富山	67,490	長野	66,555
高知	65,723	松本	63,427
福井	59,943	青森	58,794
松山	58,292	山形	55,994
姫路	55,713	那覇	54,643
川崎	54,634	大分	53,352
長岡	53,156	津	52,536
小倉	51,663	室蘭	50,010
盛岡	50,020		

(以上五萬以上の都市)

海外在留邦人

アジヤ洲	263,690	ヨーロッパ洲	2,934
------	---------	--------	-------

表諸要重 一の録附

本邦主要大湖

名稱	所在地	面積(km ²)	最深(m)
琵琶湖	滋賀縣	675	96
八郎潟	秋田縣	221	5
霞ヶ浦	茨城縣	177	8
猿瀨湖	北海道(北見)	151	18
猪苗代湖	福島縣	103	102
中海	島根縣	102	8
宍道湖	島根縣	83	7
濱名湖	静岡縣	80	16
十和田湖	秋田・青森縣	78	343
支笏湖	北海道(膽振)	78	363

人口密度大なる地方

府縣名	密度(一方里)	府縣名	密度(一方里)
東京	32289	大阪	26493
神奈川	9293	福岡	7212
愛知	7077	香川	5853
埼玉	5755	京都	4758
兵庫	4493	長崎	4361

人口密度小なる府縣

府縣名	密度(一方里)	府縣名	密度(一方里)
北海道	437	岩手	912
秋田	1232	青森	1302
宮崎	1377	高知	1496

本邦内地主要都市及び人口

市名	人口	市名	人口
大阪	2,114,801	東京	1,995,567

本邦重要農産物及び産地

米 (内地總産額 5559 萬石)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 新潟縣 (259 萬石) | 2. 福岡縣 (246 萬石) |
| 3. 兵庫縣 (219 ") | 4. 千葉縣 (203 ") |
| 5. 山形縣 (193 ") | 6. 秋田縣 (190 ") |
| 7. 愛知縣 (190 ") | 8. 茨城縣 (182 ") |

麥 (内地總産額 2390 萬石)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 北海道 (224 萬石) | 2. 茨城縣 (150 萬石) |
| 3. 埼玉縣 (134 ") | 4. 熊本縣 (100 ") |
| 5. 兵庫縣 (93 ") | 6. 栃木縣 (90 ") |
| 7. 福岡縣 (90 ") | 8. 千葉縣 (86 ") |

大豆 (内地總産額 360 萬石)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 北海道 (67 萬石) | 2. 岩手縣 (34 萬石) |
| 3. 茨城縣 (19 ") | 4. 埼玉縣 (16 ") |
| 5. 鹿兒島縣 (16 ") | 6. 宮城縣 (16 ") |

小豆 (内地總産額 100 萬石)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 北海道 (55 萬石) | 2. 熊本縣 (4 萬石) |
| 3. 新潟縣 (3 ") | 4. 長野縣 |
| 5. 茨城縣 | 6. 岩手縣 |

葉煙草 (内地總産額 1734 萬貫)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 栃木縣 (316 萬貫) | 2. 鹿兒島縣 (272 萬貫) |
| 3. 茨城縣 (253 ") | 4. 福島縣 (135 ") |

繭 (内地總産額 8744 萬貫)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 長野縣 (1013 萬貫) | 2. 群馬縣 (590 萬貫) |
| 3. 愛知縣 (543 ") | 4. 埼玉縣 (452 ") |
| 5. 岐阜縣 (416 ") | 6. 福島縣 (339 ") |
| 7. 三重縣 (309 ") | 8. 山梨縣 (305 ") |

北アメリカ洲	157,241	南アメリカ洲	64,203
アフリカ洲	61	大洋洲	137,298
總計	625,430.		

外國貿易

輸出總額	2,098,127,854 圓
輸入總額	2,425,504,135 圓
計	4,523,631,989 圓

本邦重要輸出入品

輸出品	價額	輸入品	價額
生絲類	7億4000萬圓	棉花	7億2000萬圓
綿織物類	4億1000 "	穀類	2億
絹織物類	1億3000 "	鐵類	1億3000 "
陶磁器及び硝子	4700 "	羊毛及び毛絲類	1億2000 "
砂糖及び菓子	3600 "	豆粕	1億1000 "
石炭	3100 "	機械類	9000 "

本邦重要貿易港 (輸出入總額二千萬圓以上)

港名	輸出入貿易總額
1. 神戸港	17億3千萬圓
2. 横濱港	13億99 "
3. 大阪港	6億98 "
4. 名古屋港	1億32 "
5. 門司港	1億29 "
6. 若松港	43 "
7. 清水港	35 "
8. 長崎港	35 "
9. 小樽港	22 "

石油 (原油)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 新潟縣 (960 萬圓) | 2. 秋田縣 (650 萬圓) |
| 3. 北海道 (18 ") | |

金

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 大分縣 (490 萬圓) | 2. 茨城縣 (270 萬圓) |
| 3. 鹿兒島縣 (180 ") | 4. 北海道 (90 ") |
| 5. 愛媛縣 (70 ") | 6. 秋田縣 (70 ") |

鐵

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 岩手縣 (530 萬圓) | 2. 富山縣 (130 萬圓) |
| 3. 福島縣 (20 ") | 4. 愛知縣 (17 ") |

銀

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 大分縣 (125 萬圓) | 2. 茨城縣 (100 萬圓) |
| 3. 秋田縣 (90 ") | 4. 栃木縣 (80 ") |
| 5. 香川縣 (60 ") | 6. 愛媛縣 (55 ") |

陶磁器 (内地總產額 7800 萬圓)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 愛知縣 (3600 萬圓) | 2. 岐阜縣 (1500 萬圓) |
| 3. 京都縣 (180 ") | 4. 佐賀縣 (370 ") |
| 5. 三重縣 (330 ") | 6. 兵庫縣 (300 ") |

構寸 (内地總產額 1700 萬圓)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 兵庫縣 (1450 萬圓) | 2. 大阪府 (90 萬圓) |
| 3. 愛知縣 (40 ") | 4. 香川縣 (35 ") |

漆器 (内地總產額 3000 萬圓)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 石川縣 (380 萬圓) | 2. 福島縣 (330 萬圓) |
| 3. 愛知縣 (300 ") | 4. 和歌山縣 (260 ") |
| 5. 静岡縣 (23 ") | 6. 新潟縣 (60 ") |

蠶絲類 (内地產額 986 百萬圓)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 長野縣 (26800 萬圓) | 2. 愛知縣 (8500 萬圓) |
| 3. 群馬縣 (6500 ") | 4. 埼玉縣 (5300 ") |

馬 (内地頭數 155 萬頭)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 北海道 (22 萬頭) | 2. 鹿兒島縣 (10 萬頭) |
| 3. 岩手縣 (9 ") | 4. 熊本縣 (9 ") |
| 5. 福島縣 (9 ") | 6. 宮崎縣 (7 ") |
| 7. 秋田縣 (6 ") | 8. 宮城縣 (6 ") |

牛 (内地頭數 146 萬頭)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 兵庫縣 (9 萬 5) | 2. 廣島縣 (9 萬 4) |
| 3. 岡山縣 (9 ") | 4. 鹿兒島縣 (8 ") |
| 5. 長崎縣 (7 ") | 6. 大分縣 (6.5) |
| 7. 山口縣 (6.3) | 8. 島根縣 (6) |

魚獲物 (内地總額 2 億 5800 萬圓)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 北海道 (5500 萬圓) | 2. 長崎縣 (1200 萬圓) |
| 3. 静岡縣 (1200 ") | 4. 山口縣 (1000 ") |
| 5. 高知縣 (100 ") | 6. 愛知縣 (900 ") |
| 7. 東京縣 (900 ") | 8. 千葉縣 (900 ") |

本邦重要鑛産比較

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 石炭 (236 百萬圓) | 2. 銅 (53 百萬圓) |
| 3. 石油 (16 ") | 4. 金 (13 ") |
| 5. 亞鉛 (8 ") | 6. 鐵 (7 ") |
| 7. 銀 (7 ") | 8. 硫化鐵鑛 (4 ") |

石炭

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 福岡縣 (134 百萬圓) | 2. 北海道 (41 百萬圓) |
| 3. 福島縣 (16 ") | 4. 佐賀縣 (14 ") |
| 5. 長崎縣 (14 ") | 6. 山口縣 (10 ") |

銅

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 愛媛縣 (11 百萬圓) | 2. 秋田縣 (11 百萬圓) |
| 3. 栃木縣 (10 ") | 4. 茨城縣 (7 ") |
| 5. 大分縣 (7 ") | 6. 愛媛縣 (3 ") |

續論

1. 日本帝國の位置・境域を記せ。(通官)
2. 三府四十三縣中海岸線なきもの五個を問ふ。(海經)
3. 日本列島と大陸との間の海峡を問ふ。(陸幼)
4. 内地四大島を分つ海峡を問ふ。(東船)
5. 日本全國を描き本州と他の島との間にある諸海峡名を記せ。(海兵)
6. 本邦人口密度最も大なる地方と小なる地方。(陸士)
7. パシフィック海峡の所在を問ふ。(海兵)
8. 我が國の四極(經緯度)を問ふ。(高等)

附録 その二
入學試験問題集
及び解答

9. 我が國四面の海洋及び近隣諸國の名稱を問ふ。(陸幼)
 10. 我が國と歐米列強との面積の割合を問ふ。(海兵)
 11. 左の海峡の名稱を問ふ。
臺灣島とフィリッピンとの間。
澎湖島と支那との間。
占守島とカムチャツカとの間。
樺太島と露領沿海州との間。
對馬と朝鮮との間。
- 關東地方
1. 箱根山に例をとりて火山の構造を説明せよ。(東高師)
 2. 關東平野の略圖を描きてこれに主なる都會を記入せよ。(商大)
 3. 關東地方の交通系を記せ。(山商)
 4. 關東地方に於ける師團司令部及び海軍鎮守府の所在地を問ふ。(陸士)
 5. 關東地方にて縣名と縣廳所在地名と異なるもの

5. 山梨縣 (400 ")
 6. 福島縣 (4000 ")
 7. 岐阜縣 (3500 ")
 8. 山形縣 (3000 ")
- 綿絲紡績 (内地總産額 78 百萬圓)
1. 大阪府 (176 百萬圓)
 2. 愛知縣 (115 百萬圓)
 3. 兵庫縣 (92 ")
 4. 三重縣 (57 ")
 5. 岡山縣 (47 ")
 6. 和歌山縣 (36 ")
 7. 岐阜縣 (28 ")
 8. 神奈川縣 (22 ")
- 織物 (内地總産額 1505 百萬圓)
1. 愛知縣 (210 百萬圓)
 2. 大阪府 (207 百萬圓)
 3. 京都府 (108 ")
 4. 東京府 (90 ")
 5. 福井縣 (85 ")
 6. 静岡縣 (70 ")
 7. 群馬縣 (70 ")
 8. 兵庫縣 (65 ")
- 西洋紙 (内地總産額 120 百萬圓)
1. 北海道 (28 百萬圓)
 2. 東京府 (26 百萬圓)
 3. 静岡縣 (13 ")
 4. 熊本縣 (8 ")
 5. 兵庫縣 (8 ")
 6. 大阪府 (6 ")
- 製茶 (内地總産額 36 百萬圓)
1. 静岡縣 (16 百萬圓)
 2. 京都府 (2 百萬圓)
 3. 鹿兒島縣 (2 ")
 4. 三重縣 (2 ")
- 酒類 (内地總産額 580 萬石)
1. 兵庫縣 (76 萬石)
 2. 福岡縣 (30 萬石)
 3. 京都府 (30 ")
 4. 廣島縣 (25 ")
 5. 北海道 (18 ")
 6. 長野縣 (18 ")
- 鹽表 (内地總産額 18 百萬圓)
1. 廣島縣 (460 萬圓)
 2. 大分縣 (410 萬圓)
 3. 岡山縣 (330 ")
 4. 静岡縣 (160 ")
- 小麥粉 (内地總産額 136 百萬圓)
1. 神奈川縣 (21 百萬圓)
 2. 兵庫縣 (20 百萬圓)
 3. 福岡縣 (15 ")
 4. 愛知縣 (15 ")

を列挙せよ。(海機・海兵)

6. 左に就いて知る所を記せ。

桐生 (東語) 八王子 (東語)
 流山 (海兵) 小田原 (陸士)
 結城 (陸幼) 銚子 (普文)
 日光 (東語) 所澤 (普文)
 日立 (海兵・文檢) 横須賀 (陸士)
 鹿沼 (陸士) 碓氷峠 (東外語)
 野田 (普文) 追濱 (普文)
 横濱 (遞官) 足利 (陸幼)
 妙義山 (陸幼) 伊勢崎 (海兵)
 足尾 (遞官)

奥羽地方

1. 左に就いて知る所を記せ。

能代川 (高商) 會津 (陸幼)
 鹽釜 (陸幼) 石巻 (高商)
 釜石 (海機・陸幼・專檢) 大湊 (陸幼)
 弘前 (陸幼) 原町 (案内)

白河 (陸士) 三春 (海兵・海機)
 阿武隈山脈 (文檢) 會津 (高等)
 金華山 (海機) 萩濱 (遞官)
 北上川 (海兵) 八耶湯 (美術)
 アラッキ
 ストン線 (文檢)

中部地方

1. 北陸地方の氣候の特徴を記せ。(陸士)

2. 中部地方の交通を記せ(地圖を附せ)。(東高師)

3. 左の地の主要工業品を列挙せよ。

岡谷 名古屋 岐阜 阜

4. 中部地方の貿易港を問ふ。(商大)

5. 中部地方に於ける石油の産地を問ふ。

6. 中部地方に於ける生絲の産地を問ふ。(長商・廣高師)

7. 中部地方に於ける茶の産地を問ふ。(水産・專檢・高檢)

(長商・專檢・高檢)

8. 中部地方に於ける米の産地を問ふ。(陸經・海兵)

9. 左に就いて知る所を記せ。

濱松 (陸幼) 清水 (名工)
 富士川 (陸幼) 天龍川 (海兵)
 名古屋 (外語) 瀬戸 (海兵・陸士)
 岐阜 (外語) 多治見 (陸幼)
 關ヶ原 (陸士) 各務ヶ原 (高檢)
 高山 (海兵・遞官) 谷村 (高等)
 甲府 (海機・陸幼) 乗鞍岳 (東師)
 浅間山 (海經) 岡谷 (外語)
 上田 (陸幼) 長岡 (陸幼・專檢)
 信濃川 (海兵) 新津 (海機)
 伏木 (名工・陸士) 魚津 (海機)
 高岡 (陸幼・海機) 輪島 (陸幼)
 七尾 (陸士・名工) 福井 (外語・海兵・陸幼)
 敦賀 (海兵・名工)

近畿地方

1. 近畿地方の地形・氣候に就いて述べよ。(高登)

2. 大阪・神戸地方に商工業の盛んなる理由を説明せよ。(高檢)

3. 近畿地方の交通に就いて知る所を記せ。(陸幼)

4. 近畿地方にて海岸線なき縣を問ふ。(海經)

5. 左に就いて知る所を記せ。

宇治山田 (陸幼) 桑名 (陸幼)
 四日市 (山商・遞官) 英虞灣 (文檢)
 鳥羽 (美術) 米原 (陸士・高工)
 琵琶湖 (美術・普文) 京都 (文檢・外語)
 舞鶴 (海機・陸士) 宮津 (山商・美術)
 伏見 (海機) 宇治 (陸幼)
 笠置山 (外語) 奈良 (美術)
 新宮 (陸士・海機) 潮岬 (陸幼)
 堺 (山商) 金剛山 (陸幼・陸士)
 大阪 (高檢) 神戸 (文檢・陸幼)
 大宮 (陸幼・海機) 有馬 (海機・海兵)
 赤穂 (陸幼) 豊岡 (高商)
 生野 (陸幼) 淡路 (海兵・陸幼)
 洲本 (海機)

中國・四國地方

1. 中國地方の山陽と山陰に就き各々その地形・海岸・都邑、人文發達の程度を比較せよ。(陸士)
 2. 瀬戸内海沿岸に鹽田多き理由を説明せよ。(美術)
 3. 山陰・山陽の重要物産を列挙せよ。(商船)
 4. 中國地方に於ける海軍鎮守府・師團司令部所在地の國名を記せ。(通官)
 5. 中國地方で海なき國名を記せ。(通)
 6. 四國地方の銅産地を問ふ。(陸幼)
 7. 四國に於ける師團司令部の所在地を問ふ。(通官)
 8. 四國の河川に就きて記せ。(女高師)
 9. 四國の略圖を描き縣廳所在地・鐵道・高山一つ大河一つ著名の神社一つを記入せよ。
- 解 1. 縣廳所在地——高松市・徳島市・松山市・高知市
2. 鐵道——讚岐線・徳島本線
3. 石鎚山又其剣山、又は天狗岳

4. 大河——吉野川
 5. 神社——金比羅宮
 10. 山陰・山陽を地理上より見ての差異點を示せ。(海兵)
 11. 左に就いて知る所を記せ。
- | | | | |
|-----|---------|-----|---------|
| 院、庄 | (陸幼・陸士) | 津山 | (陸幼・通官) |
| 高梁 | (海機・通) | 美作 | (通官) |
| 宇野 | (專檢) | 絲崎 | (名工・小商) |
| 廣島 | (海兵) | 三次 | (陸幼) |
| 宇品 | (通官) | 江田島 | (普文) |
| 吳 | (陸士・通官) | 岩國 | (陸士・海機) |
| 下關 | (陸幼・陸士) | 秋吉臺 | (廣師) |
| 壇浦 | (陸幼・陸士) | 杵築 | (陸幼) |
| 濱田 | (名工・通官) | 三瓶山 | (陸士) |
| 隱岐 | (海兵・陸士) | 松江 | (通官) |
| 米子 | (陸士・海機) | 境 | (專檢) |
| 善通寺 | (普文) | 屋島 | (海機) |
| 琴平 | (海兵) | 坂出 | (陸幼) |

九州地方

1. 九州地方の海岸の概況を問ふ。(商船)
 2. 北九州の工業に就きて述べてよ。(外務留學)
 3. 北九州に開港場多き理由を問ふ。(高檢)
- 解 1. 海岸屈曲に富み自然的良港多しこと。
2. 後背地に大工業地帯を控へ物資集散盛なること。
3. 大炭田地を控へその積出盛んなること。
4. 支那・インドを始め海外に對する位置良好なること。
4. 北九州の略圖を描き鐵道幹線、主要都市十五を記入せよ。(普文)
- 解 1. 九州本線——門司・小倉・戸畑・八幡・福岡・久留米・大牟田・熊本・鹿兒島

2. 日豊線——大分・別府・宮崎・都城
 3. 長崎本線——佐賀・長崎
 5. 九州の略圖を描き縣界・縣廳所在地・師團所在地・軍港・開港場を記入せよ。(普文)
 6. 左に就いて知る所を記せ。
- | | | | |
|-----|---------|-----|---------|
| 福岡 | (陸幼) | 小倉 | (美術) |
| 久留米 | (山商) | 八幡 | (普文) |
| 博多 | (山商・陸幼) | 箱崎 | (陸士) |
| 有田 | (陸幼) | 唐津 | (通官) |
| 佐世保 | (陸幼・陸士) | 竹敷 | (陸幼) |
| 島原 | (陸幼) | 對馬 | (陸幼) |
| 長崎 | (陸幼) | 平戸 | (陸士) |
| 口津 | (通官・陸士) | 高島 | (海兵) |
| 佐須奈 | (山商・陸士) | 嚴原 | (陸幼) |
| 溫泉岳 | (東外語) | 阿蘇山 | (高等) |
| 三角 | (陸士) | 八代 | (海機) |
| 谷山 | (陸幼) | 種子島 | (陸幼・高師) |
| 名瀬 | (通官) | 國分 | (外語・海兵) |
| 櫻島 | (文檢) | 山國川 | (陸幼) |

別 府 (陸 幼) 中 津 (海 機)
大 淀 川 (陸 幼) 那 霸 (陸 幼・山 商)
沖 大 東 島 (文 檢) 八 重 山 列 島 (東 師)

臺 灣 地 方

1. 臺灣の地形に就きて知る所を記せ。(東師)
 2. 臺灣の東岸と西岸との地形・海岸・都邑・人文發達の程度を比較せよ。(陸士)
- 解 1. 西岸は平野廣く東岸は平野が殆んどない。西岸には大河多く、東西の流路をとり、東岸には大河少く、臺東山脈と分水嶺山脈との間には縦谷を見る。
3. 西岸は海岸線單調で砂丘・砂嘴・砂洲・潟湖に富み良港灣乏しく、東岸は山勢海に迫り斷崖をなす所多く良港灣がない。
4. 西岸は都會發達し、東岸は發達してない。
5. 西岸は産業・交通よく發達し、文化進むも東岸はこれに反する。

3. 臺灣の地形を示す略圖を書け。(女檢)
 4. 臺灣山脈と氣候との關係を述べよ。(東商)
 5. 臺灣の産業と北海道の産業とを比較せよ。(高等)
 6. 臺灣の住民に就きて知る所を記せ。(高檢)
 7. 臺灣・朝鮮に於て内地との關係最も深き貿易港をあげて比較せよ。(東船)
- 解 朝鮮——釜山、臺灣——基隆、比較——各地誌參照
8. 臺灣の略圖を描き左の地を記入せよ。(海兵)
基隆 臺北 淡水河 新高山 臺中 臺南 嘉義 臺東 安平 高雄 西部標準時に用ふる子午線
9. 臺灣の重要物産を問ふ。(長商)
10. 世界に於ける樟腦の主産地を問ふ。
解 臺灣であつて世界の半ばを出す。
11. 臺灣の氣候と産業との關係を問ふ。
解 臺灣は高温多温なるため植物の生育よく、これに適した諸産業が發達する。

A 農 業

1. 米——高温多雨なるため米の栽培には最も適し、年二回栽培し得る。
 2. 甘蔗——高温なるため廣く栽培され、臺灣諸産物中主要のものである。
 3. 茶——茶は高温で雨量年中平均して適度に多い所に適するを以て北部地方に産する。
 4. 果物——バナナ・パイナップル・龍眼・肉等の熱帯性果物に富む。
- B 林業——高温・多雨なるため森林よく茂り、樟・杪樺・林投樹等の熱帯性のもを始め、高度を増すに従つて檜等の大森林がある。
- C 工業——間接的に甘蔗を原料に製糖業が盛んであり、樟を原料に樟腦を製し、茶の葉から各種の茶を製す。殊に烏龍茶は有名である。
- D 製鹽業——高温で蒸發盛んなため天日製鹽

が行はれる。

12. 左に就いて知る所を記せ。
- | | |
|-------------|--------------|
| パシー海峽(海 兵) | 金瓜石(陸 幼) |
| 阿 猴(東 師) | 高 雄(陸 幼・海 兵) |
| 淡 水(小商・海 兵) | 安 平(海 兵) |
| 基 隆(海 兵) | 新高山(海 兵) |
| 苗 栗(遞 官) | 鹿 港(陸 士) |
| 後 壩(小 商) | |

北 海 道 地 方

1. 北海道本島の地形に就きて知る所を記せ。(東船・女師)
2. 北海道本島の地圖を描き主要なる山脈・火山・河流を記入しその名稱を併記せよ。
3. 北海道の主要農産物を記せ。(高等)
4. 北海道の林業・牧畜業に就きて記せ。(陸 幼)
5. 北海道の地圖を描きて主なる都市を記入せよ。(廣 師)
6. 北海道の略圖を描き左の地名を記入せよ。(陸 幼)

宗谷岬 襟裳岬 函館 室蘭 小樽 札幌

7. 北海道の氣候と産業との關係を説明せよ。(專檢)
 解 北海道地方は氣溫低く雨量亦少いため、これが一原因となつて人口密度小で、産業は一般に不振である。しかし、これは世界的に見れば決して氣候最悪の地とは言ひ難く、近時國民の覺醒と共に漸次移民の數を増し、交通路の開發と共に諸産業も隆盛に赴きつつある。

水産業——寒帯性の魚類多く、鯨・鮭・鱒・鱈・昆布等を産し、水産業大いに振ふ。

農業——大豆・麥等の産が多い。これ等は寒地にもよく生育するもので、農産物の主要なものである。冬季は地面凍結するため、麥は春に播種し秋季に收穫する。稻は寒冷のために栽培不適當で産額が少い。苹果は寒地性の果物であるため産額が多い。
 林業——椴松・蝦夷松等の寒帯林に富む。

8. 左に就いて知る所を記せ。

宗谷海峽 (遜官) 室蘭 (山商・普文)
 枝幸 (海機) 旭川 (高等・海機)
 空知 (商大) 占守島 (高等)
 宗谷岬 (海兵) 稚内 (商大・東師)
 留萌 (神商) 樺前岳 (文檢)
 札幌 (文檢) 俱知安 (文檢)
 釧路 (東師・陸士・山商) 岩見澤 (山商・海兵)
 落石 (小商・海機) 夕張 (普文)

樺太地方

1. 樺太及び臺灣の主要産業に就いて記せ。(東師)
 2. 樺太に於ける特有生産物を記せ。(水産)
 3. 樺太島北緯五十度以南の圖を描き主なる都會、岬・灣・島・川を記入せよ。(陸士)
 4. 樺太の略圖に左の事項を記入せよ。(神商)
 間宮海峽 オホーツク海 幌内川 豊原
 鈴谷川 大泊 國境線 亞庭灣
 中知床半島

5. 左に就いて知る所を記せ。

大泊 (高等) 豊原 (廣師)
 眞岡 (水産) 海豹島 (普文)
 宗谷海峽 (海兵)

朝鮮地方

1. 朝鮮の略圖を描き著名なる山・川・港灣・都市を記入せよ。(高等)
 2. 朝鮮の略圖を描き左の諸項を記入せよ。(陸士)
 京城 元山 大邱 平壤
 金剛山 豆滿江 鴨綠江 仁川
 鎮海灣 京義鐵道
 3. 朝鮮の略圖を描き左の事項を記入せよ。(東師)
 道廳所在地 主要河川 開港場 重要鐵產地
 鐵道 内地及び外國間航路
 4. 朝鮮の地圖を精細に描き左の各項を記入せよ。
 (東師)

大白山脈 大同江 鎮海 清津
 鎮南浦 開城 會寧 載寧

群山 湖南線

5. 朝鮮の東岸と西岸との地理上の差異を記せ。(水産)

解 1. 東岸は山地海に迫り沿岸は平野に乏しく、西岸は各所に平野を見る。
 2. 東岸には大河なきも、西岸には大河注ぐ。
 3. 東岸は海岸線單調なるも、西岸は屈曲に富み島嶼が多い。
 4. 東岸には寒流流れ、西岸には暖流流る。
 5. 東岸は海岸急斜して海深いが、西岸は遠淺である。
 6. 東岸は西岸よりも氣溫低い。
 7. 雨量は概して東岸に多い。
 8. 東岸は潮汐干満の差少いが、西岸は大である。
 9. 東岸は交通不便であるが、西岸は海陸交通の便開く。
 10. 東岸は産業不振であるが、西岸はよく開く。

11. 東岸は人口密度小であるが、西岸は大都會の分布も多い。

12. 東岸は文化遅れ西岸は進む。

6. 朝鮮の略圖を描き地形を説明せよ。(東師)

7. 朝鮮の主要河川に就きて記せ。(商船)

8. 朝鮮の氣候の特徴を問ふ。(水産)

9. 朝鮮の鑛業に就いて記せ。(文檢)

10. 左に就いて記せ。

- 大 邱 (山商・專檢) 羅 南 (東師・文檢)
- 鎮 南 浦 (專檢・通官) 仁 川 (海 機)
- 城 津 (通 官) 龍 山 (東師・普文)
- 元 山 (水産・海經) 群 山 (通 官)
- 開 城 (高 等) 載 寧 (文 檢)
- 鎮 海 (山 商) 遂 安 (文 檢)
- 兼 二 浦 (陸 軍) 長 白 山 脈 (海 機)
- 新 義 州 (東 師) 平 壤 (普 文)
- 咸 興 (文 檢) 木 浦 (東師・神商)
- 清 津 (小商・東師)

關 東 州

1. 關東州の氣候及び物産を問ふ。(東師)

2. 大連の交通・商業の状態を記せ。(海機)

3. 明治二十七八年戰役後に於ける我が帝國の新領土・租借地及び現時に於ける占領地の位置を略圖にて示し、併せてその由來を簡単に記せ。(高等)

南 洋 委 任 統 治 地 方

1. 南洋諸島中我が委任統治となれる群島名を記せ。(陸測)

2. 日本統治の南洋諸島名及びその主なる物産四種を記せ。(通官)

3. 左に就いて知る所を記せ。

- カロリン諸島 (東師) グラム島 (高等・外語・東師・文檢・早大)
- ヤルト島 (山商) ヤップ島 (文檢・外語・高等・東師・廣師)
- サイパン島 (東師) アンガウル島 (文檢・高檢)
- マーシャル諸島 (海兵) トラック島 (高檢・專檢)
- コ プ ラ (東師・廣師)

總 論

一 地 形

解 コブラ (Cobra)——ココ椰子の果肉を乾燥したもので、人造バター・石鹼その他食用又は工業用の原料として用途が廣い。南洋委任統治地方の重要物産の一である。

1. 我が國諸山脈の系統を問ふ。(東師)

2. 日本列島の骨子をなせる山脈を問ふ。(海軍)

3. 本邦火山帯五つを記せ。(東語)

4. 日本全國を描き左記の位置を記入せよ。(廣師)

- 恐 山 磐梯山 筑 波 山 伯耆大山
- 温泉岳 新高山 朝鮮金剛山 石狩川
- 信濃川 天龍川 江 川 珠磨川
- 漢 江

5. 略圖を描きて我が國の火山帯の名稱と位置とを示せ。(廣師)

6. 左記山岳の所在地と特徴を記せ。

- 富士山 笠置山 双孖山 碓氷峠

日光山 温泉岳 比叡山

7. 日本海の岬角・島嶼を記せ。(商船・海軍)

8. 我が國の太平洋岸に於ける港灣とその位置を記せ。(東船・海軍)

9. 本邦の湖水の大なるもの五つを記せ。(東語)

10. 我が國に於ける河川の利用に就きて記せ。(文檢)

11. 次の各島の管轄府縣名を記せ。(海軍・陸幼)

- 小笠原島 壹 岐 隱 岐 佐 渡
- 淡 路 對 馬

12. 我が國四大島を分つ海峡を問ふ。

13. 日本列島の火山帯を列記しこれに屬する主なる火山を記せ。(高等)

二 近 海

1. 我が國の略圖を描きその近海にて最も深き場所二三を示せ。(水産)

2. 我が近海の流れを圖示し且本邦に及せる影響を記せ。(高等・東語)

3. 我が近海の流れが氣候に及す影響を記せ。(廣師・普文)

- 我が近海を流るる寒流を問ふ。(陸士)
- 黒潮と我が國の氣候との關係を問ふ。(廣師)
- 黒潮・親潮に就いて記せ。(高等)
- 海岸線を有せざる國名を問ふ。(通信)

解 關東地方——上野・下野

中部地方——甲斐・美濃・信濃・飛騨

奥羽地方——岩代

中國地方——美作

近畿地方——近江・山城・大和・河内・伊

賀・丹波

●氣候・生物

- 我が國に於ける雨量の分布を問ふ。(廣師・專檢)
- 我が國の日本海岸地方が同緯度の太平洋岸地方より一般に積雪多き理由を問ふ。(廣師)
- 我が國の太平洋岸と日本海岸との氣候の差異を問ふ。(普文)
- 表日本と裏日本との氣候の異同を問ふ。(東師)
- 本邦に於て梅雨と稱し特にその季節に雨量多き

●産業

- 我が國に於ける輸出品及び輸入品の主なものを挙げ且我が國と支那・アメリカ合衆國との間に於ける取引の特に多きものに就き記せ。(高等)
- 我が國の農業及び農産物に就いて記せ。(東師)
- 蠶業の盛なる府縣名を問ふ。(音楽・通官)
- 我が國の牧牛地帯を問ふ。(廣師)
- 本邦主要鑛業地を問ふ。(陸士)
- 我が國に於て次記の鑛物を産する府縣の主なるものを記せ。(通官)
- 本邦内地に於ける米・麥の主産地を列舉せよ。(海經)
- 酒・陶器の有名なる生産地四つ以上を示せ。(通官)

は如何なる理か。(東蠶・京蠶)

6. 北陸地方の氣候の特徴を記せ。(陸士)

7. 本邦に例をとり氣候と物産との關係を略述せよ。(山商)

- 本邦に於ける織物・銅の主なる産地三つを記せ。(通官)
- 我が國の外國貿易の大勢に就きて記せ。(高等)
- 我が國の生絲・銅・鐵・石炭・石油に就きて知る所を述べよ。(長商)
- 本邦重要輸出品とその産地を挙げよ。(商船)
- 我が國とアメリカ合衆國との間に於ける輸出品の主なるもの三つ以上を示せ。(通官)

解 我が國より輸出——生絲・羽二重・茶・陶

磁器

米國より輸入——棉花・鐵材・機械・石

油・麥粉・木材

- 我が國の水産業に就きて述べよ。(東師)
- 我が國にて製鹽業の盛なる地方を問ふ。

●交通

- 左記の航路の終點及びこれに従事する我が國汽船會社の名を挙げよ。(外語)
- 歐洲航路 北米航路 インド航路 南米航路

解 1. 歐洲航路

日本郵船會社……終點

- リヴァプール線
- ハンブルグ線

大阪商船會社……終點

ハンブルグ

2. 北米航路

日本郵船會社……終點

- シヤトル
タコマ線
タコマ
ニューヨーク線
ニューヨーク

大阪商船會社……終點

ニューヨーク

3. インド航路

日本郵船會社……終點

- カルカッタ線
カルカッタ
ボンベイ線
ボンベイ

大阪商船會社……終點
カルカッタ線—
カルカッタ
ボンベイ線—
ボンベイ

4. 南米航路

日本郵船會社……終點
ブエノスアイレ
ス

大阪商船會社……終點
ブエノスアイレ
ス

2. 我が國の無線電信局の所在地を問ふ。(陸士)

3. 東京より東海道線を経て鹿兒島に至る鐵道線路に沿へる府縣廳所在地の名を順次に記せ。(逓官)

東京市 横濱市 静岡市 名古屋市

岐阜市 大津市 京都市 大阪市

神戸市 岡山市 廣島市 福岡市

熊本市 鹿兒島市

4. 我が國の主要外國航路及びその寄航地を問ふ。(海經)

5. 帝國の水運に就きて記せ。(高等)

6. 青森より長崎に至る鐵道線の一を選びその通過する府縣廳所在地を記せ。

東北本線—青森市・盛岡市・仙臺市・福島市・宇都宮市・浦和町・東京市

京市

東海道線—東京市・横濱市・静岡市・名古屋

古屋市・岐阜市・大津市・京

都市・大阪市・神戸市

山陽線—神戸市・岡山市・廣島市

鹿兒島線—福岡市

長崎線—佐賀市・長崎市

住民

1. 帝國住民中大和民族以外の住民に關し知る所を述べよ。(東師)

2. 我が國に於ける人口最も多き市七つ以上を順次に記せ。(逓官)

市・仙臺市・札幌市

3. 我が國師團の所在地を問ふ。(高等)

4. 我が國の海軍區と鎮守府所在地を問ふ。(陸士)

- 3. 邦人の主なる外國移住地三つを問ふ。(海兵)
- 4. 我が國の十萬以上の都會を人口順に列記せよ。(普文)
- 5. 我が國住民の族種を問ふ。(陸士)

政治

1. 我が國より大使を派しある國の名稱及び首府を問ふ。(東師・海機)

解 ロシヤ—モスコ

ドイツ—ベルリン

イギリス—ロンドン

フランス—パリ

ベルギー—ブラッセル

イタリー—ローマ

トルコ—アンゴラ

アメリカ合衆國—ワシントン

ブラジル—リオデジャネイロ

2. 控訴院の所在地を問ふ。
東京市・大阪市・名古屋市・廣島市・長崎

附
錄
終

自學自習
 受験參考

日本地理索引

【ア】

相川	68	阿蘇火山帶	92
愛知縣	64	阿蘇山	111
アイヌ族	153	安宅關	70
青島	126	熱海	65
青森縣	45	厚岸	156
青森市	45	阿武隈川	36
赤石山脈	50	阿武隈山脈	12
赤城火山	13	淡路島	89
明石市	85	網走	157
阿賀川	37	尼ヶ崎市	89
赤穂	89	天草諸島	127
秋田縣	46	天ノ橋立	75
秋田市	46	餘部	89
秋吉臺	106	阿頼度島	157
淺川	26	荒川(埼玉縣)	15
旭川市	156	有田	124
淺間山	51	有馬	89
足尾	30	アンガウル島	185
足利市	30	安平	141
蘆ノ湖	15		

【イ・キ】

飯田	67	伊香保	31
硫黃列島	12	伊賀盆地	74

索引

生野	89	伊東	65
池田(大阪府)	88	糸崎	104
池田(徳島縣)	108	伊那平	52
池田(北海道)	156	猪苗代湖	43
石岡	30	犬山	64
伊集院	128	伊野	103
石川縣	69	茨城縣	29
石狩川	146	今治市	107
石狩平野	146	伊萬里	124
石巻	44	伊部	104
伊勢崎	31	岩木川	36
伊勢平野	74	岩手縣	45
一ノ關	45	岩沼	44
一ノ宮市	64	院ノ庄	104
巖島	105	岩國	105
伊豆七島	26	岩見澤	155
巖原	125	印旛沼	15
和泉山脈	72	殷栗	176

【ウ】

上田市	67	宇都宮市	30
上野(三重縣)	83	畝傍山	86
魚津	69	宇野	103
宇佐	125	宇部市	105
宇品	105	海ノ中道	114
白杵	126	浦賀	27
有珠山	145	裏日本	197
宇治	85	浦和	28
宇治山田市	83	宇和島市	107

索引

蔚山	174	温泉岳	111
雲山	176	運天港	129

【エ・エ】

枝幸	157	越後平野	51
蝦夷山脈	144	夷	68
越後山脈	35.51	愛媛縣	107

【オ・ヲ】

大東島	129	大島	128
大井川	53	太田	30
大分縣	125	小田原市	27
大分市	125	小樽市	155
奥羽山脈	34	落合	156
奥羽地方	33	小千谷	68
奥州街道	41	大津市	83
大垣市	63	大泊	164
岡崎市	64	鬼首	45
小笠原諸島	26	大沼	147
岡谷	67	大野	70
岡山縣	103	小野田	105
隱岐	103	小濱	70
沖繩縣	129	帶廣	156
萩ノ濱	44	大湊	46
奥丹後地震	85	大宮	28
大阪市	87	大牟田市	123
大阪府	87	大嶺	106
大阪平野	74	近江盆地	74
大島	26	大村灣	124

青梅	25	折尾	122
表日本	197	鴨綠江	167
御物川(雄物川)	37	遠賀川	113
大淀川	112	遠賀平野	113

【カ・クワ】

開城	176	神岡鑛山	64
外帶	190	上諏訪	67
蓋馬高臺	166	龜山(三重縣)	83
海豹島	165	釜石鑛山	45
海流	200	鎌倉	27
各務ヶ原	63	上川盆地	146
香川縣	106	龜岡盆地	74
嘉義	141	龜崎	64
鹿兒島縣	127	唐津	123
鹿兒島市	127	樺太地方	158
笠岡	104	カロリン諸島	185
火山帶	193	輕井澤	67
柏崎	68	花蓮港	142
笠置山脈	73	川越	28
霞ヶ浦	15	川俣	43
勝沼	66	咸鏡	177
勝山	70	漢江	168
神奈川縣	27	漢江平野	168
金澤市	69	關東山脈	11
金谷	66	關東州	178
鹿沼	30	關東地方	9
		關東平野	14

【キ】

紀伊山脈	72	岐阜市	63
義州	177	九州山脈	110
岸和田市	88	九州地方	108
季節風	204	京都市	84
木曾川	52	京都府	84
木曾山脈	50	宜蘭	142
北浦	15	桐生市	31
北上川	36	霧島火山帶	111
北上山脈	34	基隆	140
北見山脈	144	金華山	44
紀ノ川	75	近畿地方	71
城崎	89	金州	181
岐阜縣	63		

【ク】

グアム島	185	熊本市	127
草津	84	倉敷	103
串木野	128	倉吉	102
串本	87	久留米市	123
釧路市	156	吳市	104
俱知安	154	黒江	87
屈斜路湖	147	黒川	46
熊谷	28	黒部川	53
球磨川	113	桑名	82
熊野川	75	群山	174
熊本縣	126	群馬縣	31

【ケ】

慶州	174	元山	177
京城	175	象二浦	176

【コ】

五箇莊	127	五島	125
國分	128	琴平	106
小倉市	122	江ノ川	94
飯島	128	甲府市	66
兒島半島	104	甲府盆地	52
黄州	176	神戸市	88
光州	174	小松	69
公州	175	郡山	83
恒春	142	郡山市	43
高知縣	108	コロール島	185
高知市	108	金剛山脈	72

【サ】

濟州島	175	酒田市	47
埼玉縣	175	佐賀ノ關	124
載寧	176	相模川	15
サイパン島	185	佐久平	52
境	103	佐倉	29
堺市	88	櫻島	112
坂出	106	笹子トンネル	66
榮濱	165	佐世保市	124
佐賀縣	123	札幌	155
佐賀市	123	薩摩燒	128

佐渡島	54	山中地溝帶	17
讃岐山脈	92	三瓶山	93
佐野	30	三本木	45
佐原	29	三本木平野	36
猿瀨湖	147		

【シ】

鹽釜	44	周水子	181
滋賀縣	83	首里市	129
敷香	165	占守島	157
四國山脈	92	彰化	141
支笏湖	147	城津	177
四坂島	107	常磐炭田	30
静岡縣	65	城端	69
静岡市	65	庄原	105
日月潭	141	秀姑巒溪	133
信濃川	17.53	上州三山	31
島田	66	小白山脈	166
島根縣	103	白川	43
島原	125	順安	176
島原半島	124	新義州	177
清水港	65	神宮	83
下諏訪	67	晋州	174
下淡水溪	133	仁川	175
下關	105	新竹	140

【ス】

遂安	176	吹田	88
水原	176	宿毛	108

須崎	108	諏訪盆地	52
鈴鹿山脈	72	須磨	89
鈴谷山脈	160	住江	123
諏訪湖	53	洲本	90

【セ・ソ】

清津	177	全州	175
清州	175	川内	128
小豆島	107	仙臺市	44
關ヶ原	63	仙臺平野	36
瀬戸	64	善通寺	107
善光寺平	52	蘇澳	142

【タ】

大邱	174	臺灣山脈	131
大甲	140	臺灣地方	130
大社	103	大連市	181
帝釋山脈	11	高岡市	69
大聖寺	70	高雄市	141
臺中市	141	高島	124
大同江	167	高田	86
臺東	142	高田市	68
臺東山脈	132	高梁	104
大白山脈	166	高濱	107
大田	175	高松市	106
臺南市	141	高山	63
駿風	204	寶塚	89
臺北市	139	竹敷	125
平	43	武生	70

武豐	64	玉島	103
立川	26	多武峰	86
多治見	63	多來加湖	160
館林	31	樽前山	145
館山	29	丹澤山塊	11
多度津	106	淡水	140
田邊	87	淡水川	133
種子島	128	丹波高原	72

【チ】

筑後川	113	中央地溝帶	49
筑紫山脈	110	中國山脈	72-92
筑紫平野	113	中國・四國地方	90
筑豊炭田	122	中禪寺湖	15
千島火山帶	145	銚子	29
千島列島	157	潮汐	199
地體構造(日本)	188	朝鮮地方	165
父島	26	長白山脈	166
秩父盆地	28	潮流	200
千葉縣	28	鎮海	174
千葉市	29	鎮南浦	176
中部地方	48		

【ツ】

月ヶ瀬	86	豆満江	168
津市	83	津山市	104
對馬	125	梅雨	207
土浦	30	鶴岡市	47
土崎港	46	敦賀	70

【テ】

手賀江	15	天鹽山脈	144
天鹽	156	出羽丘陵	35
天鹽川	146	天龍川	53

【ト】

桃園	140	鳥羽	83
凍士帶(ツンドラ)	164	戸畑市	122
十勝平野	146	東北山脈	159
十日町	68	苫小牧	155
土岐津	63	泊居岡	165
東京市	25	富岡	31
東京府	25	輛	104
德島縣	107	洞爺湖	147
德島市	108	富山縣	69
德山	105	富山市	69
常滑	64	富山平野	52
所澤	28	豊岡市	89
利島	26	豊橋市	64
鳥栖	123	豊原	165
栃木	30	東萊島	174
鳥取縣	102	トラック島	185
鳥取市	102	斗六	141
利根川	14	瀨八町	87
		富内湖	160

【ナ】

内帶(日本内帶)	190	直江津	68
内淵川	160	長岡市	68

長崎縣	124	七尾	70
長崎市	124	那覇	129
中津市	125	名寄	156
長野縣	66	奈良縣	85
長野市	67	奈良市	85
長濱	84	奈良盆地	74
中村	44	成田	29
流山	29	南山	181
名古屋市	64	南洋委任統治地方	182
那須火山	13	南彎(南日本)	189
那須火山帶	13・35・14		

【ニ】

新潟縣	67	西樺太山脈	159
新冠	156	西宮市	89
新高山	182	日光火山	13
新津	86	日本海溝	199
新居濱	107	日光	30

【ヌ・ネ・ノ】

沼津市	56	濃尾平野	51
根室	156	延岡	126
能代川	37	登別	155
能代港	46	乘鞍火山脈	51
野田	19		

【ハ】

萩	106	函館市	154
白山火山帶	51・92	箱根火山	12

箱根山	28	濱名湖	53
波止濱	107	パラオ諸島	185
八王子市	25	原町	43
八丈島	26	播磨平野	74
八戸	45	榛名火山	13
八幡	84	蕃界嶺	132
八郎潟	38	半田	64
濱街道	41	磐梯山	43
濱田	103		

【ヒ】

比叡山脈	73	日向平野	112
彦根	84	兵庫縣	88
日田	126	苗栗	140
鏡子窩	181	平泉	45
飛騨山脈	49	平戸	125
日立	30	平取	156
人吉	127	弘前市	45
日野	84	廣島縣	104
姫路市	89	廣島市	104

【フ】

福井縣	70	福地山	85
福井市	70	福山	151
福岡縣	121	福山市	104
福岡市	121	福良	90
福島(長野縣)	67	釜山	174
福島縣	43	富士火山帶	12.51
福島市	43	富士川	53

富士五湖	54	船橋	29
伏木	69	ブラッキストーン線	208
伏見市	84	普蘭店	181

【へ】

平壤	176	別子銅山	107
平壤平野	168	別府市	125
屏東	142		

【ホ】

北海道	143	ホナベ島	185
北投温泉	140	防府(三田尻)	105
北彎(北日本)	189	法隆寺	86
澎湖諸島	142	幌内川	160
鳳山	142	本莊	46
北條	29		

【マ】

舞子	89	松江市	103
舞鶴	85	松阪	83
米原	84	松島	44
前橋	30	松本市	67
真岡	165	松山市	107
横峰鑛山	126	的矢	83
馬公	142	マリヤナ海溝	199
馬山	174	マリヤナ諸島	184
増毛	156	丸龜市	106
マーシャル諸島	186		

【ミ】

三池港	123	箕島	87
三三重縣	82	身延	66
三三國	70	三原山	12
三三國山脈	11	三春	43
三三澤島	45	美保、關	103
三三島角	65	三宅島	26
三三石濱市	127	宮城縣	44
三三津濱市	104	宮古群島	129
三水濱市	107	都城市	126
水濱島	29	宮崎縣	126
南島山	29	宮崎市	85
津島山	26	宮津次	105
津島山	85	三	

【ム】

撫養	108	室戸岬	108
村上	68	室蘭市	155

【モ】

真岡	30	茂木	30
最上川市	17.37	桃山	85
門司市	121	盛岡市	45
木浦	174		

【ヤ】

八重山群島	129	八代	127
ヤップ島	185	柳井	105

八幡市	122	山代	70
山形縣	47	山城盆地	74
山形市	47	山梨縣	66
山川港	128	山中(石川縣)	70
山口縣	105	八溝山脈	11
山口市	105	谷村	66
山國川	112	ヤルト島	186

【ユ・ヨ】

結城	30	吉岡鑛山	104
夕張	155	吉野	86
由良	90	吉野川	94
余市	155	四日市市	82
横須賀市	27	淀川	75
横手	46	米子市	103
横濱市	27	米澤市	47

【ラ—ロ】

洛東江	168	龍山	175
羅南	177	留多加	164
旅順市	181	留萌	156
リアス式海岸	34	狼林山脈	166
琉球海溝	199		

【ワ】

隈府	127	和歌山市	86
和歌ノ浦	87	若松市(福島縣)	44
若松市	122	若松市(福岡縣)	122
和歌山縣	86	脇町	108

引 索

輪 島 70 | 稚 内 156

—— 終 ——

受自學
驗參自習

日本地理

定價金壹圓參拾錢

大津製

昭和四年九月三十日印刷
昭和四年十月三日發行



著作權所有

著作者

富山房編輯部

發行兼
印刷者

東京市神田區通神保町九番地
富山房

右代表者

坂本嘉治馬

印刷所

東京市小石川區音羽町七ノ六
富山房印刷部

發行所

東京市神田區通神保町九番地

會合資

富山房

電話九段一九二一、一九二五
振替口座東京五〇二番

